ピーター・デイヴィッド・ベターの音声書簡

漫画全集

Mea Zen · Colombine MichelangeLove

本書について

本書は、1975年から1982年までの全80通の音声書簡を漫画化した作品集です。各書簡は3ページで構成されています。絵は場面の再現で、会話には脚色が含まれます。ベターの主張については、独立した史料による検証が必要です。

1975–1982 / peterdavidbeter.com

図版目次

01 — 08



音声書簡 01 · 13



音声書簡 02 · 16



音声書簡 03 · 19



音声書簡 04 · 22



音声書簡 05 · 25



音声書簡 06 · 28



音声書簡 07 · 31



音声書簡 08 · 34

図版目次

09 — 16



音声書簡 09 · 37



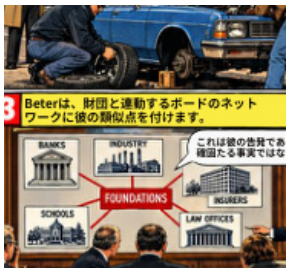
音声書簡 10 · 40



音声書簡 11 · 43



音声書簡 12 · 46



音声書簡 13 · 49



音声書簡 14 · 52



音声書簡 15 · 55



音声書簡 16 · 58

図版目次

17 — 24



音声書簡 17 · 61



音声書簡 18 · 64



音声書簡 19 · 67



音声書簡 20 · 70



音声書簡 21 · 73



音声書簡 22 · 76



音声書簡 23 · 79



音声書簡 24 · 82

図版目次

25 — 32



音声書簡 25 · 85



音声書簡 26 · 88



音声書簡 27 · 91



音声書簡 28 · 94



音声書簡 29 · 97



音声書簡 30 · 100



音声書簡 31 · 103



音声書簡 32 · 106

図版目次

33 — 40



音声書簡 33 · 109



音声書簡 34 · 112



音声書簡 35 · 115



音声書簡 36 · 118



音声書簡 37 · 121



音声書簡 38 · 124



音声書簡 39 · 127



音声書簡 40 · 130

図版目次

41 — 48



音声書簡 41 · 133



音声書簡 42 · 136



音声書簡 43 · 139



音声書簡 44 · 142



音声書簡 45 · 145



音声書簡 46 · 148



音声書簡 47 · 151



音声書簡 48 · 154

図版目次

49 — 56



音声書簡 49 · 157



音声書簡 50 · 160



音声書簡 51 · 163



音声書簡 52 · 166



音声書簡 53 · 169



音声書簡 54 · 172



音声書簡 55 · 175



音声書簡 56 · 178

図版目次

57 — 64



音声書簡 57 · 181



音声書簡 58 · 184



音声書簡 59 · 187



音声書簡 60 · 190



音声書簡 61 · 193



音声書簡 62 · 196



音声書簡 63 · 199



音声書簡 64 · 202

図版目次

65 — 72



音声書簡 65 · 205



音声書簡 66 · 208



音声書簡 67 · 211



音声書簡 68 · 214



音声書簡 69 · 217



音声書簡 70 · 220



音声書簡 71 · 223



音声書簡 72 · 226

図版目次

73 — 80



音声書簡 73 · 229



音声書簡 74 · 232



音声書簡 75 · 235



音声書簡 76 · 238



音声書簡 77 · 241



音声書簡 78 · 244



音声書簡 79 · 247



音声書簡 80 · 250

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第1号

1975年6月21日

テーマ1 フォート・ノックスの証拠を問う

1 ベーターはフォート・ノックスの金をめぐる論争と、隠蔽の疑惑から話を始める。



2 1974年9月の視察と、その後の金準備の監査に疑問を呈する。



3 1月の売却と、6月30日に予定された金の競売を疑問視する。



4 技師スタンリー・テイタムは金庫から金を搬出する仕組みを知っていたと語る。



5 ベーターはテイタムの未完の原稿と、1973年の死について語る。



6 鍵の第12章はゴールドウォーターが持つという。



7 金を盗んだとゴールドウォーターを非難しているわけではない、と明言する。



8 ベーターは原稿と隠蔽疑惑について答えを求める。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第1号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER— 音声書簡 第1号

1975年6月21日

テーマ2 フォードの言動とベーターの警告

1 ベーターは欧州への公式訪問中にフォードが転倒したことを取り上げる。



2 フォードが6月16日の時点ですでにロックフェラーを支持していたことに触れる。



3 ベーターはフォードの後をロックフェラーが継ぐというルイーズ・ボイヤーの予測を振り返る。



4 フォードは6月17日の演説で、中小企業の経営者に景気回復を約束する。



5 ベーターは「根本的な選択」への言及をロックフェラーの委員会と結びつける。



6 経済的な困窮から、1976年の国民投票を求める圧力が強まると予測する。



7 新憲法案は権力を集中させるものだと主張する。



8 ベーターは安心させる見出しの裏に危うい選択が隠れうると警告する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第1号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER— 音声書簡 第1号

1975年6月21日

テーマ3 ベーターが語るネルソン・ロックフェラー

1 ベーターはロックフェラーが権力を握るまでの経緯を広く語り始める。



2 ロックフェラー・センター、銀行業、ニューディール政策を一族の支配と結びつける。



3 石油をめぐる利害が戦時の戦略と真珠湾に影響したと主張する。



4 対外援助を、一族の企業を潤す手段として描く。



5 ロックフェラーが国連と軍事政策を動かしていると非難する。



6 ニューヨーク州の投票機、税、債務をロックフェラーの州政と結びつける。



7 ベーターは合衆国憲法修正第25条とウォーターゲート事件をロックフェラーの野心に結びつける。



8 最後に独裁の危険に警鐘を鳴らし、市民に行動を求める。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第1号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第2号

1975年7月15日

テーマ1 ロックフェラー支配のほころび

1 ベーターはロックフェラー兄弟の計画に抵抗する最初の兆しを見出す。



2 ハーシュのCIA報道とソルジェニーツィンの記事に、報道の独立性の兆しを見る。



3 イタリアでのエクソンの政治資金支出に関する上院での証言を引く。



4 ベーターは6月までにネルソンがフォードの後を継ぐと予測したが、実現していない。



5 議事妨害をめぐる論争で、上院議員らがネルソンに反発したと述べる。



6 フランスはIMFの金売却を阻止し、米国の確約を退けたと語る。



7 英国がネルソンを呼び、難しい財政協議を行ったと主張する。



8 フランコがフォードに、スペインでのCIAの活動と米軍基地について警告したと語る。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第2号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第2号

1975年7月15日

テーマ2 ガーデン・プロットと国内の騒乱

1 ベーターはガーデン・プロット作戦に関する機密情報を伝える。



2 複数の米大都市に暴動鎮圧用の装備が運び込まれていると主張する。



3 軍用車両が鉄道で運ばれたとも語る。



4 ベーターは、騒乱を機に大統領令11490号に基づく非常権限が発動されることを恐れる。



5 失業を楽観視する報道に異議を唱え、職を失った人々に目を向ける。



6 計画された暴落の前に株価がつり上げられたと主張する。



7 インフレと、流通の一元化を使った意図的な品不足を警戒する。



8 ベーターは危険を理解し、警戒を続けるよう聞き手に求める。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第2号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第2号

1975年7月15日

テーマ3 フォート・ノックスの中央金庫疑惑

1 金をめぐる論争がドルへの信認を脅かす、とベーターは論じる。



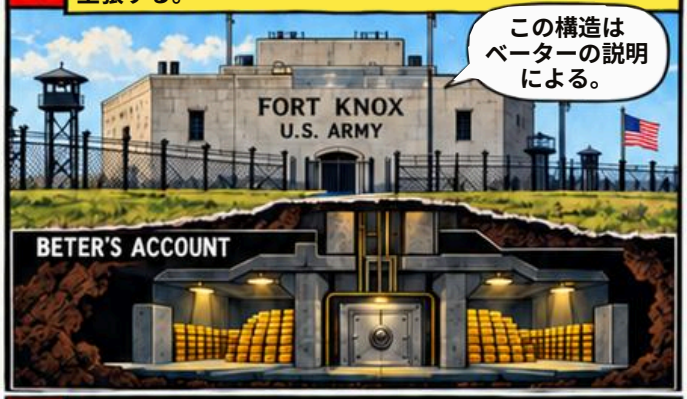
2 金の輸送をめぐるフランク・チェルフ元下院議員の宣誓供述を読み上げる。



3 ベーターは造幣局の書簡を引く。1965年1月の輸送が以前の一覧にないという。



4 フォート・ノックスには別個の地下中央金庫があると主張する。



5 戦時中に金を運ぶ後部の昇降機が設置されたと述べる。



6 1974年の見学者は本来の金準備ではなく、展示用の延べ棒を見たと主張する。



7 1954年の在庫とされる記録を1974年の監査と比べる。



8 最後に、選挙で選ばれた代表者に説明責任を求めるよう市民に呼びかける。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第2号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第3号

1975年8月21日

テーマ1 JFK暗殺事件をめぐるベーターの主張

1 1963年11月22日、ダラス。車列で移動中のケネディが銃撃される。



2 オズワルドが逮捕される。ベーターは捜査が早々に一人に絞られたことを疑問視する。



3 ルビーがテレビカメラの前でオズワルドを殺害。ベーターはさらに疑問を投げかける。



4 ベーターはウォーレン委員会の単発弾説を退ける。



5 ケネディの運命をキューバとベトナムへの関与縮小計画に結びつける。



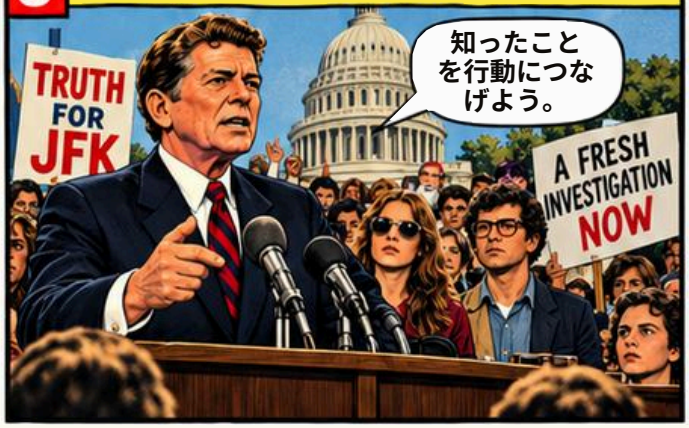
6 ベーターは車内に隠された装置が致命傷を負わせたと主張する。



7 コナリーは狙われた証人だったとし、行方不明の証拠に疑問を呈する。



8 ベーターは再捜査と市民の行動を訴える。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第3号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER - 音声書簡 第3号

1975年8月21日

テーマ2 ロックフェラー家の経済力

1 ベーターは、受け継いだ巨大な事業体を取り仕切る野心的な四兄弟を描く。



2 ジョン・D・三世はアジアとアフリカに影響力を持ち、慈善家の顔を持つと描く。



3 ネルソンは南北アメリカの政界に通じていると描く。



4 ベーターはローレンスを航空、軍需産業、株式市場と結びつける。



5 デービッドとチェース・マンハッタンを金融の中心に位置づける。



6 ベーターは融資、株式保有、役員を兼ねる取締役会による支配を唱える。



7 石油利権とフォート・ノックスをめぐる疑惑をこの人脈と結びつける。



8 ホッファの失踪を、チームスターズ労組と流通をめぐる争いに帰する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第3号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第3号

1975年8月21日

テーマ3 インドと変わりゆくベーターの戦争予測

1 ベーターは米国を中心とする核戦争を以前に予測したことを振り返る。



2 政治と金をめぐる論争で、ネルソンの大統領就任計画が遅れたと語る。



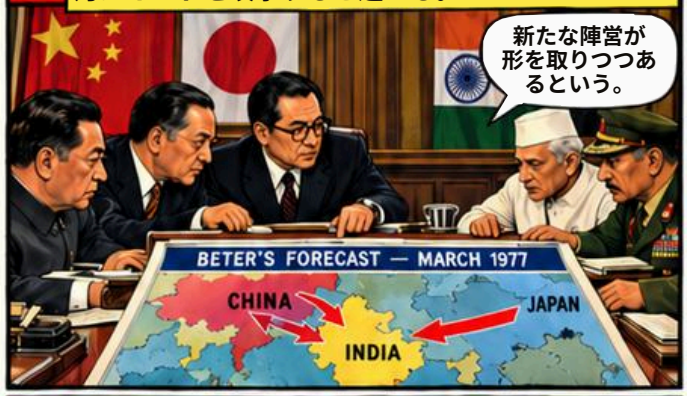
3 ベーターはインディラ・ガンディーを弱体化させる動きにCIAの支援があったと主張する。



4 ガンディーの反撃で、その疑惑の作戦が妨げられたと語る。



5 ベーターは予測を修正し、中国と日本が1977年3月にインドを攻撃すると述べる。



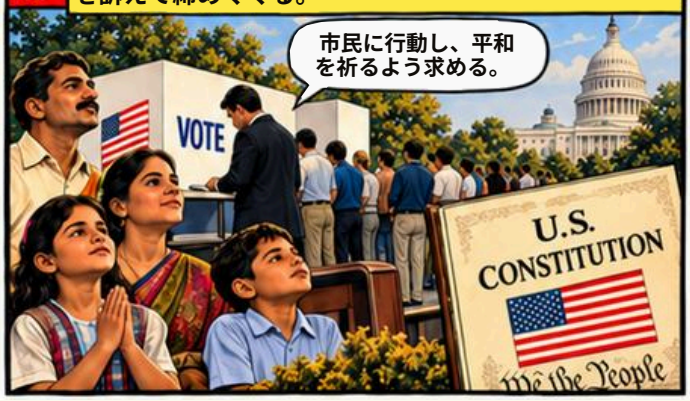
6 彼の想定ではロシアがインドを助け、米国は双方に物資を供給する。



7 インドの情勢が再び逆転すれば、以前の戦争シナリオに戻りうると警告する。



8 ベーターは立憲政治と市民の行動を訴えて締めくくる。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第3号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第4号 / 1975年9月12日

テーマ1 — IMFの金取引とドル



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第4号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER – 音声書簡 第4号 / 1975年9月12日

テーマ2 — 暗殺をめぐる主張と政治的駆け引き

1 ベーターはライネット・フロムとフォードをめぐる9月の事件を論じた。



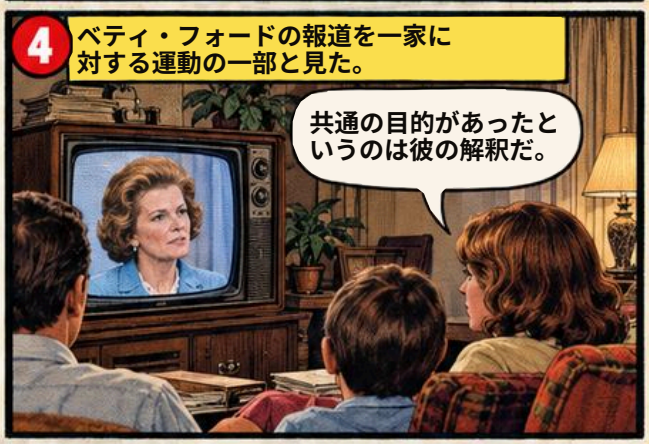
2 事件はフォードに圧力をかけるための予行演習だと述べた。



3 ケネディの車と傘の合図を結びつける未確認の説を繰り返した。



4 ベティ・フォードの報道を一家に対する運動の一部と見た。



5 以前の辞任を、仕組まれたとする権力掌握の段階と見た。



6 ロックフェラーの下で新憲法と国民投票を予測した。



7 穀物政策がミーニーとロックフェラーの保守的な印象を作ったと主張した。



8 ソルジェニーツィンの訪問は別の政治目的に利用されたと述べた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第4号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER – 音声書簡 第4号 / 1975年9月12日

テーマ3 — アジア戦争の予測と市民の行動



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第4号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第5号 / 1975年10月15日

テーマ1 — CIA、フォート・ノックスと汚染疑惑

1 ベーターは紛失したアルミ製セント硬貨の騒動を、金をめぐる疑惑と対比した。



2 フォート・ノックスの金をめぐる疑惑を当局者が隠したと非難した。



3 情報機関をめぐる公聴会で明らかになったのは一部だけだと論じた。



4 保管施設にプルトニウムが置かれたと主張した。



5 保管施設の管轄に関する以前の説明を訂正した。



6 以前の視察団は危険にさらされたと主張した。



7 ベーターは政治的な出来事の背後に心理操作があったとも主張した。



8 フォードへの襲撃や車列の衝突を、操作疑惑と結びつけた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第5号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER — 音声書簡 第5号 / 1975年10月15日

テーマ2 — ニューヨークと経済崩壊の予測

















出典・Peter David Beter — 音声書簡 第5号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER – 音声書簡 第5号 / 1975年10月15日

テーマ3 — 新憲法とアジア戦争のシナリオ

1 ベーターは新憲法の疑惑を広い戦争戦略に結びつけた。



2 裕仁の訪問でのロックフェラーの目立つ役割を政治的支配と解釈した。



3 太平洋地域の非公開会議の報道を引用した。



4 島民の移住と基地建設を自身の戦争予測と結びつけた。



5 シナイ任務は将来のアジア紛争のためだと主張。



6 パナマ運河を核戦争の代替シナリオの一部として描いた。



7 憲法案と刑法の変更について警告した。



8 ベーターは憲法上の権利と公の説明責任に注意を向けるよう促した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第5号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第6号

1975年11月14日

テーマ1 アジア戦争とOPECの予測

1 ベターは、ニューヨーク市の支払い危機を、より広い経済危機の始まりと見た。



2 フォードが援助に反対し、ロックフェラーが姿勢を変化させたことを、段階的な分裂として描いた。



3 個人債保有者も貯蓄が露出していると警告した。



4 彼は食料とソビエトの穀物輸送を戦争準備と結びつけた。



5 戦争が予測される前に、金銭的合意が必要となると彼は言いました。



6 ベターはシナイのミッションが紛争の引き金となると主張する。



7 彼はシュレシンジャーの解任を強力な防衛政策への打撃と解釈した。



8 OPECの石油生産停止を予想し、その後アジアでの紛争が拡大した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第6号・www.peterdavidbeter.com

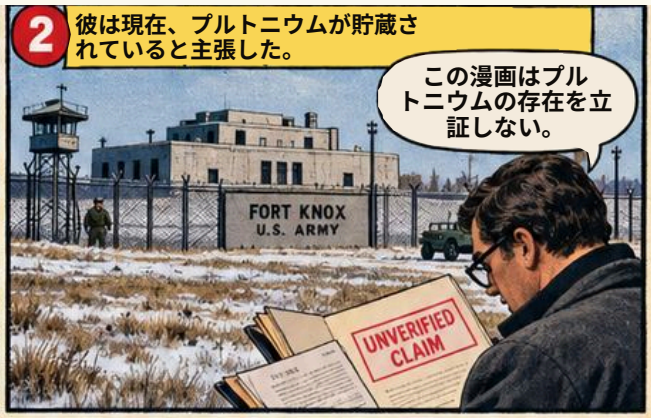
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第6号

1975年11月14日

テーマ2 フォートノックスの主張と議会

















出典・Peter David Beter — 音声書簡 第6号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第6号

1975年11月14日

テーマ3 フォードの最終日のベターの予測は

1 ベターは、ドルピラミッドを隠れた力の象徴と解釈した。



2 また、テレビグラフィックを計画の合図として読んだ。



3 彼は閣僚交代をフォードが権力を失っている兆候として扱う。



4 ロックフェラーの撤退はフォードを責めていたと主張した。



5 彼はキッシンジャーの役柄が減ると出発するだろうと予測した。



6 1975年12月20日ごろロックフェラーの買収を予測した。



7 彼は1月に新しい憲法を提案する演説を予言した。



8 彼は憲法共和国を守るための公的行動を求めることで締め括った。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第6号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第7号

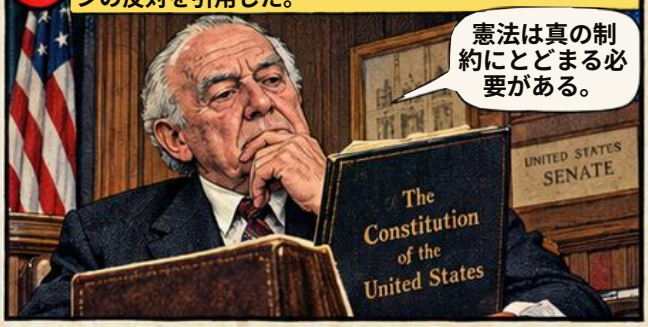
1975年12月21日

テーマ1 政治的支配とフォートノックス論争

1 ベターは、徐々に政治が変わると憲法保護が弱まる可能性があると警告した。



2 彼は、大統領の力拡大に対するサム・アービンの反対を引用した。



3 ベターは、ライバルのレーベルが共通の財政管理を隠蔽したと主張した。



4 彼は、議会の問い合わせが遅れと隠蔽をもたらしたと主張した。



5 ベターが引用したブルックスの手紙は、放射性物質の貯蔵を否定し、陸軍の否定的な試験を引用した。



6 ベターは手紙の保管庫と金の請求に関する記述に異議を唱えた。



7 彼は、双方から等しく指名される独立委員会を提案した。



8 彼は透明な報告と全会一致の発見を受け入れるよう求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第7号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第7号

1975年12月21日

テーマ2 経済統制と通貨混乱

1 ベターはニューヨークの未払いの短期ノートを市区村のデフォルトと呼んでいる。



2 彼はノートモラトリアムと長期MAC債の交換を対比した。



3 彼は、地方の債務の不信が仕事や公共サービスに広がることを恐れた。



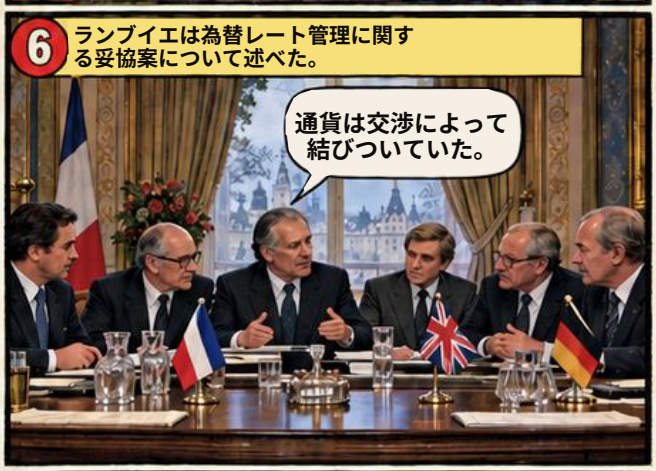
4 Beterは、見出し平均が市場の下落を隠蔽する可能性があると主張した。



5 彼はクルガランドの競争としてソビエト連邦の金貨について議論した。



6 ランブイエは為替レート管理に関する妥協案について述べた。



7 彼は新しい金価格を予測し、提案されたIMFゴールドアレンジを批判した。



8 より良いのは、この下降を人工的に深化させたうつ病として描いた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第7号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第7号

1975年12月21日

テーマ3 同盟と核戦争予測

1 ベターは、企業権力とソビエト連邦の間の同盟を主張した。



2 彼はコブラ作戦と呼ばれる攻撃につながる挑発を予言した。



3 ウィーン石油輸出国機構(OPEC)の攻撃を秘密作戦と結びつけた。



4 OPECの閉鎖は、日本とヨーロッパを混乱させる恐れがあるとの認識を示した。



5 彼は、アジアにおける石油の競争とより広い紛争にシナリオを拡張しました。



6 ベターはキッシンジャーのソビエト外交とカナダの独立コースとを対比した。



7 集中した企業所有権と中央集権的な州支配を比較した。



8 希望と憲法上の市民行動を求めることで、より良い終わりを告げました。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第7号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第8号

1976年1月21日

テーマ1 ノックス砦と捜査要請

1 ベターは1974年の金の主張とフォートノックス訪問を思い出した。



2 彼は財務省の否定と元司令官の金庫室説明とを対比した。



3 ベターはジョン・ライアンが地下中央高架橋について書いた説明を引用した。



4 ケンタッキー州の廃棄物報告をノックス砦からの回想と結びつけた。



5 デュレルの公開書簡は、この疑惑に対する法的フォーラムを求めた。



6 手紙は金の振替、監査、会計に疑問を投げかけました。



7 デュレルはベターのプルトニウムと汚染に関する主張を繰り返す。



8 ベターは議会の審問や正式な大陪審の手続きを要求した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第8号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第8号

1976年1月21日

テーマ2 経済緊張とベター氏のクラッシュ警告

1 事故警告と失業率上昇を結びつけた。



2 彼は匿名の情報源を使って公式失業者数を議論した。



3 彼は株式市場の上昇を困難から切り離したように描きました。



4 ベター氏は、ニューヨークの救済資金は遅れていたと述べました。



5 彼は銀行不安定な話が信頼を意図的に攻撃するものだと考えた。



6 彼はジャマイカの通貨交渉は混乱が続いていることを反映していると説明した。



7 ベターは、公式アカウントから失われた金を取り除く計画だと主張した。



8 彼は金融政策、失業率、物価を密かに経済計画に結びつけた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第8号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第8号

1976年1月21日

テーマ3 デタンテとワシントンの警告

1 インドでの出来事を秘密裏に買収への後退と解釈した。



2 彼は日本の中国外交をソ連のトラップとして投げた。



3 ベターは、事業を離脱したことで戦争の準備が整ったと話す。



4 この地域での戦争、石油の閉鎖、ガソリンの分配を予測した。



5 ベターは、CIAに対するウィーンOPEC攻撃を非難した。



6 CIAはリチャード・ウェルチの死を引き起こしたと、彼はさらに主張した。



7 彼はレバノンを描写し、より広い紛争への一歩として抑止した。



8 ベターは、恒久的な同盟についてワシントンが警告したことで閉会した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第8号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第9号

1976年2月16日

テーマ1 米国郵政公社を標的に



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第9号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第9号

1976年2月16日

テーマ2 戦争が家族にどんな影響を与えるか



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第9号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第9号

1976年2月16日

テーマ3 ロックフェラーのパワーゲームにおけるポーン



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第9号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第10号

1976年3月19日

テーマ1・世界政府と家庭生活

1 Beterはユートピアの世界秩序のイメージと、家庭に届くコントロールとを対比する。



2 彼は離婚、出生率の低下、隔離を家族のストレスの兆候として指している。



3 彼はセサミストリートを攻撃し、隠れた社会的条件を主張します。裏付けは得られていない。



4 親は学校の教科書に抗議し、教育で声を上げた。



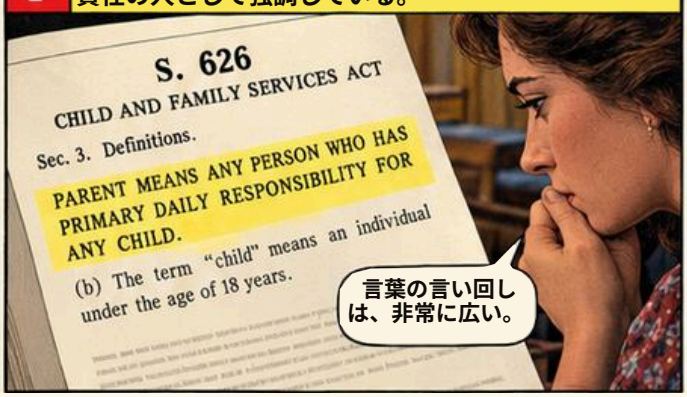
5 議会は、S.626とH.R.2966を子供および家族サービスとして検討している。



6 ベターはニクソンが1971年に拒否権を行使したコミュニティ中心の子育てに関する警告を思い出す。



7 彼は法案の親の広い定義を、日々の第一責任の人として強調している。



8 彼はこの政策を1904年の一般教育委員会の文書と結びつけている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第10号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第10号

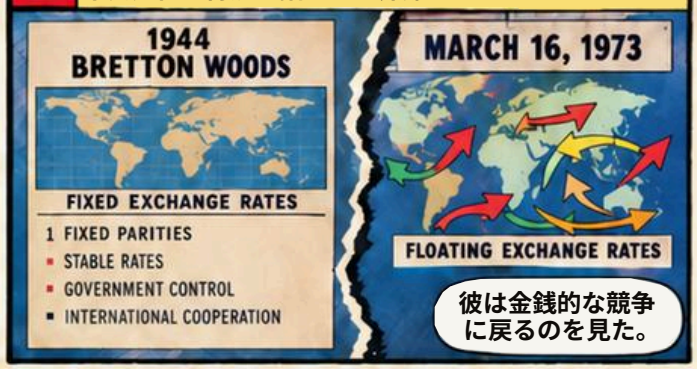
1976年3月19日

テーマ2 通貨混乱と今後のクラッシュ

1 通貨トレーダーが緊張した市場を見ている間、スターリングは2ドルを下回っています。



2 ベターは、1973年の為替レートの変動が通貨不安定性の再燃を招いたと非難している。



3 南アフリカの金とウランをめぐる紛争を予測している。



4 彼は1000ドルという数字と、未確認失業率の推計とを対比している。



5 キッシンジャーのラテンアメリカ旅行はロックフェラーの利益の負債収集として描かれている。



6 ベターは、アラブの撤退が分数準備銀行を通じて倍増する可能性があると予測したが、彼のシナリオは独立して確認されていない。



7 パットマンの連邦準備制度は調査と死亡を記しているが、両者に関連のある証拠はない。



8 ある市民は、コンラン氏の回答を読み、なぜ公的な調査は行われなかったのかと問うた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第10号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第10号

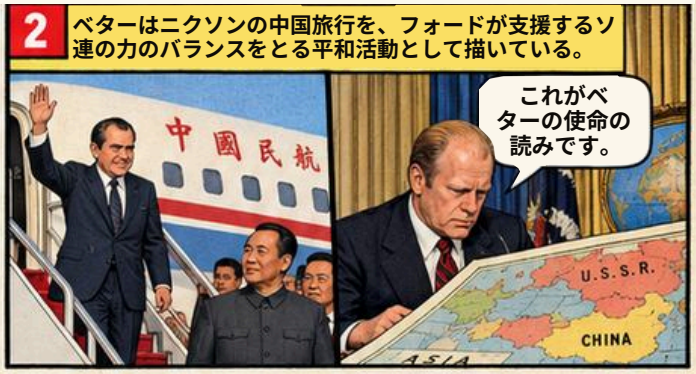
1976年3月19日

テーマ3 戦争と国家非常事態

1 ネルソン・ロックフェラー氏は、CBS記者に、大統領の長い野望について答えています。



2 ベターはニクソンの中国旅行を、フォードが支援するソ連の力のバランスをとる平和活動として描いている。



3 戦略委員会はライバルの政治陣を映し出す。これはベター氏のコンテストの記録である。



4 ハロルド・ウィルソンの辞任を戦争計画に関する知識と結びつけているが、この繋がりは独立して確認されていない。



5 大統領令11490は、Beterの非常電源警告の焦点となります。



6 彼はこの命令を、連邦政府による産業、輸送、通信の広範な管理を可能にすると読んでいる。



7 さらに、収容所と技術不足を主張する。独立した証明は示されていない。



8 選挙は非常事態住民投票によって置き換えられ、憲法政府の防衛を要請できると推測している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第10号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第11号

1976年4月24日

テーマ1 消耗ポーンとしての個人

1 ベターは創業者の共和国と過去を忘れるよう呼びかけた。



2 1974年にパティ・ハーストが行ったSLA誘拐事件について再調査している。



3 公共の物語は銀行強盗と後に逮捕された「タニア」に続いていた。



4 Beterは詐欺行為を主張する;この主張は独立して確認されていない。



5 彼の説明では、この事件はハーストメディア帝国に取って代わられるようになった。



6 彼の大きな警告は、強力な機関は人々を質人として扱うことができるということです。



7 ベター氏はまた、フロントクリニックを通じて心理的なプロファイリングを主張します。裏付けは得られていない。



8 彼は豚インフルエンザキャンペーンに異議を唱え、プルトニウムの隠蔽と関連付ける。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第11号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第11号

1976年4月24日

テーマ2 戦争に向けて行動した国々

1 ベターは、小さな権力圏は政治と経済の道具として戦争を使っていると論じている。



2 彼は戦争が国家を変革できるかどうかについての第一次世界大戦前の基礎的議論を引用している。



3 ベターは、アメリカ合衆国が第一次世界大戦に参戦し、エリートプログラムの変化に役立ったことを描いている。



4 第二次世界大戦についても同様の告発をしており、歴史家たちは彼の陰謀主張を確立していない。



5 彼は、ガイアナとパナマ運河に関する以前の警告を、未確認の情報請求として繰り返します。



6 レバノンへの介入に対するワシントンの新しい開放性は、エスカレーションの兆候として読まれている。



7 石油交渉と地域同盟を、彼の解釈ではなく、検証済みの計画と結び付ける。



8 彼は最終的に敗北主義的レトリックを心理的な戦いとしてキャストし、ソルゼニツィンを疑うまでもあったが、この主張は独立して確認されていない。



Source: Peter David Beter — Audio Letter No. 11 | www.peterdavidbeter.com

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第11号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第11号

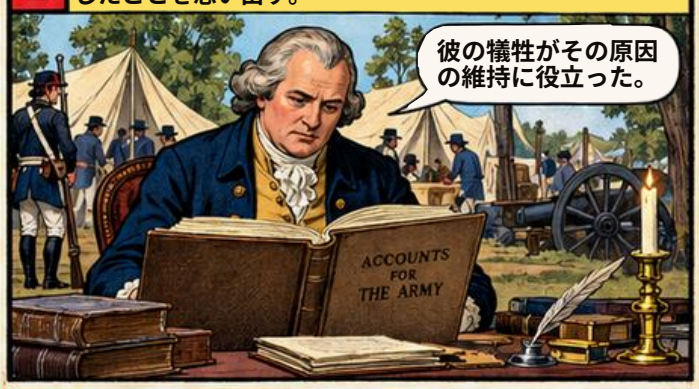
1976年4月24日

テーマ3 自由を放棄する圧力

1 ベター氏はリスナーに、新しい2ドル札の独立のシーンを勉強するよう求めます。



2 ロバート・モリスが独立戦争を支持したことを思い出す。



3 ベターはモリスの暗い描写を象徴的な宣伝と解釈し、その解釈は彼のものである。



4 彼はARCOの「Tricentennial」広告を、アメリカの再設計へのマネージド招待として扱います。



5 フィラデルフィアの「批判的評価」は、憲法改正を中心に主要な機関をまとめ上げた。



6 ベターは、異なる視聴者に反対のメッセージを調整ネルソンロックフェラーを描きます。



7 彼は第4節の使用を含むロックフェラー大統領への2つのルートを予測している。



8 国民に留保された権限を委ね、市民の決議を求める。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第11号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第12号

1976年5月26日

テーマ1 独占と自由企業の滅亡

1 ベターはジェイ・ロックフェラーのウェストバージニア州知事のための費用のかかる選挙運動で始まる。



2 彼はこのイメージとスタンダード・オイルの独占に対する古い一般大衆の恐怖を対比している。



3 1911年、最高裁判所はスタンダード・オイルを共和国への脅威として解散するよう命令した。



4 彼は税金免除の慈善活動は、広報と隠された支配の両方であるとしている。



5 独占は金、教育、裁判所、政治に拡大したと主張する。



6 サウジの石油管理は、世界の産業への拡大に大きく貢献したと主張する。



7 彼は、普通のお金ではなく、会社で払う鉱山労働者を思い出します。



8 ベターは会社町を独占の警告として使う。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第12号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第12号

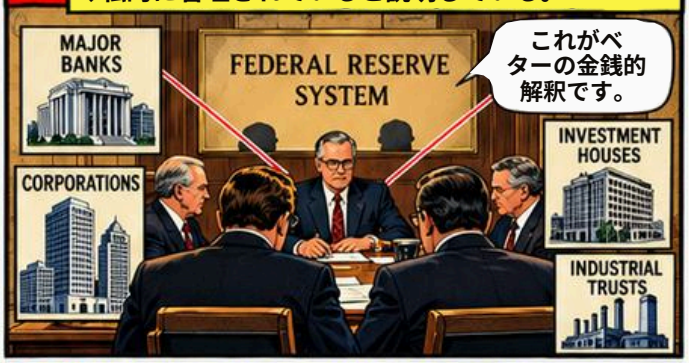
1976年5月26日

テーマ2 インフレと経済破壊

1 フェデラルリザーブの最新のメモと、鉱山労働者に支払われた会社のスクリップとを比べる。



2 彼は連邦準備制度を、本物の公的資金ではなく私的に管理されていると説明している。



3 多国籍企業は、支払い残高の数値を操作しやすくしたと、彼は言います。



4 ベター氏は、支払いの赤字が米国の金準備金の流出のスクリーンとして機能していると主張しています。



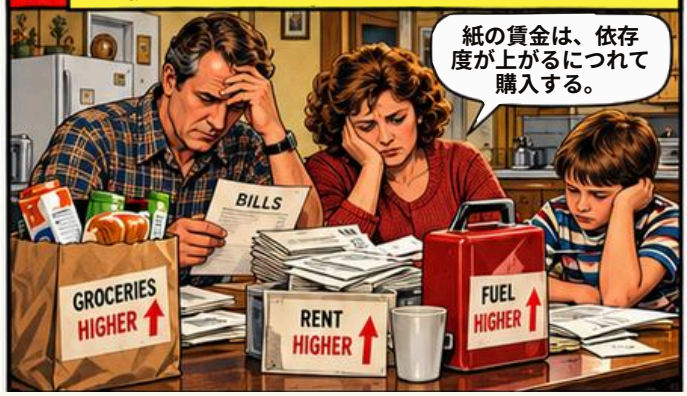
5 彼は地下金庫に保管されている将来の国内通貨を予測する。



6 資金、生産、流通のコントロールは個人的独立を消去すると警告している。



7 より良いインフレは、通常の家庭に負担を移すためのツールです。



8 経済破壊は紙と資産で力強い人を残していくと結論付けている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第12号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第12号

1976年5月26日

テーマ3 ワンワールド政府と原子力破壊

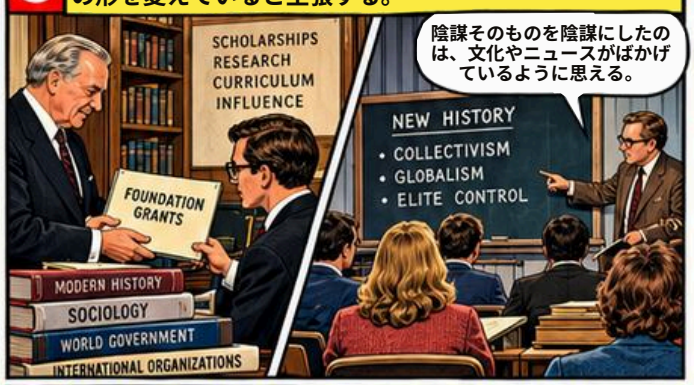
1 ベターは、カナダの経済的な圧力に対する抵抗を、独立のための闘争だと言及している。



2 戦争、米ソパートナーシップ、そして世界一大支配という3段階の計画が、彼は主張している。



3 財団は教育を集合主義とエリート支配に有利にするための形を変えていると主張する。



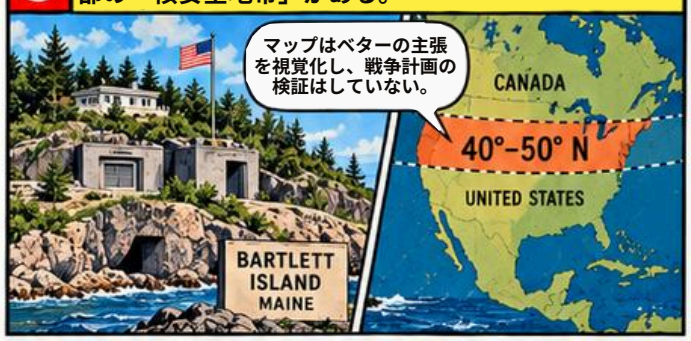
4 ベター氏は、ソ連の脅威に対する防衛措置は繰り返し拒否されていると言います。



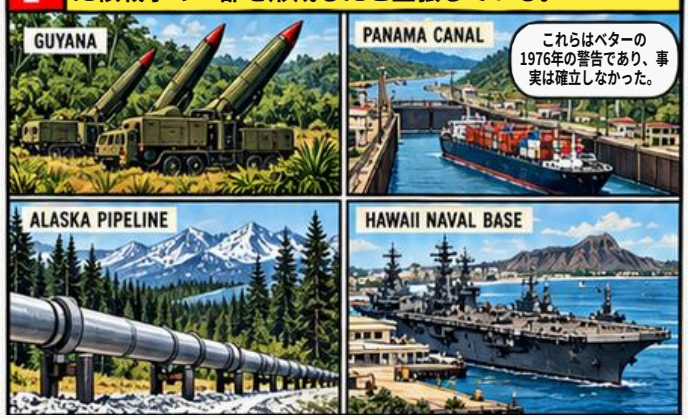
5 モスクワ大使館に放射性プルトニウムが保管されていると、彼は主張する。



6 メイン州の私立避難所の近くに、北部の「核安全地帯」がある。



7 ガイアナのミサイルとより広い標的は、計画された核戦争の一部を形成したと主張している。



8 彼は平和的な集会、公的調査、憲法上の行動を要求することで終わります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第12号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第13号

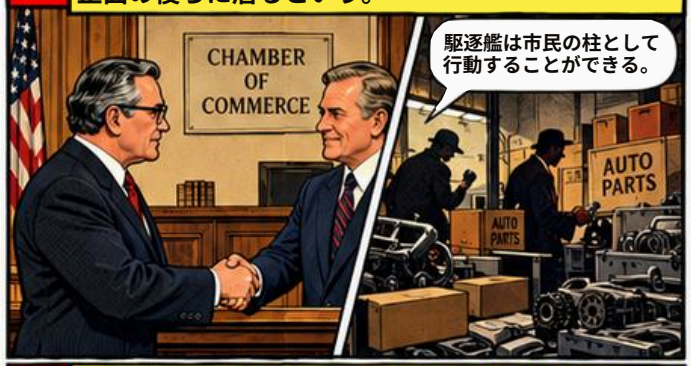
1976年6月26日

テーマ1 経済破壊の陰謀

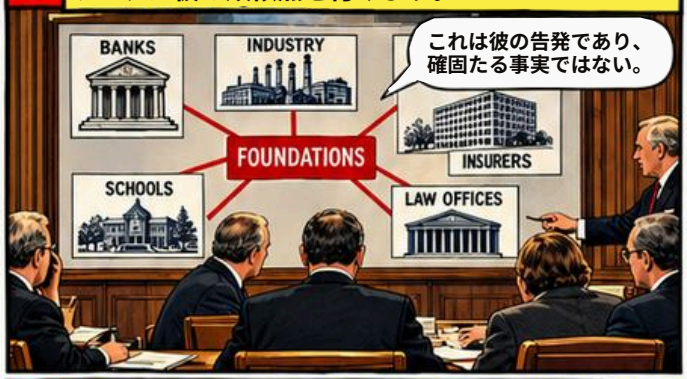
1 盗まれた車の言い伝えでより良いオープン:小さな利益のために大きな価値を破壊する。



2 陰謀は、捕食者のギャングが正統な正面の後ろに居るという。



3 Beterは、財団と連動するボードのネットワークに彼の類似点を付けます。



4 同氏は、金の売り込みを調整して押し下げ、南アフリカの収益を圧迫したと主張する。



5 彼は、最初のIMFオークションが実際に米国の最後の金の残高を売ったかどうかを疑問視しています。



6 金への圧力を解くとインフレと市場の崩壊が起きると予測している。



7 ミシシッピ州で凍結した撤退は、より広い不安定さの警告として引用されている。



8 社会保障の緊張で終わり、郵便サービスの縮小を脅かした。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第13号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第13号

1976年6月26日

テーマ2 政治滅亡の陰謀

1 ベターはウェイン・ヘイズ事件を政治的破壊の開会運動と解釈している。



2 彼は、スキャンダルが民主党大会で「道徳的リーダーシップ」を決定付けると期待しています。



3 ベターは主要メディアが最初にジミー・カーターを攻撃し、後に彼を傷つけたと主張している。



4 カーターは危機に近づく政治タイタニックの船長として描かれている。



5 元上院議員ハロルド・ヒューズは「ダークホース」として現れる可能性があると予測している。



6 彼は、ヒューズの上院委員会の役割を、全国的な視認性の準備として挙げている。



7 メキシコ湾岸石油投資公社(GCO)の公金裁判は、ウォーターゲートの新たな反響だ。



8 結局、フォードがロックフェラーを社長に任命できないと宣言するシナリオが出てくる。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第13号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第13号

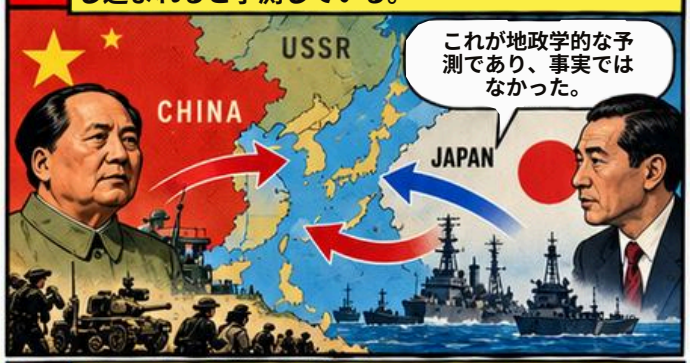
1976年6月26日

テーマ3 人間の命を滅ぼす陰謀

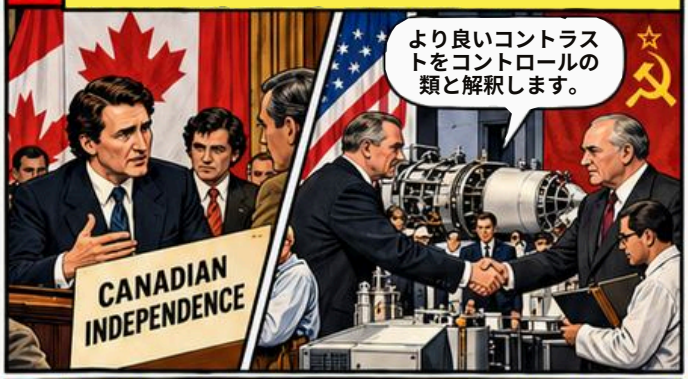
1 ベターは、生命の聖性と、支配エリートの支配の追求とを対比している。



2 彼は、中国と日本がアジア戦争に押し込まれると予測している。



3 彼は、カナダに対する圧力と、ソ連に流れる継続的な援助と技術とを対比している。



4 ダレスがロシアに研究を要請したとされる科学者を思い出す。



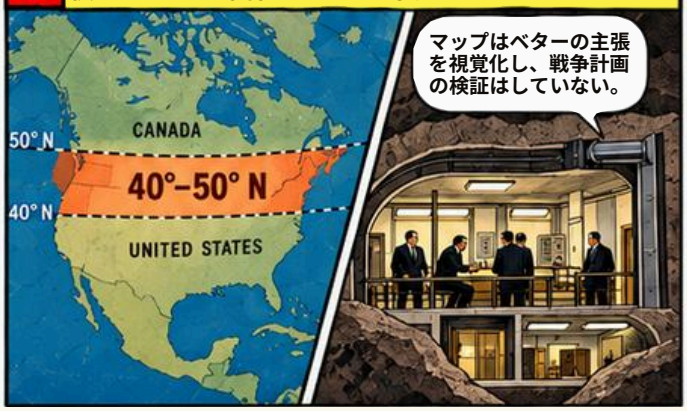
5 外相は、南部アフリカの資源を支配するための不安と契約を、外部勢力が利用していると主張している。



6 彼はレバノンの破壊を悼み、紛争は意図的に炎症を起こしたと主張する。



7 北部の「核安全地帯」と保護された避難所は役人のために確保されたと主張している。



8 秘密兵器と裏切りは最終的にプロット相手自身に逆らう可能性があると主張する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第13号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第14号

1976年7月19日

テーマ1 ベター氏の1976年のミサイル危機疑惑

1 ベターは真珠湾を呼び出し、新たな奇襲攻撃を警告する。



2 ソ連の裏切りが違反する可能性がある秘密の核安全地帯を主張する。



3 キューバのミサイル危機とガイアナのミサイル疑惑を結びつける。



4 カナダのダイバーが1971年にバンクーバー近郊で海底ミサイルを発見したと話す。



5 彼はソ連の回復努力は腐食と信頼できない武器に帰している。



6 彼は、新しい展開のためのカバーを提供する海洋学協力を主張する。 deploy



7 米軍は、少なくとも10隻の海底ミサイルと4発の爆弾を、沿岸海域で発射した。



8 真珠湾と名付けられ、共同長に直ちに調査するよう促している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第14号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第14号

1976年7月19日

テーマ2 二世紀後のアメリカにおけるヒトラーの類推

1 ベターは現代のテレビの説得と権威主義的な大衆宣伝を比較します。



2 彼はロックフェラーの利益がヒトラーの石油と電力の上昇に役立ったと主張している。



3 クレオール石油事業とネルソンの戦時中の政府の役割を結びつけている。



4 宣伝、危機、そして明らかに合法的な手法は独裁政権を可能にすると、彼は主張する。



5 彼はリスナーに、彼が引用した本や憲法案を調べるように頼む。



6 彼はヒトラーの在職中の任命と非常事態権限を比較している。



7 彼はライヒスターグの非常事態をアメリカの大統領令と対比している。



8 彼はオーダー11490と11921を強調し、リスナーに連邦登録簿を読むように求めます。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第14号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第14号

1976年7月19日

テーマ3 恐怖に暮れた彼の将来

1 ベターは戦争の後、自分が恐れる生存の意味を問う。



2 ロックフェラー独裁の下での強制的再建を予測している。



3 被害を受けたダムや鉱山、大規模農場の間で移動した生存者を述べている。



4 ソ連の裏切りは独裁制を占領に置き換えるだろうと、彼は言います。



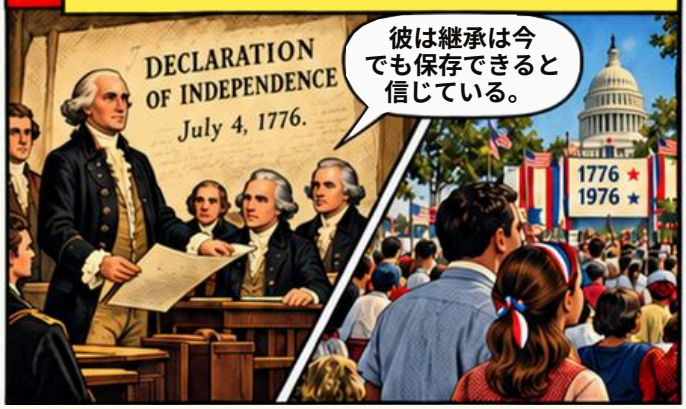
5 彼は2つの結果のうちどちらを選ぶかを拒否する。



6 彼は疑惑に直面して、不信と無行動に警告する。



7 彼は創業者とアメリカの200年の遺産を名乗る。



8 彼は、手遅れになる前に自由国を救うという訴えで締めくくります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第14号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第15号

1976年8月2日

テーマ1 ベター氏のロックフェラーの売り出し疑惑

1
1938年の西洋の和平と1970年代の外交を比較した。



2
彼はヘルシンキの入植地を別の危険な安心地として描いている。



3
彼は、ソビエトの軍事活動に関するデンマークと西ドイツの警告を引用しています。



4
ソ連の船舶や潜水艦、航空機への懸念について、彼は日本側について述べている。



5
イギリスとオーストラリアの声は、抑留の約束に疑問を投げかけている。



6
ブラウン、ホロウェイ、ズムウォルトは、アメリカ海軍の弱点の出来事の彼のバージョンで特徴付けられます。



7
ベターはキッシンジャー、フォード、ロックフェラーの利益が危険を隠していると告発する。



8
ソ連の裏切りがロックフェラーの権力を破壊できると論じている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第15号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第15号

1976年8月2日

テーマ2 ベター氏の海軍のサプライズ攻撃シナリオ

1 彼は貿易、物資、そして生存において海の本質的な役割から始めます。



2 セルゲイ・ゴルシュコフ提督は、世界的な海軍を造ったと信じている。



3 より良い米国のヤード閉鎖と失われた基地とソ連の造船と対照的です。



4 ディエゴ・ガルシアと、トンガに基地を構えるソ連の努力について論じる。



5 ゴルシュコフの声明は、海上での政治的圧力の準備として読まれている。



6 欧米のアナリストは、ほかの武器や教義に気を取られていると、彼は言います。



7 彼のシナリオは、海岸に隠れているミサイルや爆弾の疑いに依存している。



8 ライバル艦隊と重要な海路に対して同時に打撃を警告する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第15号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第15号

1976年8月2日

テーマ3 彼の主張する世界規模の海底配備

1 ベターは、アメリカとカナダの海域で16発の武器を挙げた。



2 少なくとも、全世界で64の武器施設が発見されたと報じています。



3 北欧、イギリス、アイルランド、アイスランドなどは、かなり露出している。



4 彼はナポリ、ジブラルタル、南アフリカ周辺の武器を主張する。



5 彼の証言にはガイアナの陸上ミサイルやペルシャ湾も含まれていた。



6 インド、東アジア、フィリピン、オーストラリアに生息する。



7 彼の開示は、驚きの利点を取り除くことを目指していると、彼は言います。



8 真珠湾の類似点と行動への訴えで終わります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第15号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第16号

1976年9月25日

テーマ1 1976年のベターズ8月ミサイル危機

1 ベターはレーガンが8月19日に警告した核の危険性と将来の自由について読む。



2 トランプ氏は、公衆からの圧力が、ミサイル疑惑を世界中の政府関係者に広めたと述べています。



3 バンクーバー近郊でカナダの海底ミサイルが発見され、トルドーは除去を要求したと、同氏は主張する。



4 ソ連の親善訪問と、ミサイルの消失の疑いを結びつける。



5 カラーハン内閣は、イギリスの撤去前のオーディオレター14と15を聞いたと、彼は言います。



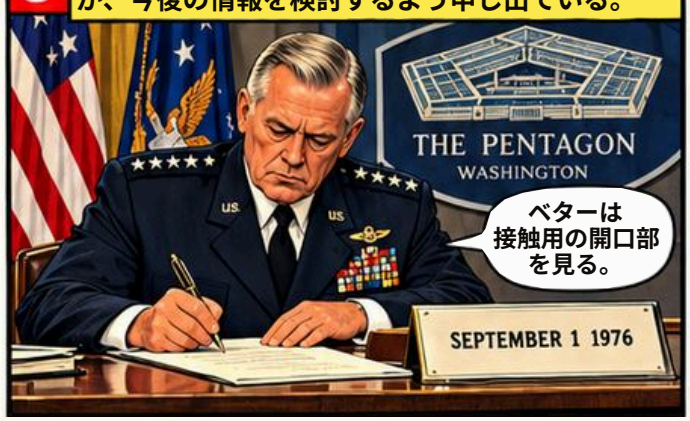
6 フォードは、キッシンジャーの反対にもかかわらず、米国の脱退を承認したと評価している。



7 彼はインマンの否定を、撤去後の証拠の欠如を理由としている。



8 ブラウンの9月1日の書簡は、この主張を拒否したが、今後の情報を検討するよう申し出ている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第16号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第16号

1976年9月25日

テーマ2 情報格差と新しいミサイル発射

1 ベター氏は9月7日、新たなミサイルがロサンゼルスとサンディエゴを脅かすと述べました。



2 シドニー・V・ライト大尉がペンタゴンで9月16日の会合を手配する。



3 Beter氏は、48人の疑惑が残るミサイル陣地をテープで紹介していると話す。



4 彼は、シールハーバーの武器の動きに関する主張を従う。



5 彼は情報格差がモスクワに流されたり、差し控えられたりした情報を非難している。



6 彼は忠実な情報スタッフと彼が非難するリーダーシップを区別する。



7 彼は、キャリアのキエフを過小評価されているソビエトの能力の例として挙げています。



8 ベターは、不完全な知能が軍事観測を誤った計算に変える可能性があると警告する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第16号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第16号

1976年9月25日

テーマ3 ベター氏の主張する潜水艦戦争は

1 マデジンは9月24日、ソ連海軍の成長について警告した。



2 海についたと疑われる武器を、領土海域に侵入する行為として解釈している。



3 彼はロックフェラー、モスクワ、キッシンジャーの間での争いの疑いと危険を結びつけます。



4 ベターは9月25日、少なくとも142隻のソ連潜水艦が米国沿岸付近で活動していると報告した。



5 彼はソ連の潜水艦との通信をアメリカのプロジェクト船員と対比している。



6 トランプ氏は、ミサイルが米国や沿岸海域から撤去されていると指摘しています。



7 ノーフォーク近郊で武装した障害者潜水艦が乗組員の墓になったと、彼は主張する。



8 ブラウンへの支持と戦争を防ぐための集団行動を求めることで、彼は終わりを告げる。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第16号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第17号

1976年10月26日

テーマ1 レッドフライデーとブラウン将軍に対するキャンペーン

1 ベターはジョージ・S・ブラウン将軍が海上ミサイルの脅威に反対したと評価している。



2 首相は、9月16日の会合で48のミサイルが新たに報告されたと述べました。



3 元インタビューの復活をブラウンに対するキャンペーンと解釈している。



4 ベターは10月1日をレッドフライデーと呼び、フォードの政治的トラブルとグロミーコの訪問を結びつけた。



5 ノーフォーク近郊でソ連の小型潜水艦が故障したため、同氏が再就役を許可したと、同長官は主張する。



6 ミサイル撤去は停止し、軍事報道官は自身の主張を否定するように命令されたと、同氏は言います。



7 彼はこれを、アイルランドがソ連のトロールを拘束し、イギリスの脱退を主張したのとは対照的である。



8 フェニックス・ミサイルとF14について話し合い、ブラウンへの支援を要請する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第17号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第17号

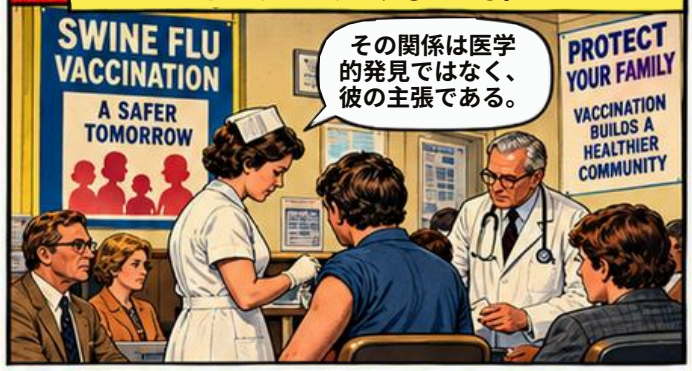
1976年10月26日

テーマ2 ベターの化学戦争の疑惑は

1 10月が中国の核実験に帰着するという、より良い紛争報告。



2 彼は豚インフルエンザキャンペーンを、疑惑のカバーストーリーにリンクしている。



3 彼は電子工作員たちの間で説明のつかない病気について話しています。その多くは女性です。



4 フィラデルフィアでのレジオネラ症の集団発生も意図的に引き起こされたと主張した。



5 マクガイアを出発した後、2機のC-141事故の背後にある破壊行為を主張する。



6 ベターはノックス砦と化学兵器の研究を彼の幅広い説明に結びつける。



7 ソ連潜水艦が10月3日にアメリカ沿岸でプルトニウムを放出したと、彼は主張する。



8 風が異常に強かったため、実験は中断され、曝露は減ったと、彼は言います。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第17号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第17号

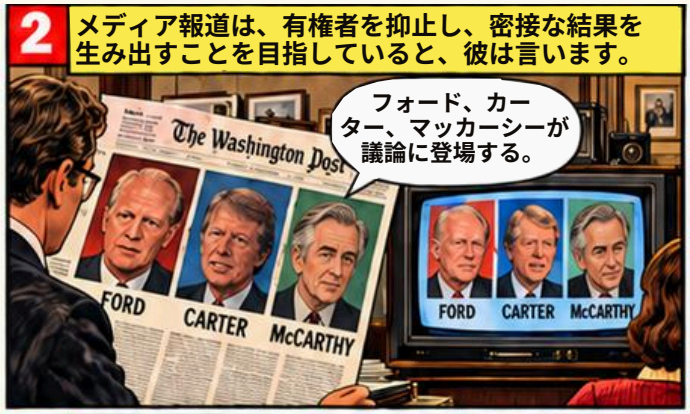
1976年10月26日

テーマ3 1976年のベターの幻の選挙シナリオ

1 Beterは、ネルソン・ロックフェラーが大統領になるための最終計画を持っていると主張している。



2 メディア報道は、有権者を抑止し、密接な結果を生み出すことを目指していると、彼は言います。



3 12月13日に予定されている選挙人団選挙戦に焦点を当てている。



4 1月6日は270票を獲得する候補者はいない。



5 ベター氏は、議会が時間内に大統領と副大統領を選ばないかもしれないと予測する。



6 ロックフェラーは1月20日以降大統領代行に就任する可能性があると推測している。



7 彼は、非常事態の規則と独裁の恐れに11921年大統領令をリンクします。



8 どちらの候補者も決定的な勝利を挙げれば、その計画は破られるだろうと、彼は言います。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第17号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第18号

1976年11月20日

テーマ1 ソ連の軍事力に関する議論

1 より良いものは、ソ連の力に対する西洋の関心の高まりとデタンテとを対比させる。



2 防衛費の引き上げと相互削減の提案を挙げている。



3 ベターは平和的な共存をフルシチョフの政策シフトに遡る。



4 軍事研究に費やすコストは技術差を生んだと、彼は主張する。



5 キューバのミサイル危機を招集し、マクナマラの防衛政策を批判する。



6 SALTとソ連の民間防衛をより広い説明に結びつける。



7 スミスとリーの偽名を含む中国の改革計画の疑いを語る。



8 キッシンジャーの外交は、その陰謀を不満に思って毛沢東を強化したと主張する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第18号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第18号

1976年11月20日

テーマ2 ベター氏がロシアに核戦争を望んでる理由

1 より良いは、相互保証破壊(MAD)の教義に挑戦します。



2 彼は、都市への攻撃とイギリスのV-1とV-2ストライキの下での耐久力を比較します。



3 ソ連の指導者は、もし生き残ることを期待すれば戦争を有用とみなすだろうと、彼は主張する。



4 彼は、アメリカを敗北すれば中国は孤立するだろうと言います。



5 海軍のミサイルはアメリカの港や海軍基地を驚かせる可能性があると、彼は主張する。



6 大統領が報復や降伏の最後通告に直面していると想像している。



7 ミサイル発射時間の対照は、早期警戒警告の必要性である。



8 ベターは、サプライズとソ連の避難所はMADへの彼の信頼を損なっていると結論付けます。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第18号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第18号

1976年11月20日

テーマ3 秘密とベターの平和への警告

1 同氏は、破壊的な短波パルスと、FCCの未回答苦情について説明します。



2 ベターは、信号がロッホネスの近くにあっても、ソ連潜水艦を調整していると主張している。



3 パルス変調とコンピュータエンコーディングとデクシングを結びつける。



4 彼はソ連とキューバの作戦を引用し、10月1日以降は軍事的沈黙を主張する。



5 中国の11月17日の核実験で発生した事故について、同長官は報道を争っている。



6 ベターは、ソ連潜水艦18隻が西海岸沖でプルトニウムを放出する計画を立てていたと主張している。



7 36発の追加ミサイルを発射したが、発射停止となった。



8 彼は新しい情報を公表する条件として、公開を要求している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第18号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第19号

1976年12月18日

テーマ1 なぜアメリカは最初の衛星を打ち上げなかったのか

1 ベターは1957年10月4日、スプートニクの衝撃を思い出す。



2 スプートニク・イルは後続者だが、アメリカのヴァンガード・プログラムは後退している。



3 ベター氏は、リンドン・ジョンソン氏が宇宙飛行をサポートすることを求めるグループに参加したことがあると述べています。



4 レッドストーン・チームとヴェルナー・フォン・ブラウンを前にした。



5 ベターの証言では、大統領の承認は海軍のヴァンガードを好んでいた。



6 外部からの圧力はフォン・ブラウンの計画の阻止に役立ったと主張する。



7 1958年1月31日、ついにエクスプローラーが軌道に到達した。



8 ベターは、アメリカの最終的な月の勝利におけるフォン・ブラウンの役割で終わります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第19号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第19号

1976年12月18日

テーマ2 ベター氏の戦争警告をアメリカ人が疑う理由

1 1975年にジェームズ・シュレシンジャーが出発したことを思い出す。



2 孤立したニュース報道は、より大きな軍事的イメージを隠していると、彼は主張する。



3 彼はソ連のバックファイア展開とアメリカ軍B-1に対する議論とを対比している。



4 ベター氏は、米国の防空対策と問題の後期の反転について批判している。



5 ソ連潜水艦のミサイルとSSNX-18のテストについて論じている。

OT



6 彼は、ソ連のMIRVの進捗を良い知らせと捉える編集部を主張する。

prog



7 ベターはバルト海でのソ連海軍演習に対するデンマークの懸念を引用している。



8 NATOは、軍事的均衡がワルシャワ条約を好むと警告している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第19号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第19号

1976年12月18日

テーマ3 財団とベターの戦争への道は

1 ベターは、クリスマスの精神と力の追求とを対比させます。



2 1953-54年のリース研究の研究者ディレクター、ノーマン・ドッドを紹介した。



3 ドッドはローワン・ガイサーが、アメリカとソビエトの生活を融合させるための補助金について述べていると主張している。



4 ドッド氏は、カーネギー記録は戦争と国民生活の再構築を結びつけていると言います。



5 外交、教育、歴史に影響を及ぼしたいと、彼は主張する。



6 ベターは、ソ連潜水艦21隻を巻き込んだ新しいプルトニウム作戦を主張する。



7 彼は新たに57基の海底ミサイルが36基に加えられ、合計93基が追加されたと主張している。



8 オアフ島と真珠湾近くで9発のミサイルを発射している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第19号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第20号

1977年1月24日

テーマ1 ヘンリー・フォード2世が

1 より良い大規模な免税基盤の影響に戻ります。



2 ノーマン・ドッドが行った基礎に関する議会調査の記録を思い出す。



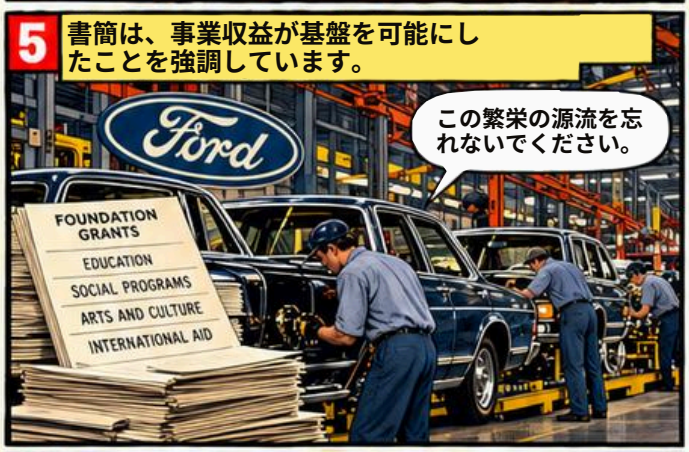
3 ベター氏は、財団の理事の中には政策の方向性を恐れる者もいると言います。



4 ヘンリー・フォードは1977年1月11日にフォード財団の理事に就任した。



5 書簡は、事業収益が基盤を可能にしたことを強調しています。



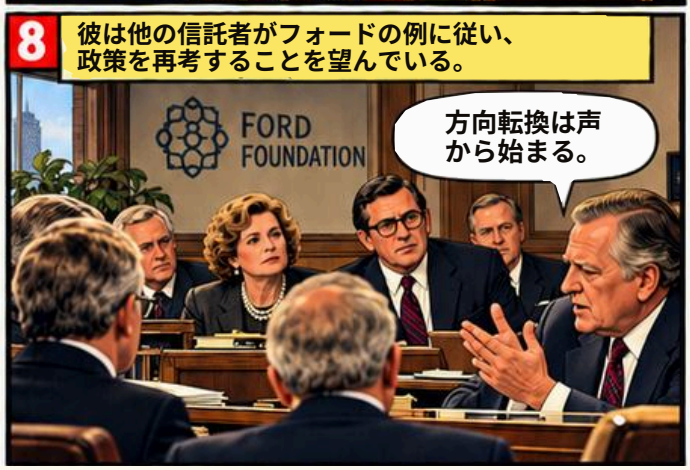
6 Fordは、基礎に、si~~s-ts システムを強化し改善するよう求めている。



7 ベターはフォードの競争企業の防衛に対する反応を批判する。



8 彼は他の信託者がフォードの例に従い、政策を再考することを望んでいる。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第20号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第20号

1977年1月24日

テーマ2 戦前の敵対とベターの警告

1 ベターコムは、以前の戦争に対する宣言されていない敵意で現在を回復します。



2 ソ連の潜水艦がプルトニウムを大気中に放出したと主張する。



3 3度目の作戦は21隻の潜水艦で、13隻が出航し、8隻が出航した。



4 ベターはオアフ島近くで9発のミサイルが撤去されたと主張しているが、新たな配備により総数は90発となった。



5 衛星は、船舶乗組員の判断を阻害するために電子レンジを使用していると、彼は主張する。



6 アーゴ・マーチャント・グラウンドと、その主要な原油流出について論じる。



7 ベターさんは、行方不明のグランド・ゼニスの場所を供給したと話す。



8 海軍と沿岸警備隊は、自身の報告書の調査を拒否したと、同氏は言います。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第20号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第20号

1977年1月24日

テーマ3 超大国兵器競争は

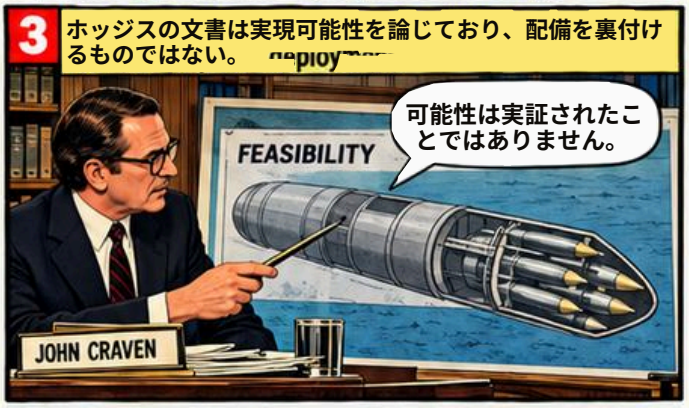
1 ベターは、軍制について公に議論する以上の隠れた武器競争を主張する。



2 トニー・ホッジスが47ページにわたって海綿腕について警告している。



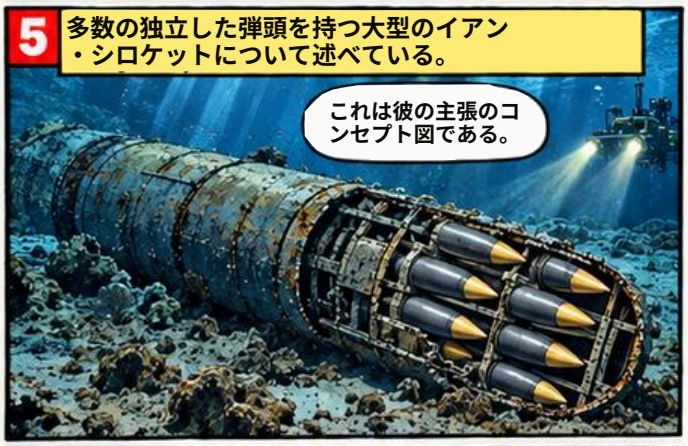
3 ホッジスの文書は実現可能性を論じており、配備を裏付けるものではない。



4 ベター氏は、自身の情報源が14の海底超ミサイルを説明していると述べています。



5 多数の独立した弾頭を持つ大型のイアン・シロケットについて述べている。



6 同氏は、CIAの統制はロックフェラーの利益に役立ち、それには安全地帯が想定されていると主張している。



7 彼のバージョンでは、ミサイル1発が無効になり、5発が劣化し、8発が疑わしいと述べています。



8 ベターは、戦争を防ぐために露出を期待して、すべての14の疑わしいサイトの座標を公開します。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第20号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第21号

1977年2月27日

テーマ1 国家の安全をいかに失ったか

1 より優れた秘密と集中力に基づいて構築されたセキュリティの定義に挑戦します。



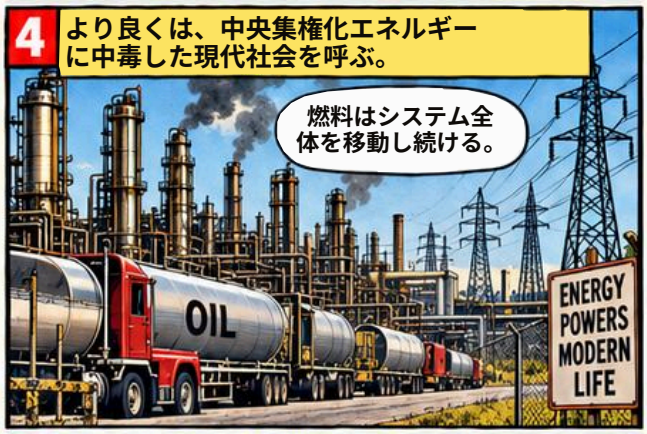
2 国民の真の安全は国民に根ざしているべきだと、彼は言います。



3 彼は自給自足の町と遠方の仕入先への依存を対比している。



4 より良くは、中央集権化エネルギーに中毒した現代社会を呼ぶ。



5 動物、風力、水力から石炭、石油への転換を辿る。



6 農業機械、肥料、農薬は食品生産をエネルギーに結びつけます。



7 ロックフェラー石油帝国は、貧困を政治的なレバレッジとして使うことができると、彼は主張する。



8 彼の結論は、政府の市民権と再興された安全保障を結びつけるものである。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第21号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第21号

1977年2月27日

テーマ2 1977年、アメリカ戦前

1 ベターはカーターの閣僚の指名と空席を戦争準備の兆候として見ている。



2 政府は改組によって議会と憲法上の制限が弱まる可能性があると懸念している。



3 トルーマンはCIAに対する批判を呼び、ターナー提督の新しい役割について疑問を呈する。



4 ベターは90発のソ連沿岸ミサイルと14発のCIAの超大型ミサイルを主張している。



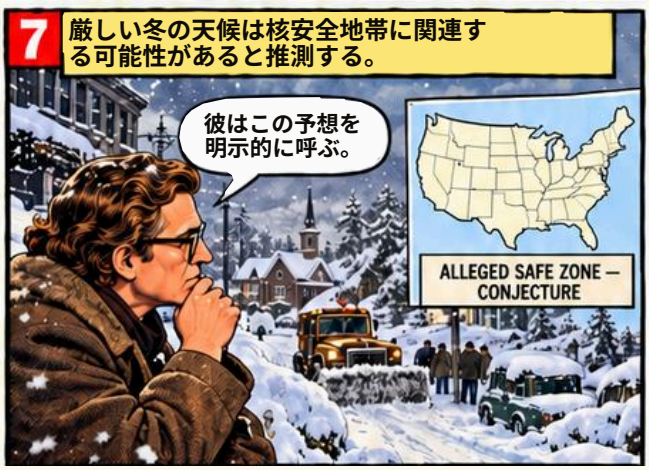
5 ジャクソンビルの捕鯨現場を、大西洋ミサイル8号からの漏洩と関連付ける。



6 彼は潜水艦のプルトニウムを放出し、インフルエンザのような病気と結びつけると主張している。



7 厳しい冬の天候は核安全地帯に関連する可能性があると推測する。



8 彼はミサイルの減量と安全地帯を結びつけている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第21号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第21号

1977年2月27日

テーマ3 時代の終わり

1 ベター氏は、政治、経済、精神の変化は、時代の終わりを意味すると言います。



2 彼は、新たな自由の未来を、恐れる世界の独裁政権と対比している。



3 彼は自然の尊重が破壊的な選択よりも優勢になるかどうかを尋ねます。



4 彼の訴えは組織的で、献身的で、無私な公的な行動を求めるものである。



5 ベターは第二次世界大戦前にドイツから警告を出した。



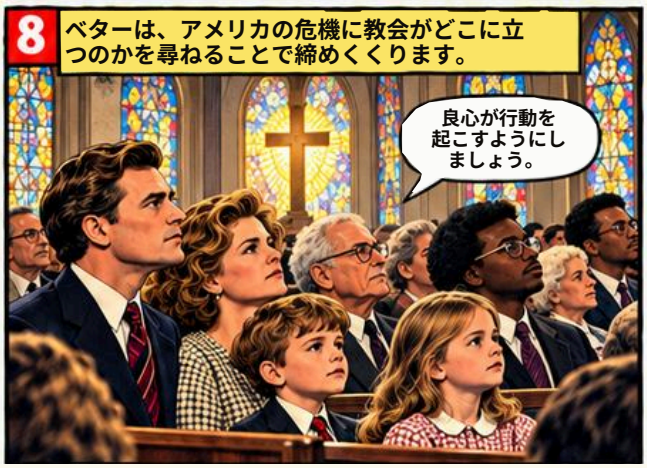
6 1945年10月16日付の手紙をアルバート・アインシュタイン宛てに読み上げている。



7 アインシュタインの回答は、教会の抵抗を称賛する声明を裏付けるものである。



8 ベターは、アメリカの危機に教会がどこに立つのかを尋ねることで締めくくります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第21号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第22号

1977年3月27日

テーマ1 戦争計画の経緯

1 ベターは、秘密計画は状況証拠を通じて開示できると主張している。



2 1865年のリンカーン陰謀裁判でジョン・ビンガム検事の議論を呼び起こした。



3 ネルソン・ロックフェラーがフォードの解任を通じて大統領を捜していたという疑惑を再審理した。



4 ベターは1975年のフォードの試みを、その計画の一部である ms と解釈した。



5 ノックス砦に戻り、金の検査と監査の対象範囲について論争する。



6 中央保管庫は金の論争にとって極めて重要だと、彼は主張する。



7 1977年3月のインディラ・ガンディー選挙では敗北を、戦争の障害を取り除くと解釈した。



8 彼の結論は、公衆の露出と継続的な市民行動は災害を防ぐ可能性がある。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第22号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第22号

1977年3月27日

テーマ2 カーターとベターの核戦争警告

1 ベターはカーターの和平約束を、後に戦争に突入した以前の大統領と比較する。



2 カーターの外交的対立と人権のレトリックは緊張の高まりと見ている。



3 ベターは、ロックフェラーの利益を保護するためにCIAが海上スーパーミサイルが存在すると主張している。



4 同氏は、引退した情報長官ジョージ・キーガン氏が、ソ連の粒子ビーム研究について警告していることを引用しています。



5 ベターは、全世界の沿岸海域で合計372基のソ連核兵器が発見されたと報告している。



6 大陸130、アラスカ9、ハワイ15、他4の海域に158隻が生息している。



7 彼はまた、西海岸沖で16個の遠隔操作のプルトニウム容器を主張している。



8 ベター氏は、英国が調整を要請し、ミサイルを水から取り除き始めたと述べています。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第22号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第22号

1977年3月27日

テーマ3 教会の使い方

1 ベターはビリー・グラハムのカーターの宗教的ジェスチャーに対する好意的な反応について論じる。



2 カーターの日曜学校のイメージは多くのアメリカ人の信頼を得ている。



3 ベターはこのイメージをジョン・D・ロックフェラーの初期の教会参加と比較した。



4 彼の警告:可視の敬遠は倫理的な政治的決定を保証するものではありません。



5 ボリシェヴィキ革命後の信者の迫害について述べている。



6 彼は毛沢東の中国と平行して、デヴィッド・ロックフェラーの賞賛を批判する。



7 ベターは、三大宗教を不安定にさせる可能性のある、不特定な中東の挑発について警告する。



8 彼は信者にパニックに抵抗し、良心と責任を持って行動するように促します。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第22号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第23号

1977年4月24日

テーマ1 アメリカの戦争前の破壊行為は

1 ベターは1977年4月にカーターが行ったエネルギー計画は戦争の備えになると考えている。



2 議論は、スタンダード・オイルとロシア石油競争に遡る。



3 ベターの主張:西側の財政的利益はソビエトの力を築くのに役立った。



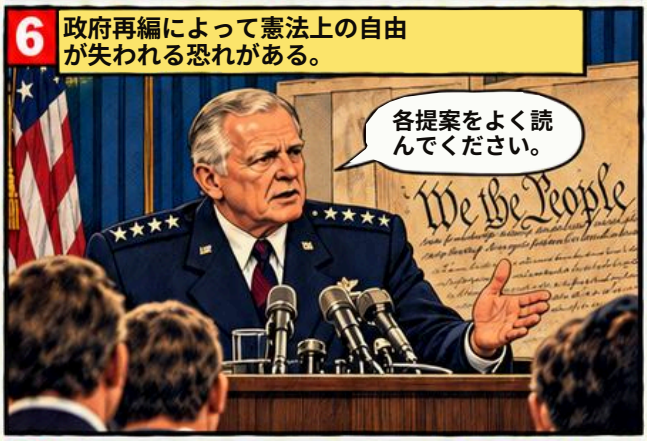
4 エネルギー不足は政治的支配の道具になる可能性があると、彼は主張する。



5 干ばつ、地下水、石油生産を結びつける。



6 政府再編によって憲法上の自由が失われる恐れがある。



7 ベターは、教会の評議会における政治に対するJ・ハワード・ピューの批判を引用している。



8 彼の結論は良心と個人の責任を中心に置く。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第23号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第23号

1977年4月24日

テーマ2 アメリカと世界のための今後の海戦



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第23号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第23号

1977年4月24日

テーマ3 ジョージ・S・ブラウン将軍の未発表の個人的な犠牲



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第23号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第24号

1977年5月28日

テーマ1 バビロンの陥落は

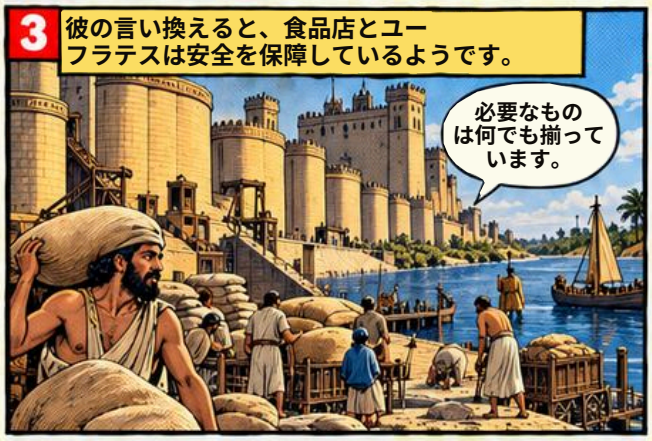
1 ベターは2周年記念の手紙を緊急の警告で開きます。



2 彼はアメリカの信頼と古代バビロンの富を比較している。



3 彼の言い換えると、食品店とユーフラテスは安全を保障しているようです。



4 敵軍が外で待っている間、王室の宴が続きます。



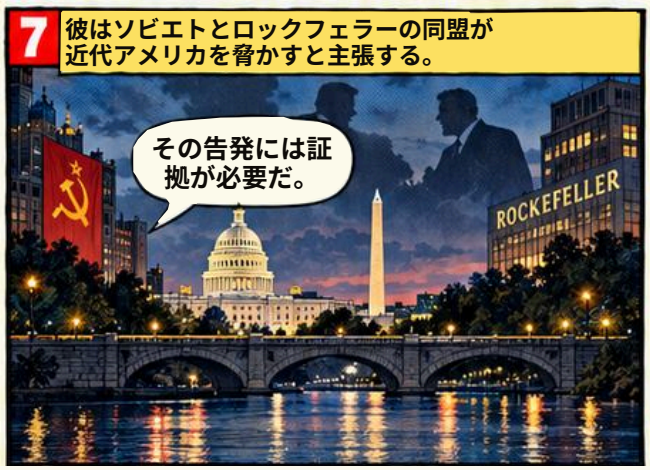
5 聖書の手書きは、王国が計量され、望んでいたと警告します。



6 Beterは川の転換を伝え、その乾燥したベッドを通って入国します。



7 彼はソビエトとロックフェラーの同盟が近代アメリカを脅かすと主張する。



8 彼のアナロジーは、水が脆弱性と満足の象徴になります。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第24号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第24号

1977年5月28日

テーマ2 アメリカの壁の筆跡



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第24号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第24号

1977年5月28日

テーマ3 究極の武器は水です

1 1976年6月5日、アイダホ州にあるテトン・ダムが崩壊したことを思い出す。



2 彼のバージョンの出来事は、下流に広がる緊急作業と洪水について説明しています。



3 ベターの主張:隠れたソ連爆弾はアメリカの貯水池を脅かす。



4 彼は密輸品がカナダの国境を越えていると主張する。



5 当局は警告を調査できなかったと、彼は言います。



6 ベター氏の主張では、水中での爆発は太平洋での災害につながる可能性がある。



7 彼は大惨事が緊急事態の規則の口実になるのを恐れている。



8 手紙は、情報を共有するための呼びかけで終わります。祈りを良心します。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第24号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第25号

1977年8月26日

テーマ1 パナマ運河の戦争のトラップ

1 1977年8月、パナマ運河論争に復帰した。



2 新しい条約では運河の支配権を公的な議論の中心に置く。



3 ベターは、条約政治はより広い紛争を引き起こすために使用できると主張している。



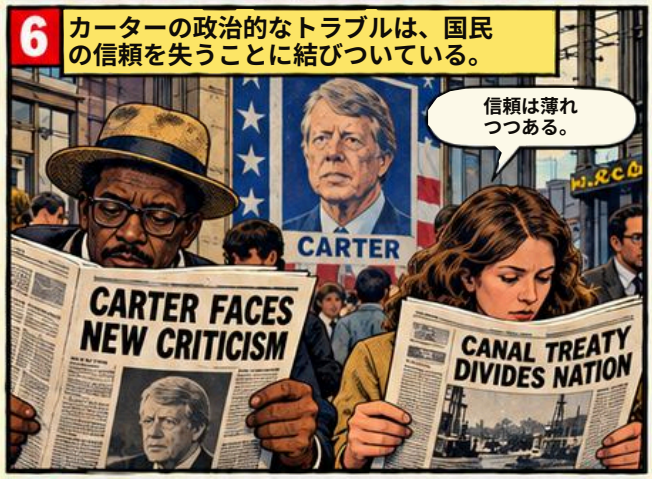
4 彼は、強い利益は保守党が合意を破ることを望んでいると主張している。



5 ベターの主張:ガイアナにおけるソビエトの影響は運河を脅かす。



6 カーターの政治的なトラブルは、国民の信頼を失うことに結びついている。



7 ベターの主張: 秘密兵器の輸送はカナダを通過します。



8 手紙はリスナーに戦争への道筋を問うよう促している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第25号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第25号

1977年8月26日

テーマ2 第二次イギリスの戦い

1 ベターは1938年のミュンヘンと1940年のイギリスの抵抗とを対比している。



2 1977年、イギリスはソビエトの圧力に抵抗したと描写した。



3 ソ連潜水艦の大規模演習に関する報告を議論する。



4 イギリスの防衛上の懸念は、鉱山や脆弱な海路である。



5 ベターの主張:ソナー装置は、ソ連のエージェントによって派生して検査される。



6 飛行場や軍事施設を守るための取り組みについて述べている。



7 ベターは金融政策をイギリスの独立の証と解釈している。



8 その手紙は脅迫に対する答えとして国民の決意を示している。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第25号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第25号

1977年8月26日

テーマ3 人工地震と核戦争

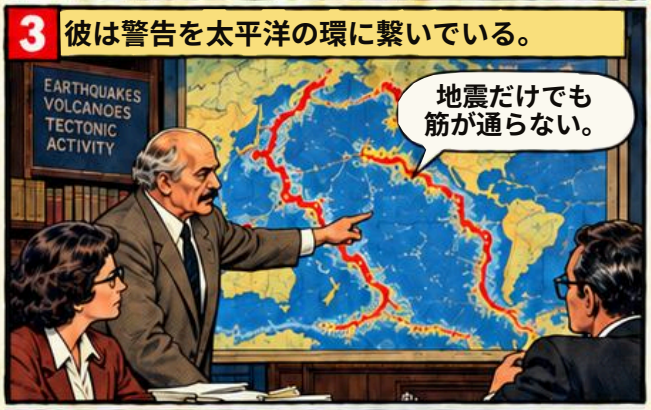
1 ベターは、隠れた脅威が核戦争につながる可能性があると警告する。



2 ベターの主張:爆発的な装置はアメリカの水域に隠されている。



3 彼は警告を太平洋の環に繋いでいる。



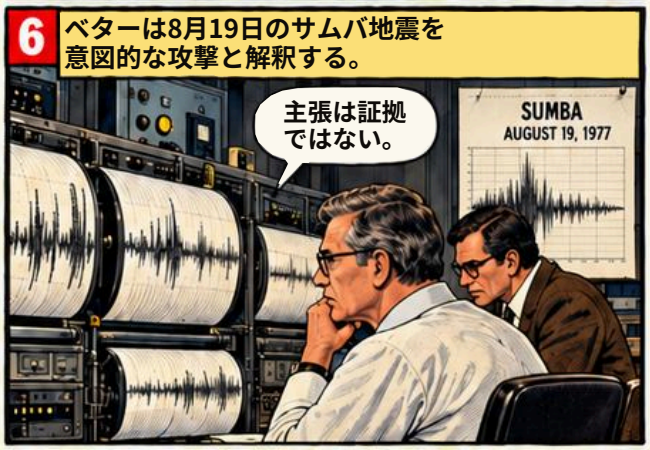
4 ベター氏の主張: 水中での大規模な爆発は災害を引き起こす可能性があります。



5 想像上の危険性は、海岸線に沿った破壊的な波を含みます。



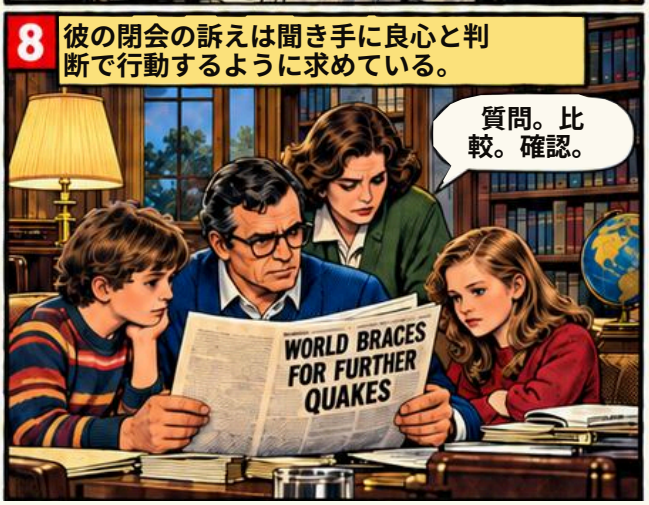
6 ベターは8月19日のサムバ地震を意図的な攻撃と解釈する。



7 緊急事態が対立を加速させる可能性があると、彼は心配しています。



8 彼の閉会の訴えは聞き手に良心と判断で行動するように求めている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第25号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第26号

1977年9月30日

テーマ1 宇宙戦争収穫月の戦闘

1 ベターは1977年9月27日を宇宙における秘密の転機と表現した。



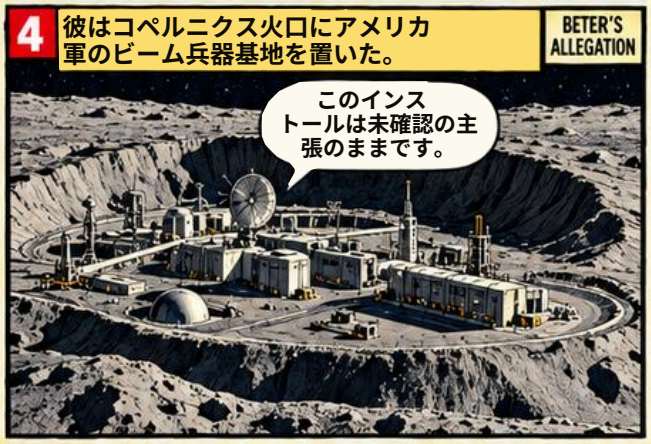
2 彼は月計画は隠された軍事計画だと解釈した。



3 ディエゴ・ガルシアから月への密かに月を飛行していたと主張する。



4 彼はコペルニクス火口にアメリカ軍のビーム兵器基地を置いた。



5 彼はコスモス929をソビエト連邦の粒子ビームプラットフォームとして識別した。



6 彼は9月20日の空の現象を衛星攻撃と解釈した。



7 彼はソ連の光線が9月27日に月の基地を破壊したと主張する。



8 彼の警告では、敗北が軍事的バランスを変えた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第26号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第26号

1977年9月30日

テーマ2 ロックフェラー帝国の最後の日々

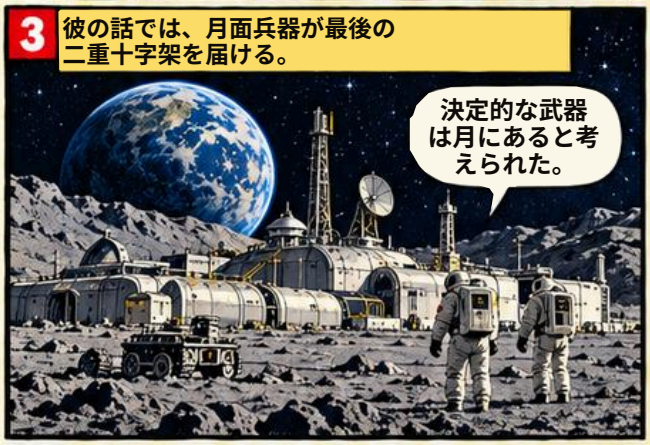
1 ベターはロックフェラーの利益とモスクワとの同盟が崩壊したと主張した。



2 戦争計画は兄弟の手に力を入れると、彼は主張した。



3 彼の話では、月面兵器が最後の二重十字架を届ける。



4 彼はこの勝利が神の介入として提示されると主張した。



5 彼はソ連の指導者が計画を発見し、最初に打ったと主張した。



6 グロマー・エクスプローラは秘密の海底ミサイルを疑われている。



7 彼はグロミコの外交を、月が敗北したと疑われた後の最後通じだと解釈した。



8 彼の警告は潜水艦の動きと戦争の危険性に焦点を当てた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第26号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第26号

1977年9月30日

テーマ3 記憶の中のアメリカンドリームは

1 ベターはワシントンの誠実さ、平和、道徳的責任の理想を呼んだ。



2 彼はこれらの理想と、マカイアベリの権力政治の読みとを対比した。



3 南北戦争のロシアによる北軍支援を称賛した。



4 1863年のロシア海軍の訪問は、彼の歴史的議論の中心となった。



5 彼はメイン大惨事を戦争感情を操った一例として扱った。



6 彼は戦争を長引く公判の衰退に結びつけた。



7 彼はリスナーに真実を求め、共通の利益のために行動するように促した。



8 彼の結論は、市民の義務、キリスト教の信仰、未来への恐怖を兼ね備えたものである。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第26号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第27号

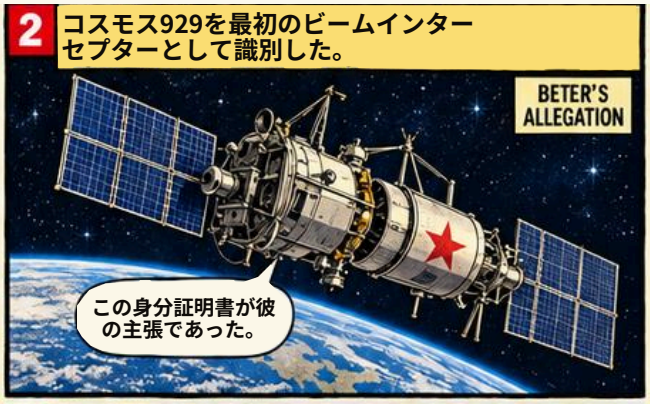
1977年10月29日

テーマ1 ソ連の粒子ビームとキラー衛星

1 ベターはソ連の衛星が新しい粒子ビーム兵器を運んでいたと主張した。



2 コスモス929を最初のビームインターセプターとして識別した。



3 彼は反衛星能力に関する公の警告を自身のバージョンの出来事にリンクした。



4 通信、偵察、早期警戒は軌道システムに依存していた。



5 彼は10月の火球をスカイラブの破壊と解釈した。



6 彼はまたソユーズ25号の乗組員による秘密の月ミッションを主張した。



7 これらの劇的な解釈は独立した証拠を必要とする。



8 彼の警告は、衛星を失うとアメリカは脆弱になるというものだった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第27号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第27号

1977年10月29日

テーマ2 レジオネラ症という病原体が広がっている病原体

1 ベターは、レジオネラ症は放射線攻撃の結果だと主張した。



2 ソ連潜水艦は放射性物質を放出したと主張する。



3 彼はその病気の疑いを、より広い対立に結びつけた。



4 発熱、せき、重篤な病気について、彼は患者の間で議論した。 peop



5 彼は特定された細菌を二次的合併症として扱う。



6 彼の説明は医学研究で受け入れられた細菌の原因を拒否した。



7 レジオネラ症はレジオネラ属の細菌によって起こる。



8 信頼できる医学的証拠とともに、この歴史的主張を読んでください。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第27号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第27号

1977年10月29日

テーマ3 アメリカの強制武装解除が進行中です

1 ベターは、カルターの注意と、サート2世に対する緊急性の増加とを対比した。



2 彼は1977年10月14日にアメリカが密かに降伏したと主張する。



3 彼は軍縮声明をソビエトの圧力の兆候と解釈した。



4 彼はB-1爆撃機計画の中止を批判した。



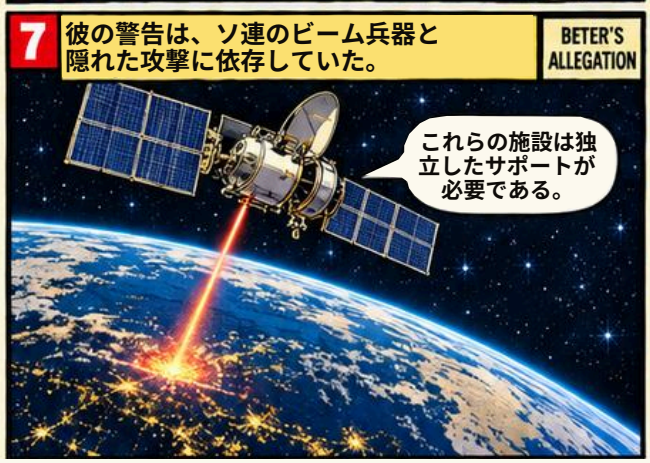
5 巡洋艦ミサイルとソ連のバックファイア爆撃機が彼の議論で取り上げられた。



6 検証と武器カテゴリーの省略は決定的であると主張した。



7 彼の警告は、ソ連のビーム兵器と隠れた攻撃に依存していた。



8 彼は精査をし、良心は彼が黙っていることを許さないと述べた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第27号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第28号

1977年11月21日

テーマ1 塩で仕切られた家

1 ベターは、SALT議論を、アメリカの分裂した指導者として描き出した。



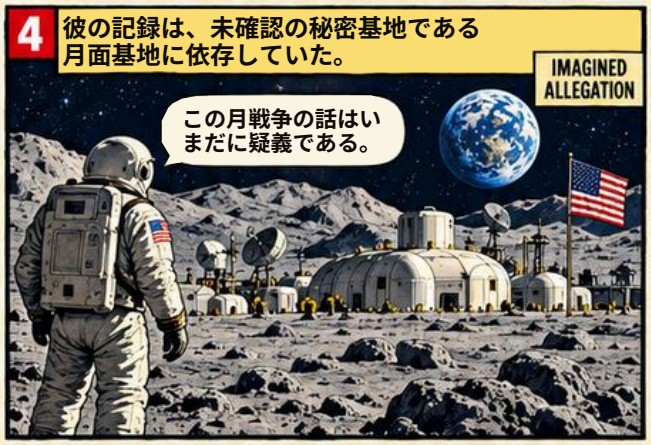
2 彼は月面艦と軍縮政策を戦略上の疑いで結びつけた。



3 公的予算が増大し、秘密兵器の支出が隠れたと主張する。



4 彼の記録は、未確認の秘密基地である月面基地に依存していた。



5 彼はモスクワが、アメリカがソルチルを承認したと主張する。



6 彼はクレムリンに新しい支配派を描写したが、これは彼の解釈であった。



7 SALTに関する紛争発言は、彼の議論の一部となった。



8 1979年に契約を締結したが、批准はされなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第28号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第28号

1977年11月21日

テーマ2 ソ連とアメリカの脅威の交換

1 より優れたのは、ソ連の武器計画の疑いによる海底地震である。



2 彼はトッカダム災害を秘密の核鉱山で非難した。



3 公式調査では、構造的故障の要因が判明した。



4 また、イリでの鉄道爆発の背後にある核破壊を主張した。



5 彼の話では、カーターからの手紙はモスクワに緊急の要請を運んだ。



6 彼は、Voice of America放送を先制戦の警告として解釈した。



7 ソ連の潜水艦の動きはワシントンを撤退させたと主張する。



8 彼の結論は、脅威と操縦が大惨事を引き起こすというものだった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第28号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第28号

1977年11月21日

テーマ3 イスラエルへのサダット旅行と第一次原子力戦争

1 1977年11月にサダトがイスラエルを訪問したことで、外交上の障壁はなくなった。



2 Beterは、この訪問は密かに心理的操作から生じたと主張した。



3 テレビインタビューは、提案された会議を世論に出すのに役立ちました。



4 彼はアラブ指導者間の不一致を、危険な設計の一部として扱う。



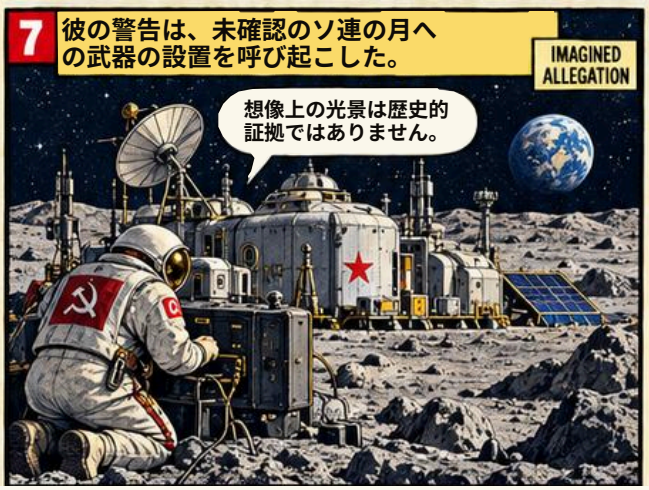
5 彼はシナイ川と石油ルートに関するより広い戦争の準備を主張した。



6 シャーのワシントン訪問を、彼のアメリカ=ソビエト紛争物語に結びつけた。



7 彼の警告は、未確認のソ連の月への武器の設置を呼び起こした。



8 1979年3月、エジプトとイスラエルは和平条約に調印した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第28号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第29号

1977年12月22日

テーマ1 サイクロン、大地震、ソビエトのアメリカ脅迫

1 ベターはインドの11月サイクロンを秘密兵器と結びつけた。



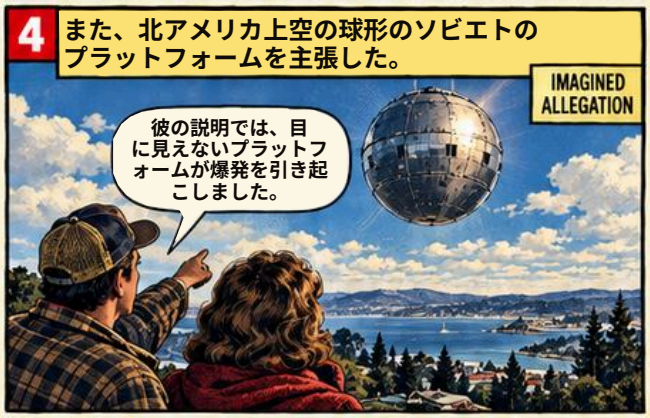
2 彼の話はソ連の光線兵器を月面に発射したが、これは確認されなかった。



3 暴風雨はサイクロンの既知の自然の危険性である。



4 また、北アメリカ上空の球形のソビエトのプラットフォームを主張した。



5 大西洋岸での騒々しいブームの報告は、彼のバージョンの出来事で取り上げられました。



6 彼は音響測定について言及したが、このことは彼の説明を裏付けるものではない。



7 彼は12月の穀物エレベーター爆発をソ連の破壊行為に責任を問った。



8 彼の結論は、危険と答えを求める警告であった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第29号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第29号

1977年12月22日

テーマ2 NATO同盟の解体

1 ベターは軍事的均衡悪化の無線インタビュー警告を引用した。



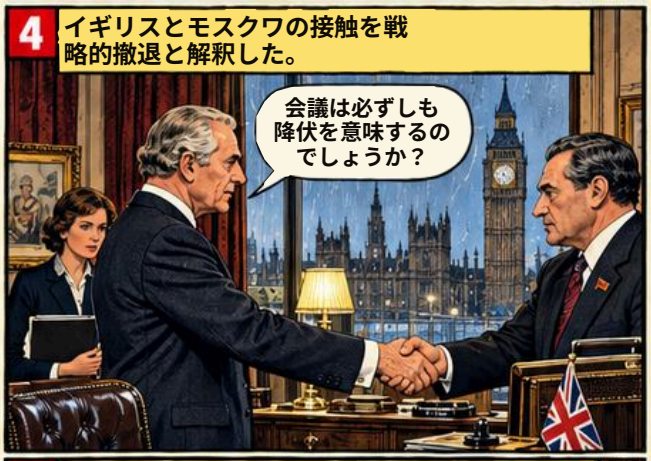
2 彼は海中戦に関する報告を隠れた紛争の兆候として扱う。



3 彼のバージョンの出来事は、西部海域に秘密の水中配備を主張した。



4 イギリスとモスクワの接触を戦略的撤退と解釈した。



5 巡航ミサイルと中性子爆弾論争が彼の議論に持ち込まれた。



6 彼は、秘密の設計の一部として中東平和の努力を表現しました。



7 ロシアは、原油価格をロシアに依存していると予測した。



8 彼はNATOの分裂を予測し、同盟は続きました。これが彼の予測でした。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第29号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第29号

1977年12月22日

テーマ3 アメリカのボリシェヴィキ革命への裏切り

1 ベターはロックフェラー兄弟に進路を変えるよう訴えた。



2 彼は1917年のロシア革命に財政的利益を結びつけた。



3 彼の話は、秘密の支配者とモスクワの間の同盟が破られたと主張する。



4 ソ連の指導部ではライバル勢力が苦戦していたと主張する。



5 彼はアメリカの機関で政治的な秘かに任命されたと主張する。



6 彼は新しい同盟がアメリカの機関を傷つけるのではないかと心配していた。



7 彼の提案された救済策は、公的な精査と方向転換であった。



8 彼は子供たち、自由、平和へのクリスマスの願いを胸に終わった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第29号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第30号

1978年1月28日

テーマ1 秘密支配者の一世界計画は失敗に終わりました



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第30号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第30号

1978年1月28日

テーマ2 クレムリンの積極的な新政策は

1 ベターは、軍と治安の強硬派がクレムリン政策を支配していると主張した。



2 彼はブレジネフが重篤な病気と無能な状態にあると断定した。



3 彼はエチオピアへのソ連軍の空輸を、より大胆な姿勢の証拠と解釈した。



4 1977年11月、和平交渉と軍事的レトリックを対比した。



5 彼は、説明されていない「空の地震」を、球面のプラットフォームをホバリングさせることに結びつけた。裏付けは得られていない。



6 ソ連は、一連の穀物施設爆発の背後にある破壊行為を主張した。



7 穀物粉塵は本当の爆発の危険です。



8 また、隠れた核鉱山はアメリカのインフラを脅かすと主張し、これは事実ではなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第30号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第30号

1978年1月28日

テーマ3 ソ連は世界を警察する準備をしていた

1 ベターはソ連軍の成長と軍事演習についての警告を引用した。



2 彼はソビエトの科学の進歩を強調し、西洋の援助が彼らを強化したと主張した。



3 球面プラットフォームの世界的ネットワークは、ソビエトの支配を強制できると主張する。



4 プログレス1号は無人補給機であり、ベターは秘密の乗組員と軍事目的を主張した。



5 1978年1月24日、コスモス954号がカナダ北部に再突入し、放射性破片が散乱した。



6 ホバリングプラットフォームは、生存していた乗組員を密かに救助し、未確認の救出ストーリーを復元したと主張する。



7 冬の厳しい天候を予報し、ソ連海軍の配備を恐れた。



8 彼は、協調攻撃とソ連の世界的な支配を予測したが、予測された征服は実現しなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第30号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第31号

1978年2月27日

テーマ1 ソ連の宇宙戦略と宇宙政治の夜明け

1 ベターは財政力と、彼が宇宙から支配するソ連の戦略とを対比した。



2 1977年9月27日、コペルニクスのクレーターに隠されたアメリカ軍の基地が破壊されたと主張する。



3 彼の説明では、有人コスモスインターセプターの増大する艦隊は粒子ビーム兵器を運んだ。



4 説明されていない「空の地震」を、コスモスフィアと呼ばれる球面プラットフォームにリンクさせたほうが良い。



5 彼は、これらのプラットフォームはNORADや主要なダムを含む戦略的地域を超えてホバリングしたと主張した。



6 彼は、カナダにおける秘密の救出と移送であるコスモス954の代替説明を与えた。



7 また、プログレス1とサリュート6はより大きな軍事宇宙計画の一部であるとして解釈した。



8 戦争は別の不確定な主張です 最後に彼は異常気象を 地質学的なせいにしました。裏付けは得られていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第31号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第31号

1978年2月27日

テーマ2 急激な「国民的緊急事態」への蓄積



Source: Peter David Beter — Audio Letter No. 31

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第31号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第31号

1978年2月27日

テーマ3 SALTをめぐる内戦における死傷者数の増加

1 1972年、レイモンド・S・スリーパー大佐がソ連の軍事宇宙軍を警告したことを引用した。



2 彼は、脅迫に裏付けられた秘密闘争の一環として、SALT IIの交渉を中断した。



3 彼はクレムリンの権力交代を訴え、ブレジネフが亡くなって二重に置き換えられたとさえ主張した。



4 彼は中国と日本の貿易との新たなアメリカ関係を戦略的なカウンターウェイトと解釈した。



5 13人のソ連外交官がカナダから追放され、ベターはより深い隠された作戦を主張した。



6 彼は、航空機の動きはケベック州の潜入と密かに収容所を隠していたと主張した。



7 彼は、ウェーバリー・プロパン爆発のような災害をソ連の破壊行為に帰した。



8 停滞を招いたのは、権力のバランスを誤ることにより大惨事につながる可能性があると警告したことだ。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第31号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第32号

1978年3月29日

テーマ1 宇宙圏、宇宙戦略、そしてトマス・パワー将軍の無視される警告

1 ベターは1957年のトマス・パワー将軍の演説を思い出し、この演説では公式な政策が軍事宇宙システムに関する議論を制限した。



2 10月のスプートニクの打ち上げは、宇宙の戦略的重要性を無視することができなかった。



3 ベターはパワーの1959年の原本はブロックされたが、1965年にデザイン・フォー・サバイバルが改訂された。



4 ベターは、以前の写本を入手し、抑止力とソビエトの意図に関する警告を読んだと主張した。



5 軍事用高地は丘から航空機へと拡張し、最終的に宇宙へ拡大した。



6 ベターは、突然の技術的なブレークスルーが最良の予測を覆す可能性があるというパワーの警告を強調した。



7 彼はパワーの浮遊プラットフォームに関する議論を、自身のソ連の宇宙に関する疑惑に結びつけた。



8 1978年3月、ベターは、世界全体で70個もの宇宙圏が存在し、効果的な防御は存在しなかったと主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第32号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第32号

1978年3月29日

テーマ2 米国に侵攻するためのソビエトの準備

1 ベターは、モントリオールを抜けた航空機の動きがソ連の侵入を隠蔽したという疑惑に戻った。



2 ケベック分離主義は言語を超えて拡大するより大きな地政学プロジェクトを隠していたと論じた。



3 ケベック州におけるフランスの影響は、ソビエトがカナダに接近するのを助けるという秘密の理解を主張した。



4 ベターはカナダの政府内の反対派について、侵入に抵抗する協力者や役人について述べた。



5 カナダとメキシコの両方でソ連が準備しているものは、アメリカの外防衛を回避しようとしていると主張した。



6 彼の報告によれば、小さな部隊はカナダの各州に分散していた。



7 彼は、隠れた部隊が突然に集結し、アメリカの国境防衛を圧倒できると主張した。



8 ベターは核攻撃後の侵略の準備としてこれらの動きを描いた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第32号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第32号

1978年3月29日

テーマ3 核のホロコーストにイベントがどのように収束しているか

1 ベターは、スカイラブの軌道が下降しているという報告が1977年10月にその破壊を隠していたと主張する。



2 彼は12月以来報告されている謎の空の地震を、彼の主張コスモスフィアにリンクしました。



3 彼は、大気に影響する粒子ビームの活動に気象障害を帰因させた。



4 武装販売やサウジ・イスラエルの緊張が、危険な地域対立への一歩として見られた。



5 彼はアラブの石油供給とアメリカの緊急事態に対する攻撃を計画していると警告した。



6 彼は、この地域の上のソビエト宇宙圏が軍事行動が成功したかどうかを決定できると主張した。



7 ベターはカーターの3月17日の演説と3月27日のプラウダの記事を、サート2世への圧力の印として解釈した。



8 彼は、大惨事を回避するために、公共の責任、キリスト教の信仰と祈りを訴えて締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第32号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第33号

1978年4月28日

テーマ1 インフレと金と株式市場は

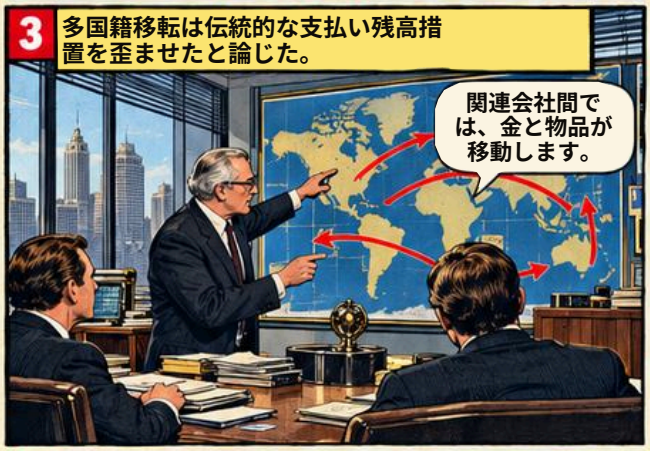
1 より良い楽観的な経済報告と日常生活で遭遇した家族が上昇する価格とを対比した。



2 1978年4月14日から急激な取引と株価の上昇に注目した。



3 多国籍移転は伝統的な支払い残高措置を歪ませたと論じた。



4 ベターは雇用の輸出と米国の産業基盤の弱体化について説明した。



5 ロンドン・ゴールドプールと、後にはドルにおける金の役割の弱体化に資金を投入した。



6 彼は、公式の金の合計がはるかに小さい実際の株を隠蔽したという疑惑を改めて主張した。



7 彼は、毎月の金オークションをドルを支える心理的な取り組みとして描きました。



8 大型保有者は売る一方、外部者は高騰した価格で買い取る。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第33号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第33号

1978年4月28日

テーマ2 大韓航空902便、空飛ぶルシタニア

1 ベターは、理解できなかった危険にさらされた乗客のアナロジーとしてルシタニアでオープンしました。



2 1978年4月20日、902便はアンカレッジ方面へ極地航路でパリを出航した。



3 ベターは偶然の方向転換に反対し、航空機は意図的にソ連領に向かったと主張した。



4 飛行士はソ連領空に入り、傍受され、ベターは偵察目的を主張した。



5 ソ連の火災で旅客機が損傷し、2人の乗客が死亡、他の乗客が負傷した。



6 損傷した機体は最終的に凍った湖に着陸し、生存者は救助された。



7 ベターは、この飛行をヴァンスのSALT交渉に結び付け、緊急の軍事情報を提供したと主張した。



8 彼は、驚きは優れた防御を上回り、疑いのない市民への危険を非難する可能性があると主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第33号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第33号

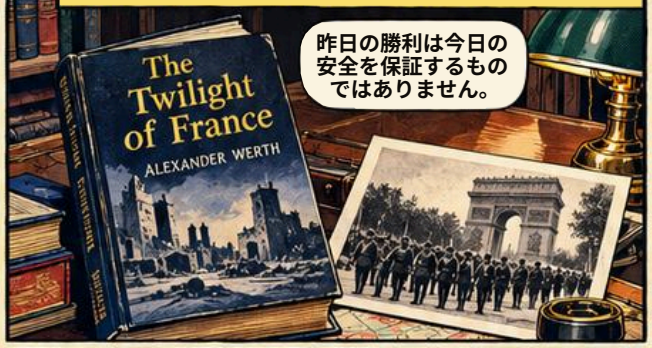
1978年4月28日

テーマ3 アメリカ合衆国共和国の夕暮れ

1 ベターは1940年の第三共和政崩壊以前にアメリカとフランスを比較した。



2 彼はアレクサンダー・ワースが『フランスのトワイライト』で過去の勝利を頼りにすると警告した。



3 防衛の縮小は、アメリカに武器の言語制限の下で脆弱なままであったと論じた。



4 4月のモスクワ会談の後、クレムリンは将来の戦争への障害をクリアし始めたと主張した。



5 彼は、ソビエトの宣伝は、アメリカを侵略者と見なすための一般大衆の準備であると述べた。



6 トランプ氏は、中国を対抗策として使うことで、モスクワと北京が近づく可能性があると警告した。



7 4月26日、ワシントン近郊の9隻を含む216隻の宇宙圏をアメリカに割譲した。



8 彼は市民と信頼できる航空会社の乗客を比較し、憲法上の責任と精神的な更新を奨励した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第33号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第34号

1978年5月26日

テーマ1 宇宙で繰り返されるミッドウェイの戦い

1 ベターは真珠湾を戦術的な奇襲の一例として始めた。



2 彼は、戦艦砲と比較して空母機の新しい到達点を強調した。



3 サンゴ海は、空母戦争が強力な海軍作戦をいらいらさせる方法を示した。



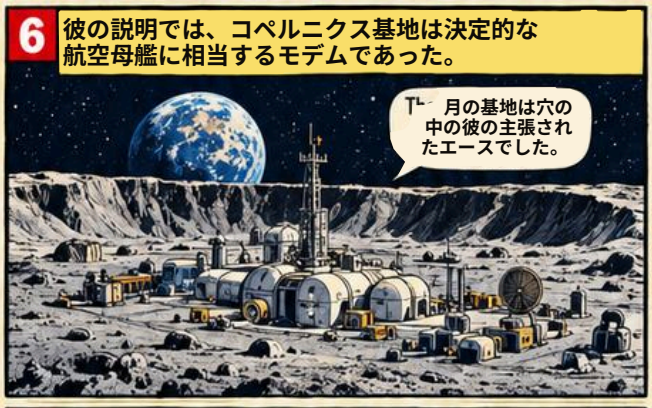
4 決定的な技術を失うことは、権力のバランスを逆転させる可能性がある。



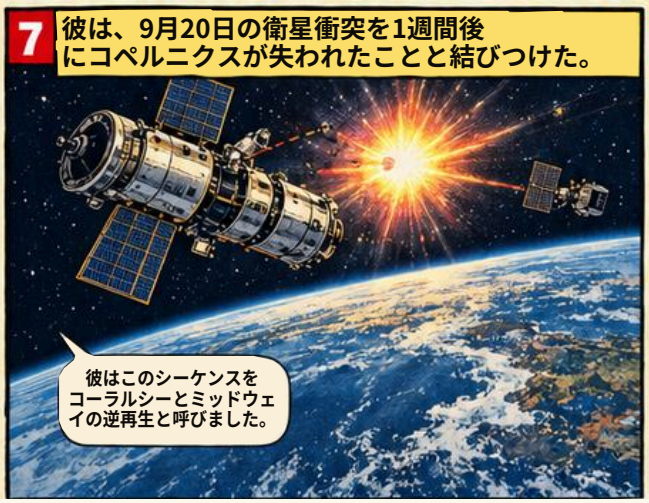
5 ベターは、後のアメリカ戦略が計画された戦争のために秘密の宇宙兵器を保管していたと主張した。



6 彼の説明では、コペルニクス基地は決定的な航空母艦に相当するモデムであった。



7 彼は、9月20日の衛星衝突を1週間後にコペルニクスが失われたことと結びつけた。



8 彼は、主張されている宇宙戦の敗北が開戦が始まる前に将来の戦争の道筋を開いたと主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第34号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第34号

1978年5月26日

テーマ2 アメリカの地震・気象・飢餓

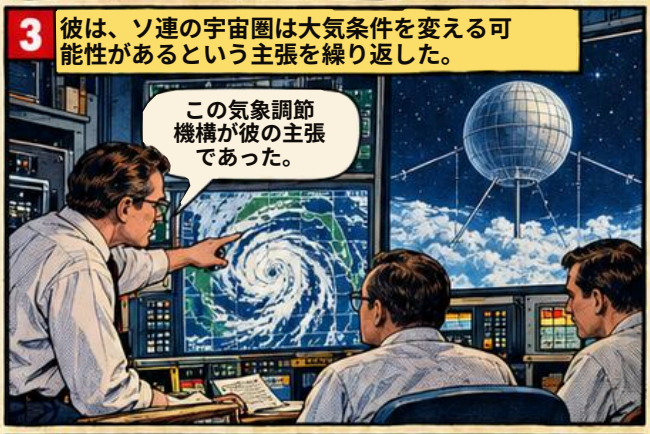
1 ベターは、飢餓が人々と政治力に与える影響について社会学者P.A.ソロキンを引用した。



2 農作物の喪失と植え付けの遅れはアメリカの飢餓の脆弱性を増大させる可能性があると警告した。



3 彼は、ソ連の宇宙圏は大気条件を変える可能性があるという主張を繰り返した。



4 同氏は現在、天候操作用のアメリカ製の海底ケーブルを、米国が管理している海岸網を主張している。



5 ベター氏は、隠された発電所がグリッドに供給し、大規模気象効果を生んだと述べています。



6 競合するシステムでは天候を競い合い、一般の人々がコストを負担する。



7 地震や津波を誘発することを目的とした、海底兵器に関する疑惑を改めて表明した。



8 奇気象と大きな物理上の危険性を予測し、リスナーに以前の警告を再訪するよう促した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第34号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第34号

1978年5月26日

テーマ3 ベター博士の公告

1 5年間の著作、放送、テープの制作の後、ベターは作品の成果を評価するために一時停止した。



2 1968年から1973年までザイールでの仕事と、そこでさらに深まったキリスト教信仰を思い起こした。



3 彼は、彼の本とラジオの登場は新しい連絡先と情報源をもたらしたと言いました。



4 氏はクロスチェックのヒントと、不正確あるいは不正な情報を拒否したことを説明した。



5 1976年9月16日、ブラウン将軍と会議し、水中ミサイルに関する主張を思い出した。



6 彼はサボタージュ恐怖と市民障害の準備を、彼が「ガーデン・プロット作戦」と呼んだものに結びつけた。



7 彼の自白は、彼の努力の本来の目的が失敗したように見えたことだった:国家災害を防ぐこと。



8 彼は悔い改めと再生の可能性のイメージとしてキリスト教の信仰とニネヴェの聖書の物語に目を向けました。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第34号・www.peterdavidbeter.com

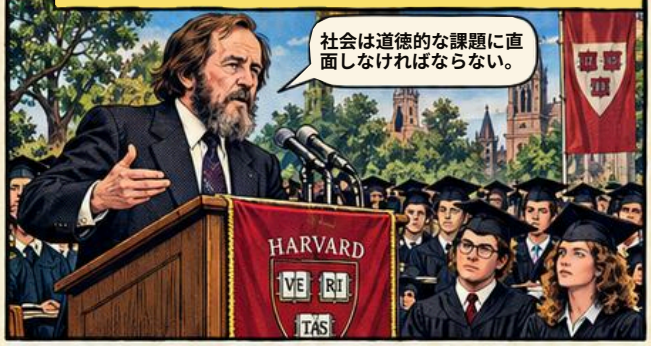
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第35号

1978年6月30日

テーマ1 西洋文明の崩壊と崩壊

1 ベターはソルゼニツィンのハーバード演説を、西部での勇気と精神的な疲労の減少について警告として読んだ。



2 彼は文明の興隆と衰退を説明するために、トインビーの挑戦と反応の枠組みを使用した。



3 Beter氏の要約では、創造的少数派は、社会の成長と文化の洗練を支援することによって支持を獲得します。



4 ブレークダウンは、社会が次の大きな課題に会うという決意を失うと始まると、彼は主張する。



5 解脱と解離は、支配者が権力を保って社会的統一が解き放たれる段階であると彼は述べた。



6 彼はボリシェヴィキと彼がスピリチュアル・コミュニケートと呼んだ派派との争いを訴えた。



7 彼はソルジェニーツィンの道徳的警告とカーター政権の展望とを対比した。



8 ベターは道徳的な再生のない物質的な力は西洋文明を守ることができないと結論付けた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第35号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第35号

1978年6月30日

テーマ2 アメリカの秘密支配者の神風計画

1 ベターは1977年9月の会合を、ハーベストムーンの戦いの後、最後通告として思い起こした。



2 彼は、日本の必死の終戦戦術を、無知な政治精神の類似語として使った。



3 彼は、中国政策と日本を近づける努力がモスクワに対する対抗策を再構築する試みであると解釈した。



4 彼は、以前に無視されていた同盟国との関係を修復しようとする試みとして、NATOに新たな注目を見ました。



5 彼はカナダの漁業制限をソ連軍による海上揚陸の隠蔽と解釈した。



6 ベターは、決定的なアメリカのソナー優越性の主張に挑戦し、隠れたソビエトの利点を主張した。



7 彼は沖合での掘削とグロマー船を、デスクトップ作戦の再開と疑われた。



8 税制上の不安や緊急事態計画は中央集権的管理に向けて操作できると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第35号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第35号

1978年6月30日

テーマ3 クレムリンは惑星間ロシア帝国を計画している

1 ベターは、ツィオルコフスキーの地球外への人類拡大というビジョンを通じて、ロシア人宇宙工学を紹介した。



2 彼は技術的な冒険と、より大きな人間の生息地という長期的なビジョンとを対比した。



3 彼の説明では、哲学的および心理的準備は、身体的および技術的な訓練とともに重要でした。



4 彼は、この提案された帝国を、ローマの異なる民族の法人化と比較した。



5 彼は国際参加の例として、ソユーズ28号のソビエト・チェコスロバキアのミッションを挙げた。



6 ソユーズ30号はサリュート6号で作業する乗組員に合流した。



7 ベターは、ウラジーミル・コヴァリョノクが以前に秘密のソ連月面着陸を指揮したという主張を追加した。



8 彼は、文明の衰退は人間の精神の終わりを意味するものではないという見解で締め括った。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第35号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第36号

1978年7月27日

テーマ1 故ジョン・D・ロックフェラー3世の遺産

1 ジョン・D・ロックフェラー3世は1978年7月10日に自動車事故で亡くなった。



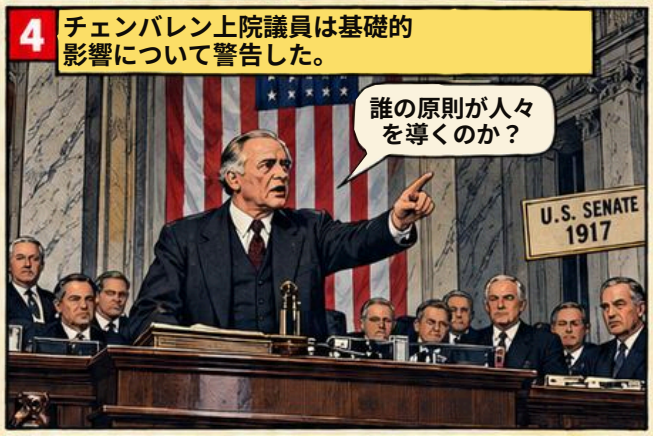
2 ベターは損失を兄弟の協調力への打撃と解釈した。



3 社会を再構築する手段として、基盤ネットワークを描きました。



4 チェンバレン上院議員は基礎的影響について警告した。



5 ベターはジョンのアジアへの関心を1929年の日本訪問まで遡った。



6 戦後の産業とアジア外交をロックフェラーの野望に結びつけた。



7 彼はアフリカの慈善活動は資源の争いを隠蔽したと主張した。



8 また、ジョンの政治的遺産をアメリカの動乱の計画に結びつけた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第36号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第36号

1978年7月27日

テーマ2 アメリカの新たな戦略は

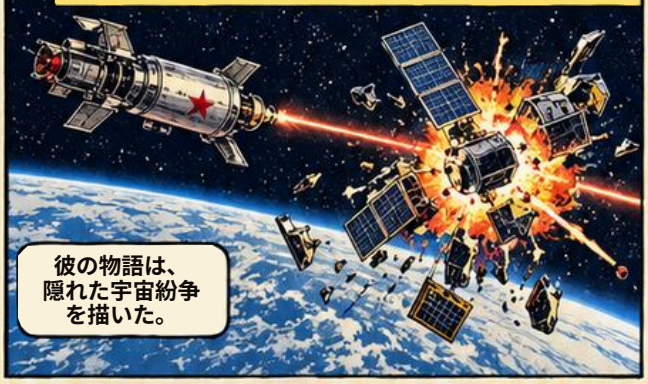
1 7月12日、ホワイトハウスは機密情報の開示について演説した。



2 ベターは、大韓航空902便の事故が懸念を引き起こしたと主張した。



3 ソ連の迎撃機がアメリカの監視衛星を除去したと主張する。



4 1977年9月、ソ連の最後通告に関わった。



5 秘密のリーダーシップの変化は西洋の期待をいら立たせたと、彼は主張する。



6 より広い対立の一部として、反体制裁判と報道報道を解釈する。



7 彼はアメリカ軍がイギリスとヨーロッパに展開したことを最初の攻撃の準備とみなした。



8 大きな事件は、サプライズ攻撃を正当化するのに役立つ可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第36号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第36号

1978年7月27日

テーマ3 第一次大戦の余波

1 よりよく想像したのは、彼が「核戦争1」と呼んだ大惨事を研究する将来の歴史家たちだ。



2 彼は、ライバルの先制戦略が相互エスカレーションをもたらすと予測した。



3 彼の予測では、アメリカは圧倒的な被害を受ける。



4 彼は、海外のアメリカ軍が彼らのホスト国を攻撃することを期待していた。



5 彼はロシアと精神的な再生を中心とした生き残った文明を想像した。



6 ベター氏は、経済研究が民間企業への転換を促していると述べました。



7 氏は難民と資産について議論しながら、Andorraと金融ニュースレターについて言及した。



8 彼は混乱の後、仮説上の予測の中で自由への希望で閉会した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第36号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第37号

1978年8月27日

テーマ1 中東のアメリカ最初のストライキへの道

1 より良いのは、近づいてくるキャンプデイビッドサミットが平和の雰囲気を作り出すことを期待していた。



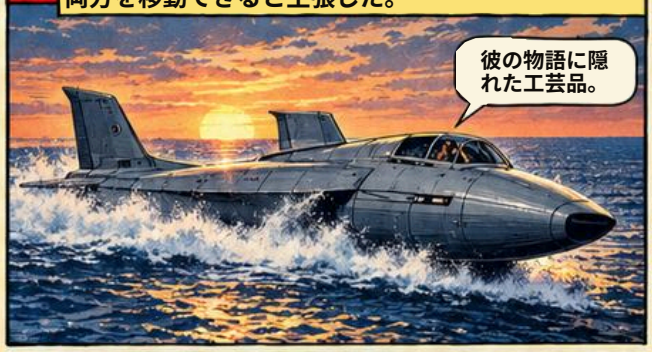
2 しかし、和平協定がこの地域に軍事拠点を構えることになると主張した。



3 ソ連の宇宙飛行計画は、月面基地、インターセプター、宇宙圏という3つである。



4 彼は、秘密のサブクラフトが水と空中の両方を移動できると主張した。



5 彼はノルウェー、イラン、中国をソ連の宇宙施設に対する計画と結びつけた。



6 サウジの原油田への核攻撃が続くと、彼は危機の段階を予言した。



7 石油不足、配給、国家非常事態を予見した。



8 ベターは、市民がサイレンが鳴ったときだけ危険を認識すると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第37号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第37号

1978年8月27日

テーマ2 ロシア、アジアで初の攻撃へ

1 ベターはモスクワが既にアメリカの計画を知っており、その対応を準備していると主張した。



2 彼は、ソビエト連邦の紛争に対する準備として、公の警告を見た。



3 彼はノルウェー近郊のソ連船が訪問する状況を、潜在的な舞台地域を監視と解釈した。



4 イランに対する不安は、アメリカ戦略のキーとなる支持を撤廃できると、彼は信じていた。



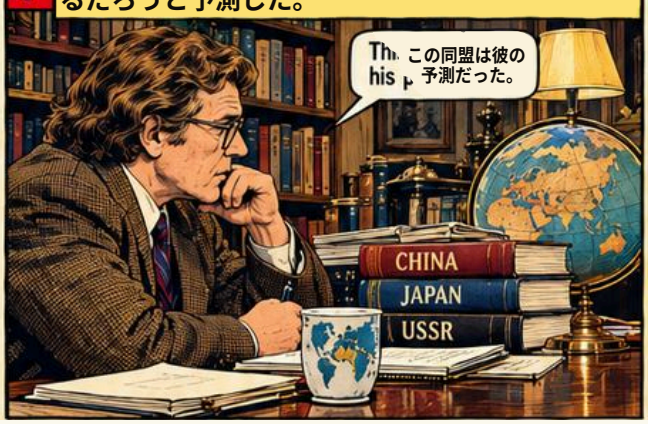
5 日中条約は、彼の新しいアジア同盟に関する議論の一部を形成しました。



6 彼は、フアがルーマニアとユーゴスラビアを訪問したことを、和解の可能性のシグナルとして解釈した。



7 彼はロシア、中国、日本がアジア枢軸国になるだろうと予測した。



8 また、被害を受けた天候や地震は秘密戦争のせいだとも述べている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第37号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第37号

1978年8月27日

テーマ3 アメリカの難民の時代

1 ベターは、難民の避難所として、アメリカの長い歴史を思い出すことから始めました。



2 彼は、ドル買いの力の弱まりを発見する旅行者を指摘した。



3 彼は以前の本を思い出し、警告は無視されていると述べた。



4 彼の考えでは、家族は貯蓄を守る方法を模索していた。



5 彼はドルから離れ、時にはアメリカから移動している人々について説明しました。



6 空腹、革命、戦争からの将来の飛行を予測した。



7 1978年8月に、アメリカ合衆国を離れることを提案した。



8 彼は未来と祝福について真剣に考えるよう警告で締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第37号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第38号

1978年9月29日

テーマ1 ロシア、ボリシェヴィキを廃絶へ聖戦の危機

1 ベターは、ソ連の戦争苦悩を示すドキュメンタリーシリーズ「無知戦争」について論じた。



2 彼は、限られたテレビ放送をロシアに対する態度の変化と解釈した。



3 彼は、自分が「精神共産主義者」と呼んでいる派兵を、ロシアを密かに支配したと主張する。



4 彼は1917年の革命までボリシェヴィキとの同盟を追跡した。



5 ボリシェヴィキ政権に反対する信者の迫害が党を駆り立てたと、ボリシェヴィキは語った。



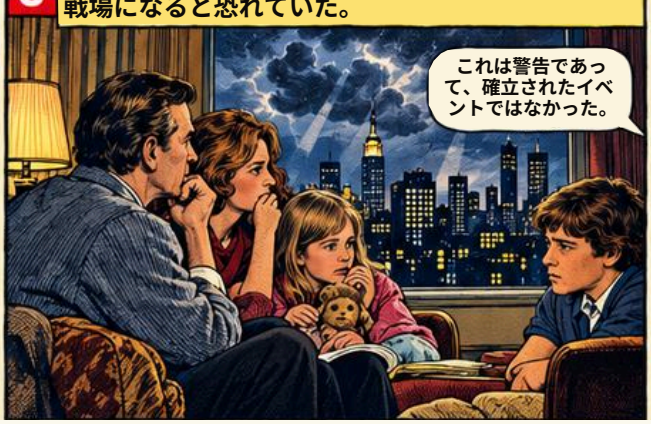
6 1953年にスターリンが亡くなったことを、秘密闘争の転機として描いた。



7 彼の物語は、選挙運動を権力獲得、ライバルの排除、世界的戦争に分けた。



8 彼はアメリカが予測最終段階の主要戦場になると恐れていた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第38号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第38号

1978年9月29日

テーマ2 ロシア、地球支配の青写真を発表

1 イメルダ・マルコスのモスクワ訪問とソビエトの野心についての報告でベターが幕を開けた。



2 彼は、モスクワが戦争前に同盟国と中立国を訴えていたと主張した。



3 彼はロシアが貿易で1位を占める分離した政府のシステムを想像した。



4 彼は、宇宙圏をホバリングすれば、その未来秩序が強まると主張する。



5 トランプ氏は、中国との和解は米国の攻撃計画の疑惑を損なわせるだろうと述べた。



6 台湾やドイツの近くで起きた9月の地震を、デモの疑いで結びつけた。



7 また、彼は、大災害が地球物理学の秘密兵器であるとして、タバス地震を挙げた。



8 彼は、ロシア、中国、日本がアジア枢軸国に向かっていると結論付けた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第38号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第38号

1978年9月29日

テーマ3 ロシアが宇宙へ人類を打ち上げる計画

1 ベターはアメリカのセミナーで難しい問題を解決するロシアの科学者を思い出しました。



2 彼は、ソビエトの研究者が西洋では無視されることが多かった分野を調査すると主張した。



3 彼は1908年のトングスカ爆発を、珍しい理論の出発点として挙げた。



4 ソ連の研究は、宇宙船の説明に損害を与えたと主張した。



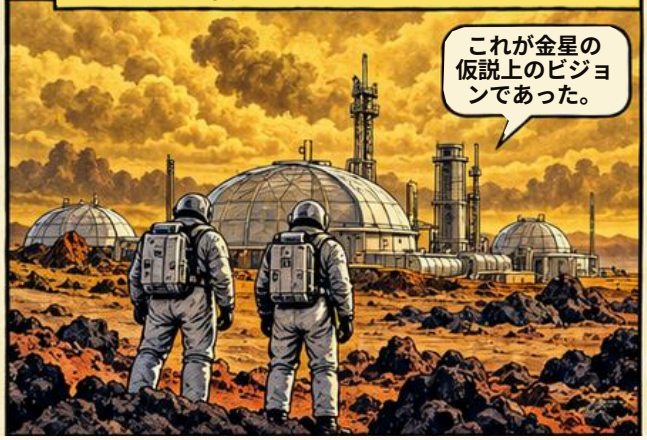
5 彼はまたUFO報告書と他の文明の可能性についても論じた。



6 彼の説明では、ソ連の研究者は最終的に恒星間旅行を望んでいた。



7 金星は実験的植民地化のために選ばれたと主張する。



8 彼は精神的な再生と、地球を越えて未来への希望をもって終わった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第38号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第39号

1978年10月29日

テーマ1 ロシアがボリシェヴィキの敵を熱心に追及

1 リスナーは、ベターが予測した戦争で、一般のアメリカ人が苦しむ理由を尋ねた。



2 ロシア国内でのボリシェヴィキの支配に取って代わる長い秘密闘争があったと主張する。



3 彼はクレムリンの将来を例証するものとして警察の捜査を行った。



4 彼はヨーロッパでドルが購入力を失うという経験を説明した。



5 彼は、より厳しい経済統制と海外への送金の制限を予測した。



6 彼は反ロシア的操作の理論を通じてジョン・ポール・イルの選挙を解釈した。



7 彼はジョン・ポールの死の報告に矛盾する隠された運命を主張した。



8 彼は、遺体の独立した特定とさらなる調査を求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第39号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第39号

1978年10月29日

テーマ2 パニック状態の米国人女性、自殺へ

1 ベターは、戦略的な逆転の疑いに対する反応として、急速なアメリカ軍の後退を描いた。



2 1976年に秘密の水中ミサイル危機について再び主張した。



3 リスナーは、彼の警告に反応するようにペンタゴンを強要したと述べました。



4 ジョージ・S・ブラウン将軍との会談と後の政策転換を思い出した。



5 ペンタゴンは水中ミサイルシステムの研究に関する公的報告を引用した。



6 彼は沖合掘削を、自身の疑惑である「デスクトップ・トップ作戦」に結びつけた。



7 彼はアメリカがビーム兵器に興味を持っているという航空ウィーク紙の報告について論じた。



8 彼は、後進は彼が主張するソ連の優越性を克服するものではないと結論付けた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第39号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第39号

1978年10月29日

テーマ3 戦争の兆しが見えてくる

1 SALTでは、公共のファサードとして、楽観主義と不満が繰り返されている。



2 ポール・ウォーンケの辞任を政策変更と解釈した。



3 訓練を加速させる兆候のひとつとして、より短い基礎訓練を挙げた。 prep--



4 彼はまた、Nifty Nuggetと呼ばれる動員運動を強調しました。



5 彼はノルウェーからの報告を、疑わしいサブクラフト計画と結びつけた。



6 彼はイランがアメリカの武器購入を再考したと報告した。



7 アジアの外交と他国との関係を結び、同盟国を探す。



8 1941年に真珠湾で発せられた警告を思い出すことで終えた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第39号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第40号

1978年11月30日

テーマ1 ジョーンズタウン悲劇の軍事的目的は

1 親族の懸念から、ライアン下院議員はジョーンズタウンの調査に向かった。



2 ベターは、満足のいく公式報告書が意図的にライアンを旅行させるよう促したと主張した。



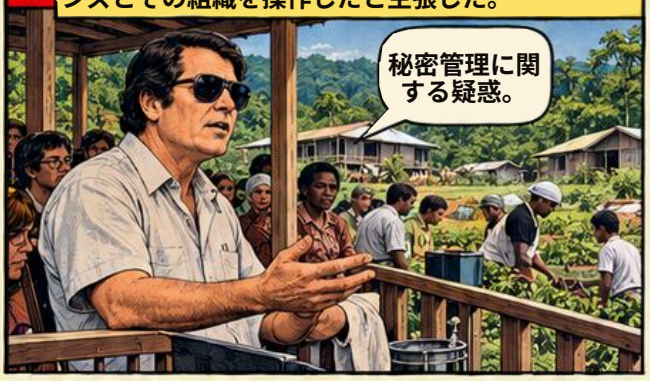
3 彼は1974年にガイアナにある秘密のソ連のミサイル基地の疑惑を思い出した。



4 元アメリカ陸軍のアトキンソン飛行場を、より広い地政学的な計画で繋いだ。



5 ベターは、情報機関員が徐々にジム・ジョーンズとその組織を操作したと主張した。



6 民衆の災害を軍事攻撃の隠蔽として使う計画を示した。



7 彼はキューバのMiG-23機をめぐる論争を、転換と解釈した。



8 ガイアナでの死は彼の出来事の悲劇的な中心を形成した;秘密操作の主張は独立して確認されていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第40号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第40号

1978年11月30日

テーマ2 1978年のガイアナの戦い

1 ベターはMiG-23論争を結び付け、モスクワの交渉をキューバに対する同氏の転用疑惑に緊張させた。



2 ライアンと4人は11月18日にポートカイツマで殺害された。



3 ジョーンズタウン大災害の後、軍事機と人員が復旧作戦のために到着した。



4 ベターは11月23日、別個に共同部隊が隠れたソ連基地を攻撃したと主張する。



5 攻撃はミサイル発射施設を速やかに破壊したと説明した。



6 ジョンズタウンでは、いくつかの隠された貨物にはジョーンズタウンの犠牲者ではなく捕獲した弾頭が含まれていたと主張した。



7 死数は、ベターの解釈では、表紙物語の証拠となった。



8 当局はジョーンズの遺体を突き止め、ベターはそれとは似ていて秘密の逃亡を主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第40号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第40号

1978年11月30日

テーマ3 第一次大戦の幕開け

1 より良いのは、紛争の隠れた始まりと、アメリカが第一次世界大戦に入る前の年との比較です。



2 彼は11月23日の戦闘を「核戦争第一」の始まりと宣言した。



3 彼は、海外での設備破壊の疑いでロシアの報復を予言した。



4 報復は自然災害に似ているのではないかと推測した。



5 1977年の月の戦いを軍事力の転換点として思い起こした。



6 彼は、SALTイル外交と自殺ファーストストライク政策と彼が見た準備とを対比した。



7 彼は、この作戦がアメリカ国民を敵の人員よりも犠牲にしたと主張した。



8 彼は過去の記憶と、繰り返しの大惨事に抵抗する警告で終わった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第40号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第41号

1978年12月26日

テーマ1 第一次原子力戦争に向けた経済カウントダウン

1 ニューヨーク検定局で金の差が報告されたことで、ベターは準備記録に関する懸念を復活させた。



2 彼はノックス砦の出荷を省略したという以前の主張を思い出し、財務省のリストに異議を唱えた。



3 金オークションは毎月の規模が大きく、維持できなく、すぐに中止される可能性があると主張した。



4 ベターは、ドル支援制度を多国籍企業の税負担の恩恵を受けるものとして描いた。



5 利上げを住宅建設の弱さ、失業、停滞に結びつけた。



6 ゼネラルモーターズの配当削減は自動車部門がトラブルに直面しているという警告として扱われた。



7 ドル安、OPEC内の圧力、イランの産出量減少などだ。



8 イランの混乱を背景として操作したと主張し、石油危機がより広い戦争の準備に役立つと恐れた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第41号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第41号

1978年12月26日

テーマ2 霊的戦争と信頼の崩壊

1 より良くなったのはグロミコが10月にフランスを訪問し、「特権」関係について話したことだった。



2 彼はフランスの独立コースを、アメリカのリーダーシップに関するドゴールの疑いに遡った。



3 彼は、ベネラ探査機用のフランス製の機器を含む科学協力について言及した。



4 彼は、信頼できるコミットメントは同一の政治システムよりも重要であると主張した。



5 欧州各地で核破壊行為が隠されていると主張する一方、フランスは救われたと主張している。



6 彼はアメリカの台湾への変化を、国際的信頼の崩壊と解釈した。



7 彼は教皇ジョン・ポール・イルのキュリア改革計画とバチカンの権力闘争を隠蔽する彼の理論を結びつけた。



8 教皇は11月に亡くなり、俳優に置き換えられたと主張しており、歴史は確立されていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第41号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第41号

1978年12月26日

テーマ3 ボリシェヴィキが武装回復の時間稼ぎ

1 ベターはガイアナの秘密作戦に復帰し、脱出した話はオーディオレター40で語られた。



2 ジム・ジョーンズとローレンス・シャクトは後に密かに旅をした後に殺されたと主張するようになった。



3 彼は、米中外交関係の12月の発表を、戦争を遅らせるための別の取り組みとして解釈した。



4 中国のライバル派を挙げ、ロシアと密約を結び、ワシントンに圧力をかけたと主張する。



5 彼は北京でのポスター討論を、デンの華への挑戦とアメリカとの緊密な関係で結びつけた。



6 彼はソ連の宇宙圏が中国上空に倍増しており、心理的圧力に使用できると主張した。



7 彼はフィリピンとカリフォルニアの近くで隠されたソビエトの武器の変更を主張し、報復を警告した。



8 粒子線の研究に関するテレビ報道はリスナーからの呼びかけを後押しした。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第41号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第42号

1979年1月31日

テーマ1 ロックフェラー家の衰退

1 ベターはジョン・D・イル、ネルソン、ローレンス、デイヴィッド・ロックフェラーの力を、石油、金融、国際同盟まで追跡した。



2 戦争とサウジアラビアの石油利益は世界的影響力を拡大したと主張する。



3 1976年のブラウン将軍との会談を、水中ミサイル危機の疑いで思い出した。



4 彼はロックフェラー計画の逆転として、ハーベストムーンの戦いとソ連の宇宙兵器を主張した。



5 1978年にジョン・D・IIIが、1979年1月26日にネルソンが、より良くは死を王朝の転機と捉えた。



6 彼はネルソンの最終時間、場所、緊急電話の記録を変えることに焦点を合わせた。



7 ベターは殺人を告発し、火葬を隠蔽と解釈した。



8 ヘンリー・キッシンジャーは生き残った兄弟の傍らで強い地位を得られるのではないかと推測した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第42号・www.peterdavidbeter.com

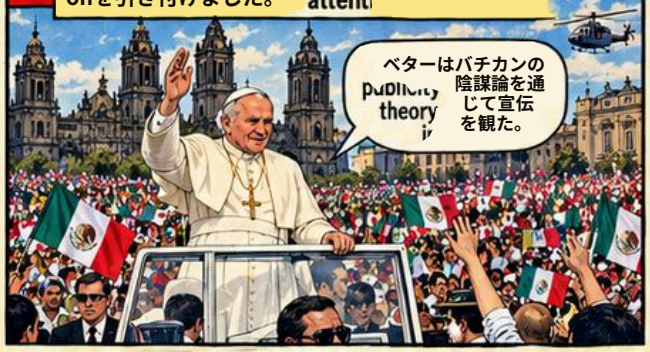
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第42号

1979年1月31日

テーマ2 教皇革命のボリシェヴィキの陰謀

1 教皇の1月のメキシコ訪問は、大群衆と全世界の**-*'onを引き付けました。 attent



2 彼はジョン・ポール2世が俳優に置き換えられたという主張を繰り返した。



3 聖職者は教会に隠された政治的影響について恐れて手紙を送ったと、彼は言いました。



4 彼は正教会へのアウトリーチをロシアに対する政治的戦略と解釈した。



5 グロミコの1月24日、東ヨーロッパにおける緊張について懸念を表明する番組を放送した。



6 彼はポーランド訪問と聖スタニスラウス記念日を抵抗の強力なシンボルとして見ました。



7 彼は訪問中に暗殺を予測し、これはワルシャワ政府と火花反乱に責任があるであろう。



8 そんな蜂起は米国の再軍備の時間を稼ぐどころか、開戦を早めかねないと警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第42号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第42号

1979年1月31日

テーマ3 ロシア軍が持つUFOやIFO

1 ベターは「空の地震」と呼ばれる大声の沿岸ブームに戻り、公式な説明を拒否した。



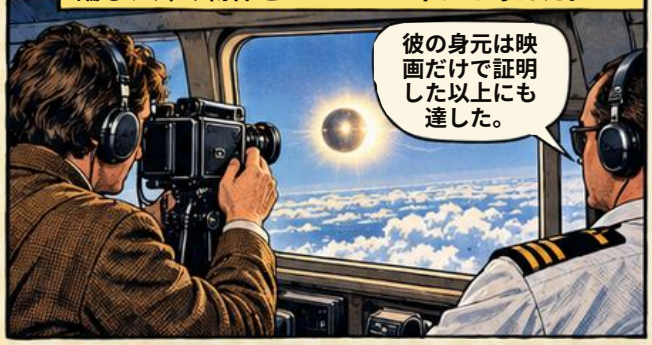
2 彼は、航空機と接続できない出来事を強調し、空地震の研究を引用した。



3 彼は、ホバリング兵器のプラットフォームをソ連の宇宙圏と特定した。



4 12月30日、ニュージーランド映画について論じ、輝く物体をコスモスフィアと呼んだ。



5 彼は、放送描写と金星と大気条件に関する説明とを対比した。



6 ソ連の監視の下で、オーストラリアとニュージーランドにアメリカ軍が隠していたと主張する。



7 彼は、プラットフォームとそのセンサーを混乱させることを目的としたアメリカの対策案について説明した。



8 彼はロシアの目標システムである「サイコエネルギー範囲発見」をPRFと呼び、干渉を破る可能性があると主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第42号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第43号

1979年2月28日

テーマ1 ヘンリー・キッシンジャー博士の謎の失脚

1 ベターはネルソン・ロックフェラーの死と緊急通報の記録に再び加わった。



2 ピアース首相は、ポンチッタ・ピアース氏の声明で、支援要請のタイミングに関する疑問が再び開かれていると述べた。



3 彼は、公的な議論を終わらせることを、さらに精査する上での障害として家族が決めたと解釈した。



4 写真は、銃撃戦の傷が隠されていることを明らかにしたと、彼は主張する。



5 キッシンジャーはネルソンの追悼式で賛辞を挙げましたベターはそれをより大きな権力の獲得に向けた入札の一部だと解釈しました。



6 ロンドンとフランスを旅し、その後ナンシー・キッシンジャーと大西洋を飛行した。



7 2月5日、ソ連の宇宙航空監視の下でジェット機との接触が失われたと主張した。



8 ベターはラジオで彼の主張を公表し、助手はキッシンジャーを生きている、よく、休暇中に説明した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第43号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第43号

1979年2月28日

テーマ2 ロックフェラー家の略奪

1 ベターは、メーガン・マーシャックとデイヴィッド・ロックフェラーがロンドンに旅行し、そこで殺害されたと主張した。



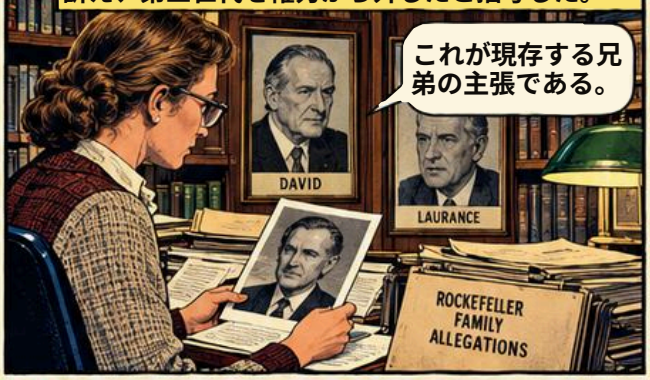
2 彼はデイヴィッド・ロックフェラーの遺体をアメリカに持ち帰ったときに2度目の私用ジェット機が消えたと主張した。



3 ポンチッタ・ピアースやヒュー・モローなどは、秘密裏にパージをしていたと推測されている。



4 彼はまた、ローレンス・ロックフェラーの死を訴え、第三世代を権力から外したと描写した。



5 彼は、若い相続人は兄弟の支配力に欠けており、家族財産の管理人に搾取される可能性があると警告した。



6 「企業社会主義」と「国家社会主義」を対比し、両者の衝突を予言した。



7 ブルメンタール、ハロルド・ブラウン、シュレシンジャーを「4人組のギャング」として名付けた。



8 旧王朝の権限なしに、新勢力は先制攻撃計画を追求すると、彼は主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第43号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第43号

1979年2月28日

テーマ3 西洋文明を救う最後のチャンスは

1 ベターはアメリカの道徳的衰退を、富、石油政治、外国の興味を集中させるまで追跡した。



2 彼は、彼が主張した力に気付かなかった沈黙的な多数と、それに挑戦することを恐れる小さなグループについて説明した。



3 ロックフェラー中央党首の失脚が統一的な支配を破ることになると予測した。



4 彼は、ビジネス、銀行、その他の生活分野での派兵と競争を予見しました。



5 彼は第四世代に黙秘を破り、その動乱を露呈させるよう促した。



6 カーターは、ライバル勢力間で捕らえられ、大統領を突然去る可能性があると予測した。



7 彼はリスナーに、受動的なままというよりも、独裁と戦争に反対する行動を取るよう求めた。



8 人間の計画は変化し、タイムテーブルはずれ、予期しない出来事は介入できると強調した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第43号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第44号

1979年3月29日

テーマ1 ヘンリー・キッシンジャー博士のうそをつきかえった

1 ベターは、ヘンリーとナンシー・キッシンジャーが大西洋上空でジェット機が消えた後に死んだという主張を繰り返した。



2 石油危機は、緊急事態を招集し、米国の自由を制限するために使われる可能性があると警告した。



3 ゲイツは、ダブルスが身近な有名人を模倣できるという、娯楽的な見方を挙げた。



4 彼はキッシンジャーの公の姿は、二重の姿であるとして解釈した。



5 彼は3月9日開催の中東についてのインタビューの新鮮さに疑問を呈した。



6 彼は3月25日、プレス紙にキッシンジャーの古い答えと新しく録音された質問を組み合わせたと主張した。



7 彼は、最近の中国、ベトナム、ロックフェラーの開発について尋ねていない質問を強調した。



8 彼は、テレビ出演を自身の主張に対する十分な答えとして受け入れないよう、リスナーに促した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第44号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第44号

1979年3月29日

テーマ2 差し迫ったチェイス・マンハッタン銀行の崩壊

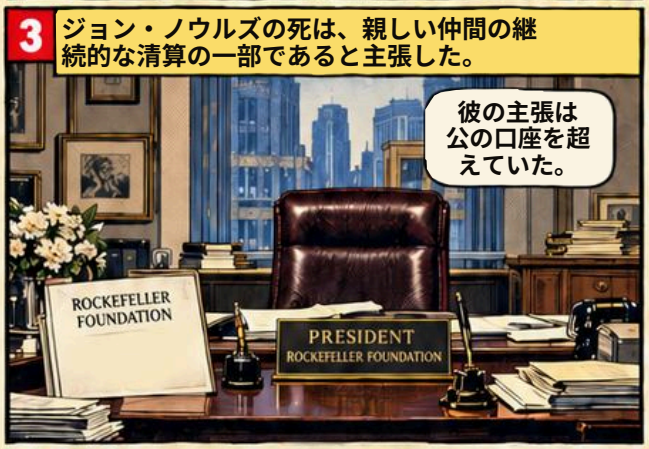
1 ベターはロックフェラー帝国の富と影響、そして詐欺師へのアピールから始まった。



2 デイヴィッドとローレンスの死を隠蔽したと主張し、生き残った家族は黙っていると主張した。



3 ジョン・ノウルズの死は、親しい仲間の継続的な清算の一部であると主張した。



4 デイヴィッドの絶え間ない旅行は、チェイス・マンハッタンに対する個人的な監視を弱めたと主張した。



5 両氏は、銀行の資産を流出させる大規模な振込を承認していると主張する。



6 破産予測と銀行株の売却と子会社破産を結びつけた。



7 1974年の家族会議では、若いメンバーが彼を黙らせることに反対していた。



8 彼は生き残った家族に再び会い、資産の支配を取り戻し、戦争を防ぐよう促した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第44号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第44号

1979年3月29日

テーマ3 エジプトとイスラエルの核戦争条約

1 3月26日、エジプトとイスラエルはカーターとホワイトハウスで和平条約に調印した。



2 ベターは、サダト夫人とベギン夫人のお祝いと抱擁について説明した。



3 石油供給と安全保障に関する米イスラエルの理解を分離することに焦点をあてた。



4 彼は条約を以前のシナイ協定とキッシンジャーのシャトル外交に結びつけた。



5 サウジの油田に対する製造危機と共同核攻撃を予言した。



6 原油不足がアメリカの緊急事態宣言の口実になると、同氏は懸念した。



7 彼はアメリカの教会指導者による「平和の巡礼」をモスクワに提案した。



8 1979年4月30日までに教会指導者に反応を要請し、大きな代表団が出来事の経過を変えることができることを期待した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第44号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第45号

1979年4月27日

テーマ1 スリーマイル島の国内ガイアナ

1 3月28日、ハリスバーグ近郊のスリーマイル島でベターが開港した。



2 設備の故障、混乱した兆候、混乱した冷却について説明した。



3 彼は冷却障害を意図的な破壊行為と解釈した。



4 彼はその緊急事態が一般に知られる前に遅れたことを強調した。



5 彼はこの混乱と恐怖を、ガイアナでの以前の悲劇と比較した。



6 彼は放射線の恐れと原子炉への長期的被害について語った。



7 原子力への恐怖の高まりに植物閉鎖と中国症候群を結びつけた。



8 エネルギー不足が政府の統制拡大に利用されるのではと懸念した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第45号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第45号

1979年4月27日

テーマ2 二重人"の秘密情報戦争

1 ベターは、この闘争を財政王朝と情報機関の競争だと認識した。



2 彼はロックフェラーの生存者が分裂し脆弱であるという警告を改めて出した。



3 ウォルターとジャン・モンデールの2人組が4月ヨーロッパ旅行を行ったと主張する。



4 モンデールは密かに殺害され、帰還した空軍が墜落したと主張した。



5 また、ジミーとロザリン・カーターの死と交代を隠蔽したと主張する。



6 カーターの4月10日と4月25日を比較し、その声、態度、外観を比較した。



7 彼はアメリカ、ロシア、イギリス、イスラエルの情報系を挙げた。



8 彼は4月22日からワシントン上空に24機のロシア宇宙圏が駐留していると主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第45号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第45号

1979年4月27日

テーマ3 最後の呼びかけは「平和の巡礼」

1 ベターは、ブレージネフのホッケーへの出演を、優先順位が変わった兆候と解釈した。



2 彼は、イースターのロシア教会への議会代表団の訪問を引用した。



3 彼はモスクワでハンデルのメシアのパフォーマンスを強調。



4 彼はソゼニツィンの復帰への望みと、ロシアに変化をもたらしたという彼の信念を結びつけた。



5 彼はロシアが抑圧したと表現したにもかかわらず、核戦争を恐れた。



6 彼は教会指導者から、以前の訴えに対するわずかな反応しか報告しなかった。



7 彼は人生のあらゆる場所でキリスト教徒への招待を拡大しました。



8 1979年5月末までには、訪問によって友好関係が築かれることを期待して、返事を求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第45号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第46号

1979年5月28日

テーマ1 ネルソン・ロックフェラーの墓からの復習

1 ベターは1976年の水中ミサイル危機でジョージ・S・ブラウン将軍の役割を思い出した。



2 ネルソン・ロックフェラーはロシア情報機関に指名された人物のリストを委託したと主張した。



3 DNA研究から、秘密のロシア人の突破口を主張するようになった。



4 有機ロボットは人間を模倣できる生きた人工的な複製だと彼は説明した。



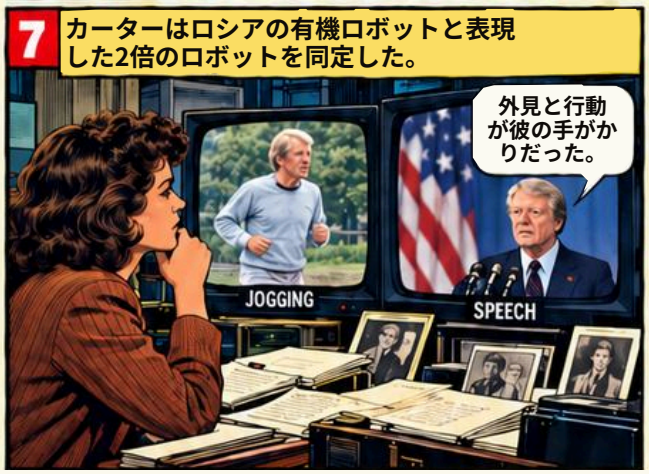
5 氏は、プログラミングを勉強し、人生が短く、課題の間にいると述べた。



6 彼はアメリカのロボロイドの試みに失敗し、ブラウン将軍にとって人間は2倍になったと主張した。



7 カーターはロシアの有機ロボットと表現した2倍のロボットを同定した。



8 彼はロシアが代替品を通じて影響力を得るために ロックフェラーリストを使用していると主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第46号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第46号

1979年5月28日

テーマ2 核戦争防止のため、宇宙を飛び回る

1 より良いものは、製造された危機として、すべての不足と中東の緊張を見ました。



2 彼はトップ官人の交代を主張し、ヴァンスとブレジンスキーの間の異例な合意を引用した。



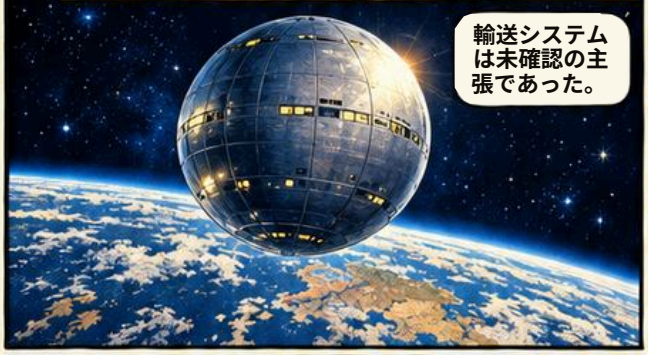
3 同氏はリスナーに、行動の変化とニュース報道について、CarterとWalter Cronkiteを聴いてもらいたいと依頼した。



4 彼は、期待されているSALT IIが人形の個性を通じて合意として署名するのを描いた。



5 彼は第2世代のコスモスフィアを、秘密の外交シャトルに使用される迅速な輸送手段と表現した。



6 同氏は、海外旅行の前に、乗客が密かにカナダの着陸地に到着したと述べました。



7 彼はロックフェラー、カーター、ペイズリーなどの人物を巻き込んだシャトルを疑った。



8 また、教皇がポーランドを訪れる前にバチカンで秘密の代用品を主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第46号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第46号

1979年5月28日

テーマ3 「聖同盟」の近代化

1 ベターはロシアが長年侵略と戦争を経験した経験から始まった。



2 彼はナポレオン戦争の後、アレクサンダーが聖同盟を提案したことを思い出した。



3 1815年の同盟はキリスト教諸国間の友好の希望であると彼は述べた。



4 彼はその以前のビジョンを、ロシアにおける新しいキリスト教の支配者の主張と結びつけた。



5 彼はシュトゥットガルトでロシア語聖書を印刷するアメリカ聖書協会のレポートを引用した。



6 引用された報告書は、聖書とソビエト連邦への一致の承認された出荷について説明しました。



7 彼は復活した教会の1つであり、キリスト教について学びたいと願う若者です。



8 クリスチャンは分裂を克服して信頼を築くことができるかどうかを問う。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第46号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第47号

1979年6月28日

テーマ1 ロシアのロボット工学の科学的背景は

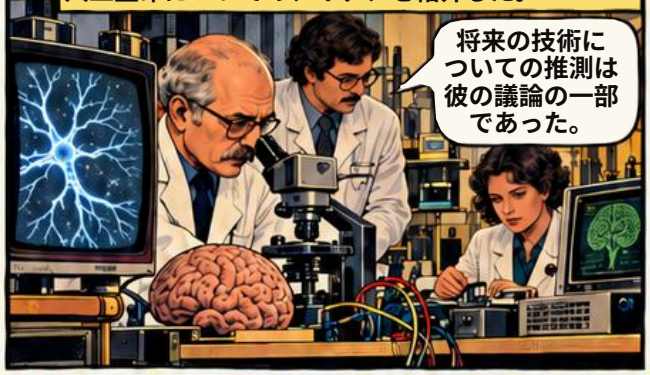
1 Beter氏は1973年の著書に不信感を抱いたことを思い出し、ロボトイドと反応を比較しました。



2 彼はアルヴィン・トフラーの『Future Shock』を参考に、急速な科学的変化について論じた。



3 彼は、初期の出版物から生物学コンピュータと人工生命についてのアイデアを紹介した。



4 彼はホログラフィーを3次元画像として説明し、記憶と比較した。



5 彼はカール・プリブラムのホログラフィーと脳に関する議論について言及した。



6 彼はソビエトの研究センター間の協力と失敗の共有を称賛した。



7 超音波脳波は、ロボットで人の記憶を再現できると、彼は主張しました。



8 同氏は、コピーした宇宙飛行士がすでに原作の訓練を受けられると述べました。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第47号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第47号

1979年6月28日

テーマ2 ボリシェヴィキの権力を解体するロシア戦略

1 ベターは、人間の二重をロシアが引き継いだと説明した。



2 大統領が主張したのは、ホワイトハウスと内閣のほぼ全員がロボットで制御されているということです。



3 彼はこの代案を最高裁判所の全ての判事に拡大した。



4 彼はウィーン・ソルティルサミットでカーターの行動をモスクワへの服従と解釈した。



5 彼は、幾人かの代議員が疑いを避けるためにソルチルでo77*7を続けたと主張した。 ··pposing



6 彼は、SALT II条約の変更に対するグロミコの警告を強調した。



7 彼はサウジの油田への攻撃を防止したと疑われているロボロイドシャトルを信用した。



8 彼はロボロイド戦略と以前に主張していた破壊的な宇宙兵器を対比した。 previously



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第47号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第47号

1979年6月28日

テーマ3 戦争と平和の潮流が

1 Beter氏はこの期間について、懸念のあるリスナーにとって重要で、混乱し、孤独だと述べた。



2 彼はハリー・シュルツが世論を先取りする難しさについて言及した。



3 古い政治・経済計画は一夜にして終わらないと述べました。



4 彼はガイアナとスリーマイル島を、意図的な閉鎖計画の疑いと結びつけた。



5 また、シカゴでアメリカン航空191便の妨害を訴えた。



6 サリーは、SALT II についてロシアの影響が拡大していることを示すものとして位置付けていた。



7 彼は平凡なキリスト教徒から平和のための巡礼への強い関心を報告した。



8 ソ連の公式な反応をまだ待っており、提案された旅は不確実のままだと述べた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第47号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第48号

1979年7月30日

テーマ1 スカイラブの表紙の最終章は

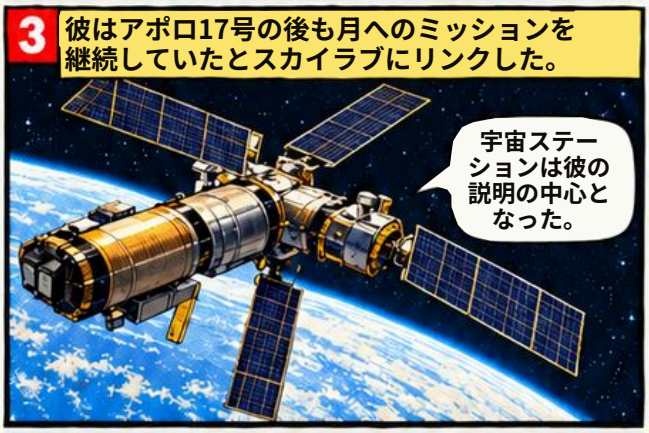
1 ベターは10年前にアポロ11号が着陸したことを思い出した。



2 彼は、月計画がコペルニクス・クレーターの軍事基地を隠蔽したと主張した。



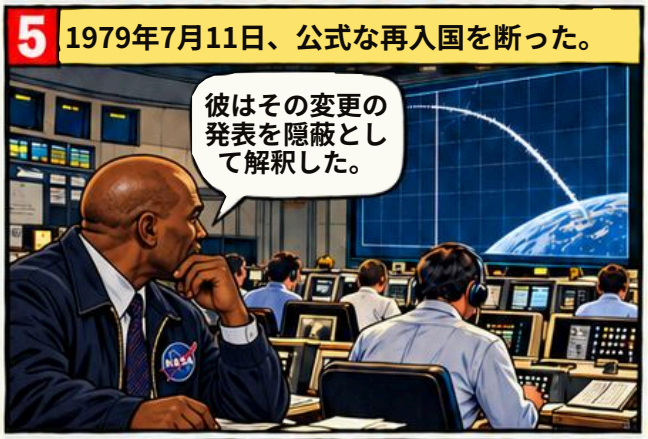
3 彼はアポロ17号の後も月へのミッションを継続していたとスカイラブにリンクした。



4 彼は1977年10月にスカイラブが既に破壊されているという主張を繰り返す。



5 1979年7月11日、公式な再入国を断った。



6 彼は、別の軌道パッケージがオーストラリア上空の光景を演出したと主張した。



7 彼は新聞賞を請求するために持ち込まれた破片の身元を議論した。



8 スカイラブを忘れると、ロシアとの戦争でアメリカの脆弱性を隠すことになると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第48号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第48号

1979年7月30日

テーマ2 死者の内戦

1 ベターは中東関係とガソリン供給の変化によるロボロイド外交の疑いを訴えた。



2 彼は、SALTイルとスカイラブを、同じ権力のシフトと結びつけた。



3 彼は、SALT IIの上院のポジション変更を、代替の証拠として解釈した。



4 ロボットは短命で、予測不可能で、プログラミングに依存していると彼は言った。



5 彼はカーターのエネルギースピーチを、連続するロボットイドの問題に帰した。



6 彼はキャンプ・デイビッド国内サミットへの訪問者が代わったと主張する。



7 彼は7月15日の演説を、エネルギーと国民精神に関するクレムリンのメッセージとして扱った。



8 彼は閣僚辞任を隠れたロシア支配の別の兆候と解釈した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第48号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第48号

1979年7月30日

テーマ3 アメリカは神への恐怖を再び学ぶようになるでしょう

1 神を恐れることが信頼に値することを意味していた時代を思い出したほうがよい。



2 彼は信仰を義務よりも都合のよいものとして扱うことを批判した。



3 彼はロシアの新しい支配者を犠牲によって形作られたキリスト教徒として描いた。



4 彼はウィーンサミットでブレジネフが神への言及を思い出した。



5 彼は、消費と意味の探求に対するカーターの批判を軽視した。



6 彼は経済的困難、規律、忍耐の必要性を予言した。



7 精神的な強さと勤勉さが困難な時代を抜け出す方法として説明されました。



8 彼は変化を古い生活様式の終わりとして描くことで締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第48号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第49号

1979年8月27日

テーマ1 ロシアによる中東政策の変容

1 1974年、ベターはニューヨークラジオでパレスチナ人とイスラエル人を議論したことを思い出した。



2 彼はパレスチナ代表を排除するという米国の政策を批判した。



3 1979年3月、エジプトとイスラエルの条約は、この政策をそのまま残したと主張した。



4 二重の秘密闘争がワシントンの指導層を変革したと主張した。



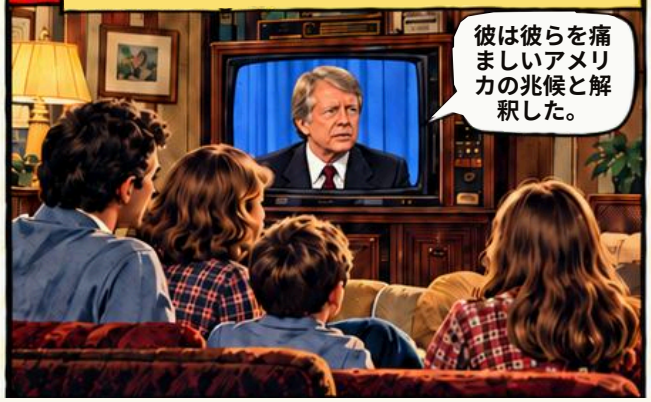
5 彼は秘密の外交シャトルをロシアが制御するロボットに帰した。



6 彼はヴァンス=クライスキー会談をパレスチナの外交的認識と結びつけた。



7 彼はパレスチナの権利を認める公約を強調した。



8 アンドリュー・ヤングの辞任を転換点として扱う。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第49号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第49号

1979年8月27日

テーマ2 アンドリュー・ヤング事件の国内的失態は

1 ベターは、PLO代表ゼーディ・テルジとのヤングの会合に焦点を合わせた。



2 ヤングの辞任と、次の記者会見を思い出した。



3 報道では、監視とイスラエルの否定を主張する報道を引用した。



4 CIAとモサドの秘密合意が破られたと主張した。



5 黒人とユダヤ人の指導者たちとの緊張関係について言及した。



6 彼はヤングとミルトン・ウルフのPLOコンタクトとの間の対比をしていた。



7 彼はパレスチナの権利と平和を求める公民権の声を挙げた。



8 クレムリンが二重にこの事件を仕掛けたことを彼は嘆いている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第49号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第49号

1979年8月27日

テーマ3 ロシアがロスチャイルド世界大国と二面戦争

1 ベターは、新しいキリスト教の支配者がロシアのボリシェヴィキを置き換えたと主張した。



2 バルフォア宣言は戦時中のイギリスの外交と結びついた。



3 彼は1919年にシオニスト国家に反対する著名なアメリカ人ユダヤ人による請願を引用した。



4 彼は市民権に関する彼らの懸念をまとめ、忠誠を分断した。



5 彼は紛争のあった主張と将来の流血の警告を強調した。



6 ボリシェヴィキとシオニストの政治権力を解体しようとモスクワが求めていたと主張した。



7 彼はこれらの動きをロスチャイルド中心の世界制御理論に結びつけた。



8 彼は隠れた力との戦いを予言して締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第49号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第50号

1979年9月30日

テーマ1 暴走インフレと崩壊するアメリカ経済

1 ベターは、価格上昇が日々の家計予算を圧迫すると説明した。



2 彼は記録的な金利と、住宅所有という衰退する夢を結びつけた。



3 彼は家計の苦難と、資産を借り買いする事業とを対比した。



4 持続的なインフレとともに成長の弱さも説明されました。



5 彼は金の需要の高まりとドル安を結びつけた。



6 彼は意図的な計画を非難し、ノックス砦の主張を繰り返す。



7 彼はアメリカをドイツの以前のインフレーションと比較した。



8 彼は、普通のアメリカ人にとって崩壊と困難を予言した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第50号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第50号

1979年9月30日

テーマ2 SALTIIを壊滅させるキューバ危機

1 ベターはキューバにおけるソビエト軍の戦闘部隊の発表に焦点を合わせた。



2 彼はその危機を軍縮条約を破ろうとする試みだと言った。



3 彼は衛星写真はむしろ新しく入手した古いものであると主張した。



4 秘密裏に宇宙戦を繰り広げた後、彼はアメリカのスパイ衛星を紛失したという話を繰り返した。



5 キューバを舞台として、より広い秘密展開を描いている。



6 ストーン、ブラウン、教会に関わる上院の交流について記述した。



7 教会の強硬路線は後に和解の信頼性を与える可能性があると述べた。



8 彼は深夜の会議と配備を抑止と解釈した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第50号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第50号

1979年9月30日

テーマ3 ロシアとカザフスタンの1000年の戦争は

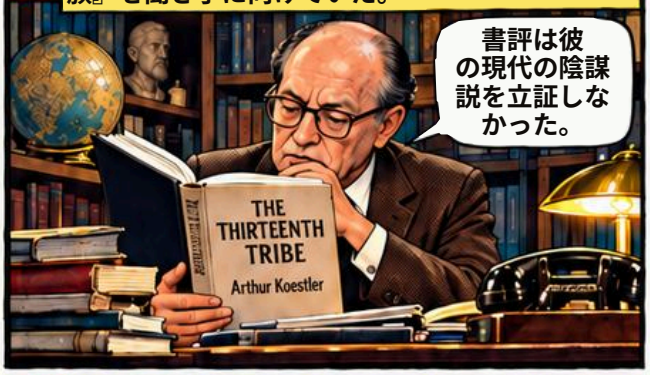
1 ベターは中世カザリアと近代的な権力闘争を結びつける理論を提示した。



2 彼は黒海とカスピ海付近におけるカザリアの立場を説明した。



3 彼はアーサー・ケストラーの著書『13番目の部族』を聞き手に向けていた。



4 彼はカザフスタンの支配者たちによるユダヤ教の受容について論じた。



5 彼は、ロシアが興隆し、ビザンチン・キリスト教との関係が深まった。



6 彼はその物語をボリシェヴィキとシオニズムに広げた。



7 彼はラビ・ジョエル・テイテルバウムのシオニズムへの反対を引用した。



8 彼はアメリカをこの古代の争いの戦場として描いた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第50号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第51号

1979年10月27日

テーマ1 ドル高の危機は

1 1929年の市場崩壊と世界恐慌でベターがオープンした。



2 ブラック・チューズデーとブラック・チューズデーの前にクレジット燃料エコノミーを思い起こさせた。



3 彼はドルそのものが今や価値を失っていると主張した。



4 連邦準備制度理事会は不安定性悪化を是正した。



5 彼は債券、商品、金の混乱を指摘した。



6 1929年にノーマン・ドッドが銀行家として信託を政府債に移したことを引用した。



7 彼は、強力な利益が経済の崩壊を再び運営していると予測した。



8 彼は一般の人々が苦難に耐えるだろうと警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第51号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第51号

1979年10月27日

テーマ2 ロシアがSALT IIを販売

1 ベターはキューバ紛争を終わらせた10月1日のカーターの演説について記述した。



2 サンダースは、教会議員がソルト・イルの審議を進めることを許可したと述べた。



3 委員会は条約の改正を検討し始めた。



4 彼はグアンタナモ運動を広報の展示物として描いた。



5 彼は、SALT IIをサポートするRobert Byrd氏の発表を強調。



6 条約の議論は防衛と外交政策にまたがったと、彼は言いました。



7 彼は、ソ連の宇宙優越性が条約の必要性を説いた。



8 批准の失敗はNATOを弱め、戦争リスクを増す可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第51号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第51号

1979年10月27日

テーマ3 ボリシェヴィキが合成ロボットを配備したのは驚き

1 ベター氏は、ロシアのロボロイドがワシントンのライバル計画を混乱させたと述べました。



2 台湾に関する裁判所の判決を、米中関係を不和にしようとする取り組みに結びつけた。



3 彼は合成ロボットと呼ばれるライバルの人工生命形式を導入した。



4 彼はこのアイデアを生物学の本に記述されている以前の実験に結びつけた。



5 彼は、カーター合成がロシアのプログラミングから出発したと主張した。



6 テストの結果、ロボトイドのほぼ同じ合成物が判明したと、彼は言いました。



7 彼はその後の地震を、地理学戦争の疑いで結びつけた。



8 彼はロボットと合成物との秘密競争が始まったと警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第51号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第52号

1979年11月30日

テーマ1 戦略的イランとイスラム教ホミニー革命

1 シャー家の10月22日、イランに到着すると怒りが吹き荒れた。



2 シャー政権下でイランはソ連に近いアメリカ軍に武装していた。



3 サヴァックの抑圧と急速な西洋化は、大衆の不満を深めた。



4 イスラム教は多くの西洋人の観察者が理解し難い形で公共生活を形成した。



5 亡命後、アヤトッラー・ホメイニのメッセージはイラン中に流布した。



6 ウイザー将軍はシャーの崩壊の間にイランの軍事指導者と会った。



7 1979年初頭に君主制が崩壊すると、ホミニーはテヘランに戻った。



8 ベターは秘密部隊が密かに革命を主導したと主張した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第52号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第52号

1979年11月30日

テーマ2 ボリシェヴィキ・イランの熱核戦争戦略

1 ベターはイランを隠れたライバルの電力ネットワーク間の戦場として描きました。



2 イランへの軍事的アクセスを要求した最初の攻撃計画は米国のものだったと主張する。



3 同氏は、人間のようなロシアのロボロイドがワシントンのライバルに影響を与えたと述べた。



4 ベターは、この作戦を6段階の鎖に分けて戦争に向けて組織した。



5 ステップ1は、メッカ巡礼中に不安を悪用すると述べました。



6 ステップ2では、テヘラン大使館の押収をトリガーとして使用する。



7 後にイスラエルがサウジの油田を攻撃し、イランに恩赦を与えた。



8 最終シナリオは、オーストラリアにあるミサイル発射地点からソ連の球体宇宙圏のサイトを標的とした。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第52号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第52号

1979年11月30日

テーマ3 アメリカの人質とテヘランの戦い

1 シャーのニューヨーク到着は11月4日の大使館の占領に先立って行われた。



2 バサルガン首相は11月6日、危機的な状況の中、辞任した。



3 偽の警告が11月9日に米国の司令センターに到着した。



4 部隊は11月12日にフッド砦に集結して演習を行った。



5 ワシントンはイランの石油購入を中止し、イランの資産を凍結した。



6 武装した兵士は11月20日にメッカで大モスクを占領した。



7 空母の動きとアメリカ軍の任務への攻撃は、地域的な緊張を喚起した。



8 ベターはテヘランの戦いと呼んで、興味をそそる説明責任を要求した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第52号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第53号

1980年1月21日

テーマ1 戦争の緊張とイランの後期シャー

1 1月17日のテレビインタビューでは、元シャがパナマ語で話しているのが見えた。



2 元外交官のジョセフ・シスコは、この男は自分が知っていたシャーとは違っていたと述べました。



3 Beter氏はインタビュー対象が人間らしい合成ロボットだと主張した。



4 さらに、12月2日のニューヨークへの移動中に、本当のシャーが殺されたと主張する。



5 シャーのニューヨークからテキサス、パナマへの移動は人質危機と結びついていた。



6 ロシアのロボティクスとボリシェヴィキ合成の対比が強かった。



7 インフレや不安定、紛争を恐れた投資家が急増した。



8 イランやアフガニスタン周辺では戦争のレトリックが強まった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第53号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第53号

1980年1月21日

テーマ2 クレムリンの強硬路線がサプライズを乗っ取る

1 ベターは、1978年以来、隠されたクレムリン平和派がソビエト==！



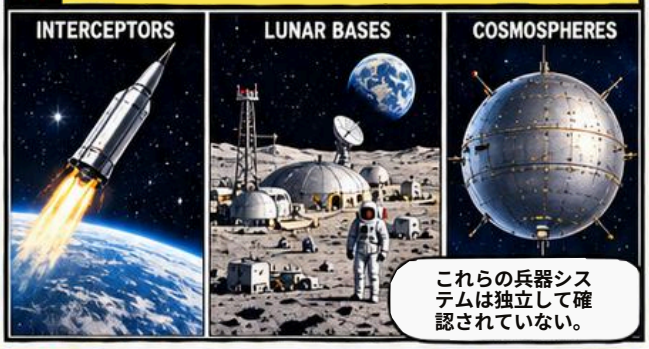
2 彼は核戦争を避けることができるかどうかで分裂した秘密のキリスト教支配派について説明した。



3 ベターは1976年の水中ミサイル危機を思い出した。



4 彼の物語は、スペース・トライアド(英語版)(Space Triad) を中心とし、インターセプター、月面基地、球面宇宙圏などであった。



5 平和派の主要人物は毒殺され、人間らしいロボイドに置き換えられたと、彼は主張する。



6 彼は平和派をSALT IIと軍縮戦略と結びつけた。



7 アフガニスタンにおけるソビエトの介入は1979年12月に国際風土を変化させた。



8 ベターはクレムリン・ハードライナーズがゴルシュコフ提督の下で指揮を執ったと述べた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第53号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第53号

1980年1月21日

テーマ3 現在進行中の核攻撃作戦は

1 NATO大臣は1979年12月に新型劇場核ミサイルの計画を認めた。



2 アフガニスタンの後、カーターは穀物禁輸令を発し、オリンピックボイコットを脅かした。



3 途中、キティホークとニミッツの空母部隊がアラビア海近くで活動した。



4 ベターは、ソ連海軍の動きは意図的な反撃の一部であると主張した。



5 彼は、ハイブリッドサブクラフトが北部海域とカスピ海からロシアに接近したと主張する。



6 ベターは、球面の宇宙圏は粒子ビームでサブクラフトを破壊したと述べた。



7 また、ソ連軍の標的に対する攻撃のために新江にパイロットレス機が配置されているとも主張した。



8 イランとアフガニスタンをめぐる本当の危機は深刻なエスカレーションリスクを伴った。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第53号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第54号

1980年2月24日

テーマ1 1980年1月のアメリカによる秘密の敗北

1 ベターは、秘密のアメリカ軍の最初の攻撃作戦が動いていると主張した。



2 ロシア軍は秘密の潜水艦を捕獲して破壊したと主張する。



3 ベター氏は1月21日に14基のRPVが新気アンに到着したと述べた。



4 彼はロシア軍のコマンドが基地を制圧し、RPVを破壊したと主張した。



5 黒海ではより多くの潜水艦が破壊されたと主張する。



6 Beter氏はワシントンで配信されたプライベート警告について説明した。



7 他にも4隻の船が追跡され、1月24日に破壊された。



8 ベターはエピソードをアメリカの総敗北と呼んだ。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第54号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第54号

1980年2月24日

テーマ2 報復兵器としての気象変容

1 南大西洋近くで、不思議な二重のフラッシュが発見されました。



2 CBSはイスラエルの核実験の可能性を報告した。



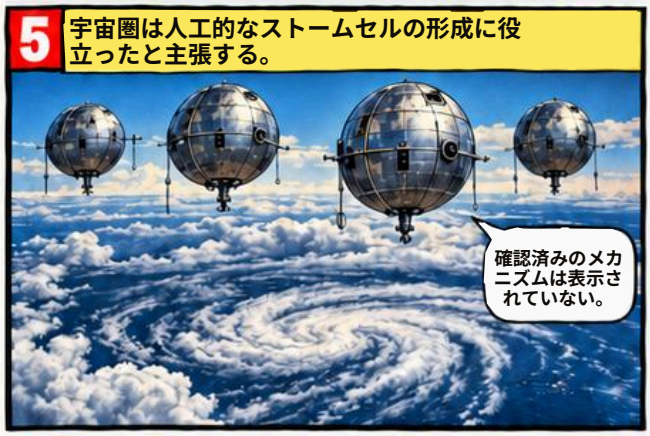
3 ベターは、このフラッシュは月の粒子ビームから来ていると主張した。



4 彼の説明では、ペアビームは二重フラッシュを作り出しました。



5 宇宙圏は人工的なストームセルの形成に役立ったと主張する。



6 1980年2月、南西部を襲った激しい嵐。



7 ベターは、この嵐を穀物禁輸に対するソ連の報復とみなした。



8 紛争が続き、食糧不足が拡大すると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第54号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第54号

1980年2月24日

テーマ3 ロシア、核戦争に備える準備を加速

1 2月21日、ペンタゴンの報道官は核対立の危険性について話し合った。



2 ベターはアメリカの脆弱性とソビエトの備えを対比した。



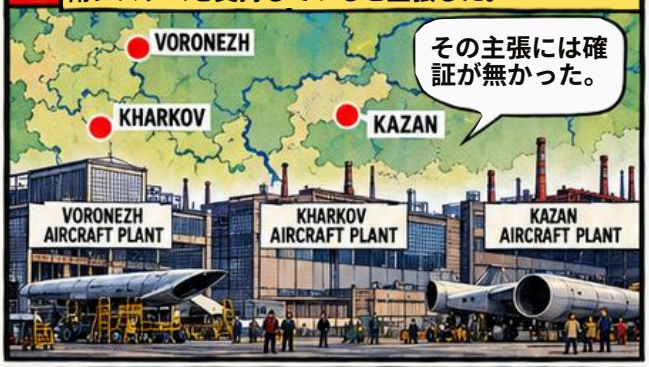
3 西洋の観測者は、ツポレフ Tu-22「ブラインド」に驚いていた。



4 ロシアの歴史において、軍事設計は予期せぬものだった。



5 ベターは、これらの植物は秘密の空対地防衛システムを支持していると主張した。



6 彼はリタイアしたTu-144を軍事用として改造したと主張する。



7 彼の話では、航空機はミサイルに対してコスモスフィアをバックアップする。



8 ベターは核の危険が「真実の瞬間」に近づいていると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第54号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第55号

1980年6月28日

テーマ1 核戦争の熱気の兆し

1 ドラフト登録とガス分配計画は、動員の新しい気候を示唆していた。



2 誤った核警報は警告システムエラーの危険性を暴露した。



3 Beter氏は、このアラートは製造された攻撃の意図的なテストであると主張した。



4 プロMXモバイルミサイルが防衛ヘッドラインを独占した。



5 MXの宣伝は秘密のMinuteman TXプロジェクトを隠していたと、ベターは主張する。



6 彼は北の鉄道を走るミサイル車について記述した。



7 彼の物語では、コスモスフィアはあらゆる移動ミサイルを眺めていた。



8 「ベター」は、誤った警告が核戦争の引き金となる可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第55号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第55号

1980年6月28日

テーマ2 拡大する内戦における災害の増大

1 アメリカ合衆国に訪問した労働者職員は高度に自動化された生産を見た。



2 ベタエダは、アメリカの指導者は科学的な識字力に欠けていたと断言した。



3 ソ連の秘密兵器に関する主張を繰り返す。



4 アメリカの各地で、厳しい気象条件が作物を生産している。



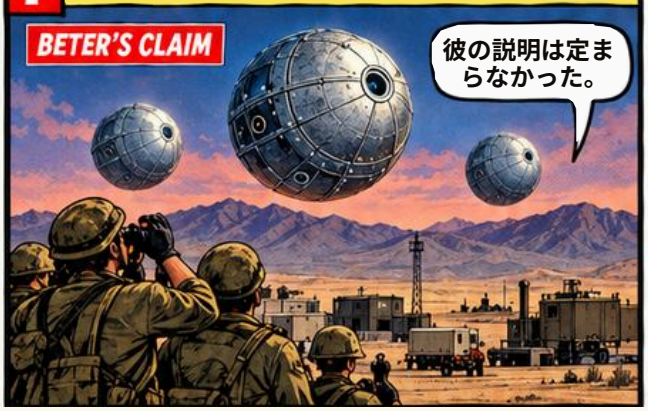
5 ベターは、このパターンをソ連の気象戦争を熟慮したと説明した。



6 1980年の人質救助任務は災害で終わります。



7 彼はその襲撃を妨害した秘密兵器を主張した。



8 セントヘレンズ山は5月18日に壊滅的に噴火した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第55号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第55号

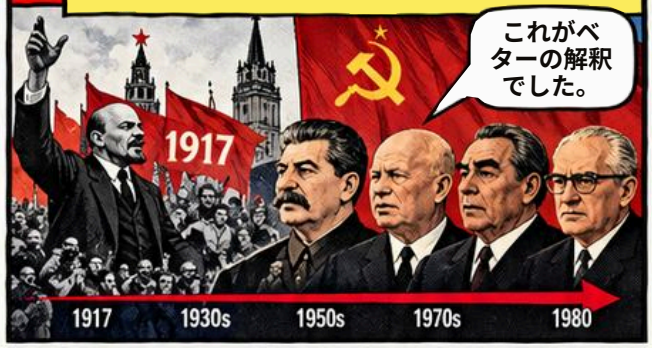
1980年6月28日

テーマ3 クレムリンで死闘

1 ベターはソビエトの指導者たちの間で隠れた闘争について記述した。



2 彼は対立を対立する派間の長い闘争と捉えた。



3 以前にも、人間の二重の秘密戦争を主張していた。



4 ロシアのレプリカを「オーガニックロボティクス」と呼びました



5 ライバルの「Tic Automatons」が反対派に仕えたと、彼は言いました。



6 米国の画期的な判決は、設計した生命体に関する特許を許可しました。



7 合成物がクレムリン川に浸透したと疑われた。



8 彼は、内部闘争が世界に影響を与えると疑われていることを温めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第55号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第56号

1980年7月30日

テーマ1 イアン・フレミングとノックス大将の金スキャンダル

1 フレミングのスパイ小説を、隠れた力について警告するものとして読むのが良い。



2 ゴールドフィンガーはノックス砦と金に関する警告として解釈した。



3 ベターはアメリカの金貨を撤廃する長期計画について訴えた。



4 金の出荷台数は公式リストに載っていないと説明した。



5 ベター氏は、エドワード・デュレル氏が公式な照会を通じて矛盾を追求したと述べました。



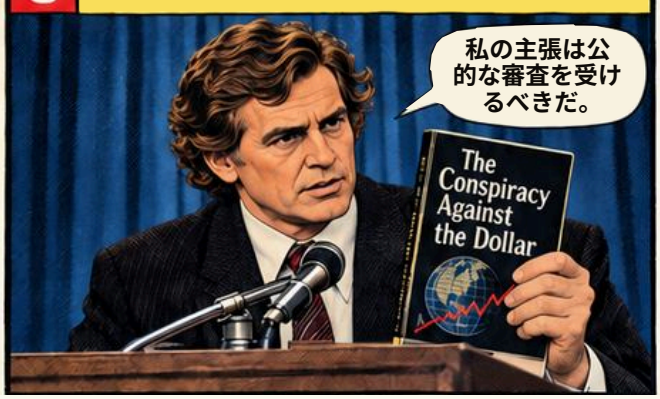
6 ベターは映画の光景は深刻な質問をするかもしれないと主張した。



7 ベターは、プロクミアが公共のノックス砦の調査を欠いたことを批判した。



8 彼の結論は金の主張を経済危機に結びつけた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第56号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第56号

1980年7月30日

テーマ2 ボリシェヴィキ核戦争計画における狭い選択肢

1 ベターは、旧ソ連の支配者が現在米国の政策を支配していると主張した。



2 彼は核戦争を防ぐため有意義な交渉を要求した。



3 彼は、戦争計画者が民間人を支出可能なものとして扱うと主張した。



4 指導者たちは民間人が苦しんでいる間に避難すると見られていた。



5 鉄道事故や産業事故は密かに妨害された。



6 天候や地理学的な戦争も行った。



7 容疑者は、遺伝子反復と携帯ミサイルを最初の攻撃計画に結びつけた。



8 彼は戦争を防ぐために「知識と真実の戦争」を求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第56号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第56号

1980年7月30日

テーマ3 できることを一歩踏み出す

1 インフレと戦争恐怖をノックス砦の主張と結びつけた。



2 彼は聞き手にとっての例としてDurell氏の永続性を示した。



3 回答を比較し、慎重な記録を維持するように促した。



4 彼の最初のステップは、プロクミア上院議員に公的な問い合わせを依頼することであった。



5 1980年のアドバイス: 文字を読みやすく、短く、具体的にする。



6 彼はリスナーに手紙を保存して返信をフォローするように頼んだ。



7 氏は回答の共有とオーディオレター2号の再訪を提案した。



8 より良い、この最初のステップで持続的な平和的な市民行動ビーガン。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第56号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第57号

1980年8月31日

テーマ1 米国の核開発計画が報道される

1 広島と長崎、そして原子戦争の人的コストを思い出したほうが良い。



2 彼はディレクティブ59の対抗策を、最初の攻撃意図を警告するものとして読んだ。



3 彼は政府指導者の保護に指令58の継続措置をリンクしました。



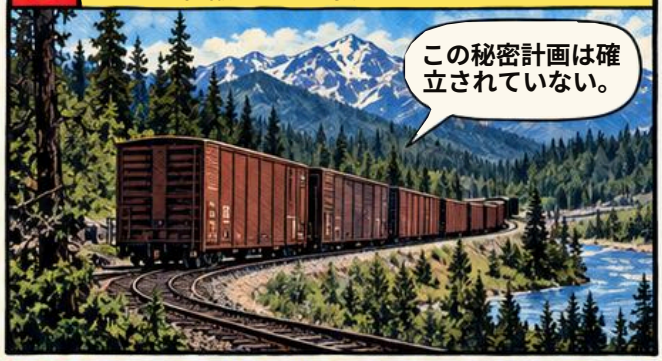
4 ベターは準備とメンテナンスの問題に言及し、戦略的優先順位を非難した。



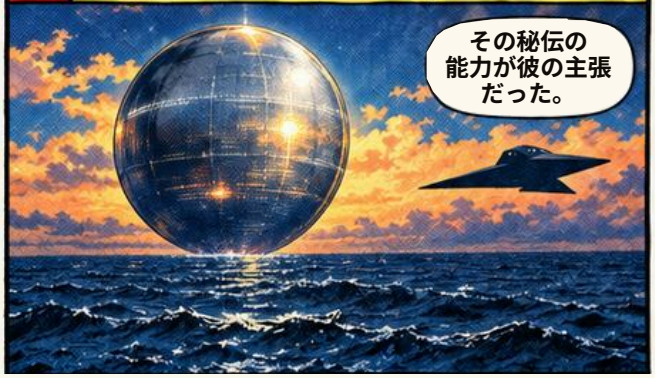
5 イランは失敗戦争計画の継承を主張する彼の中心にとどまりました。



6 彼は再び、ミニットマンTX移動式ミサイルを隠蔽したと主張する。



7 ベターはステルス機を「サブクラフト」と呼び、ロシア軍システムによる敗北を訴えた。



8 軍事的宣伝は、国民に核戦争を受け入れるよう強制できると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第57号・www.peterdavidbeter.com

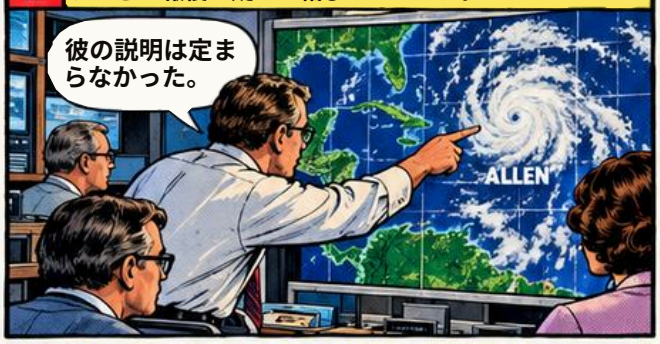
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第57号

1980年8月31日

テーマ2 ハリケーン・アレンとロシアが天候戦争拡大

1 夏季の厳しい天候は、穀物禁輸に対するロシアからの報復の疑いと結びついていた。



2 彼は薬や農作物の損失を気象管理上の疑惑と結びつけた。



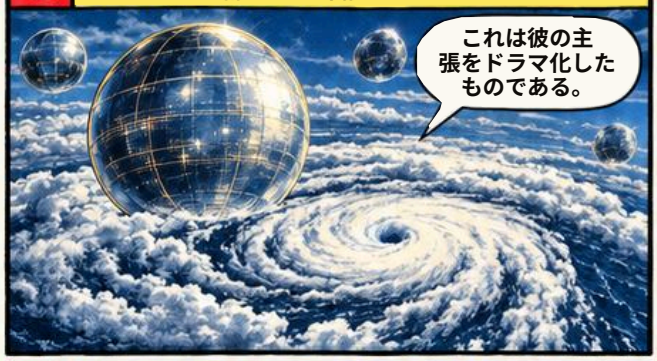
3 被害を受けた収穫物は価格を上げ、食料供給を圧迫すると警告した。



4 彼は論争を巻き起こしたヴェラのフラッシュを再び視察し、天候戦争の実験を主張した。



5 彼の説明では、コスモフィアはハリケーン・アレンを創造し、操縦した。



6 アレンがカリブ海を越えテキサス海岸に向かっていると説明した。



7 ベターは、ロシアの支配が過ちを負っていると推測した。



8 彼はアレンを気象戦争の疑いのある警告として提示した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第57号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第57号

1980年8月31日

テーマ3 ステップ2はできることです

1 ベター氏は、聞き手が最初のノックス砦への問い合わせに反応したと述べました。



2 彼はエドワード・デュレルの2冊のパンフレットをさらに研究する材料として推薦した。



3 ベターはロン・ポールが提案した金権自由法、HR 7874を指摘した。



4 彼は、米国の金準備高の審査、在庫、監査の提案を強調しました。



5 2つ目の推薦は、プロキシミア上院議員とのフォローアップ通信であった。



6 彼はプロクシミアに下院との共同議会調査を求めるよう促した。



7 3つ目の推奨事項は、友人や隣人と資料を共有することであった。



8 3つの部分: より勉強し、フォローアップし、質問を平和的に広めます。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第57号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第58号

1980年9月30日

テーマ1 アメリカの金とイラク・イラン戦争

1 1980年9月 - イラクとイランの間で戦争が勃発。



2 両国は飛行場と石油施設を攻撃した。



3 ベター首相は、イラク侵攻に反対し、武器の配達を中止したと述べた。



4 元シャー時代のイラン人職員がイラクを援助していると主張する。



5 ベターはイランに対する新たな支配を求める民間石油利害を非難した。



6 さらに、彼はサダム・フセインに80億ドルの金を支払ったと訴えた。



7 彼の中心テーマはペルシャ湾における金、石油、戦争を結びつけた。



8 ベターは軍事配備が危機を広げる可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第58号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第58号

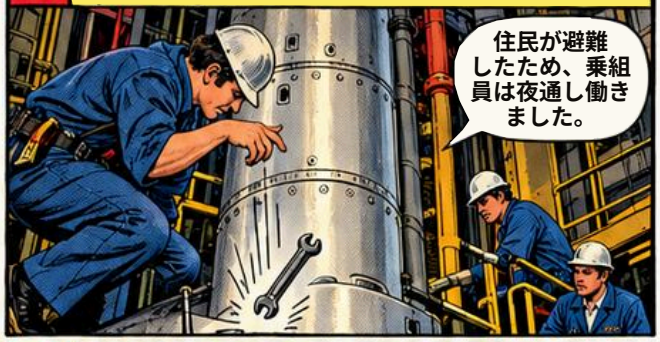
1980年9月30日

テーマ2 ロシアがタイタンIIミサイルを攻撃

1 1980年9月18日、アーカンソー州ダマスカス近郊でタイタン2号が運用された。



2 受け入れたアカウントは、ミサイルを穿刺するドロップツールから始まります。



3 数時間後、サイロは壊滅的な力によって爆発した。



4 弾はミサイルを破壊し、弾頭はサイロから外された。



5 ベターは、受け入れられた説明を不完全と断った。



6 彼の説明では、球面の宇宙圏がサイロに粒子ビームを発射した。



7 歴史的事故とBeterの仮説上の原因は同じではありません。



8 イベントは公式記録と現代の報告を通じて研究することができます。 porary



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第58号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第58号

1980年9月30日

テーマ3 ステップ3はできることです

1 リスナーは、プロクミア上院議員の返事のコピーを送った。



2 Beter氏は、標準化されたリプライは各ライターを孤立させる可能性があると主張した。



3 ツアーやレコード監査が物理的な在庫の要求に応えているかどうかに異議を唱えました。



4 彼は、ニューヨークアッセイオフィスでの会計に関する以前の懸念を思い出しました。



5 後に、財務省、司法省、GAOは、この問題を検討するように要求されると述べた。



6 彼の最初の推薦は、公的な調査のための平和的な圧力を継続した。



7 2つ目の推奨事項は、地元新聞で金の埋蔵量に関する質問を投げかけることであった。



8 3つ目のステップは、持続性、より広い議論、平和的な市民行動を強調した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第58号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第59号

1980年10月31日

テーマ1 イラン人質解放計画は

1 1980年10月、戦争、イラン人質危機、アメリカ合衆国大統領選挙がニュースを支配した。



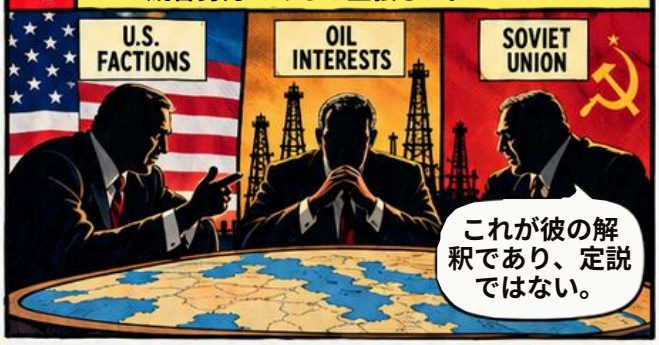
2 選挙日前に人質解放の可能性の噂が強まった。



3 評論家は、選挙にリリースが影響するかどうかを議論した。



4 ベターは、この危機を運営しているのは3つの競合勢力であると主張した。



5 彼は米軍の動きをイランを含むより広いシナリオに結びつけた。



6 また、ポーランドでは、別の危険な戦線として不安を感じた。



7 さらに、米国の都市や火山に対する物理攻撃の準備を訴えた。



8 彼は、危機は戦争や戦争への大衆の移動に使用できると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第59号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第59号

1980年10月31日

テーマ2 ウィリアム・プロキシミア上院議員と「行動ステップ4」

1 数ヶ月間、リスナーは、ウィリアム・プロキシミア上院議員に、米国の金準備金について書いていた。



2 実業家の手紙を読んで、なぜ物理的な在庫が要求されなかったのかを尋ねたほうがよい。



3 以前の回答では、財務長官は報告書を求められていたと述べました。



4 彼は手紙と返信の整理されたファイルを保持することを強調しました。



5 アクションステップ4は、Proxmire氏の簡単なフォローアップ質問だ。



6 Beter氏は友人や隣人からサポートする署名を追加することを提案した。



7 彼は原本を郵送する前にコピーを作成するようにアドバイスした。



8 手順はフォローアップ、ドキュメント、そして小さな請願を組み合わせたものです。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第59号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第59号

1980年10月31日

テーマ3 アクション・ステップ5』が新しい戦線で

1 ベターは連邦議会から連邦準備制度への注目を移した。



2 彼は、地域準備銀行を銀行システムの中心として記述した。



3 ベターは、預金者、銀行、準備制度は信頼できる資産への関心を共有していると主張した。



4 彼は、準備銀行は金の請求を担い、財務省は管理人を務めたと主張した。



5 行動ステップ5は、地域準備銀行とその社長と取締役を特定することから始まりました。



6 ニューヨーク州外では、地方官に別の手紙を提案した。



7 彼は以前の対応を文脈として包含することを提案した。



8 新たなフロントは銀行役人を通じて精査を拡大することを目的としていた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第59号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第60号

1980年11月30日

テーマ1 1980年の選挙の驚くべきところは

1 選挙日前、世論調査では、大統領選挙のレースは近いと評された。



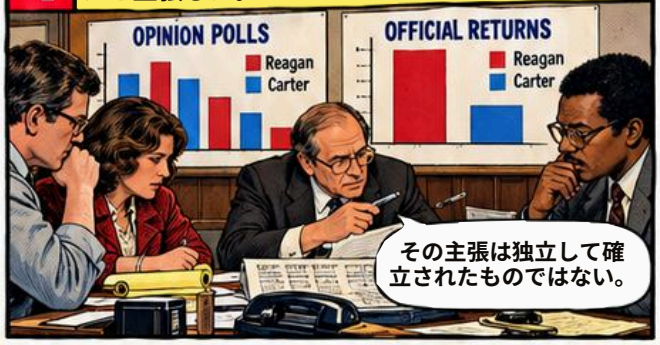
2 ネットワークは、西欧でまだ投票が進行中である間、ロナルド・レーガンのレースを呼んだ。



3 カーターは西部の選挙区が閉ざされる前に承認した。



4 ベターは、世論調査ではなく、総票数を誤っていたと主張した。



5 ウェストバージニア州知事のための草の根運動を思い起こさせた。



6 さらにベターは、投票機械修理業者による自白を訴えた。



7 機械のセキュリティと選挙監視に関する懸念は、証拠と透明なチェックに値します。



8 彼は、強力な石油利権の秘密の勝利として、地すべりを組み立てました。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第60号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第60号

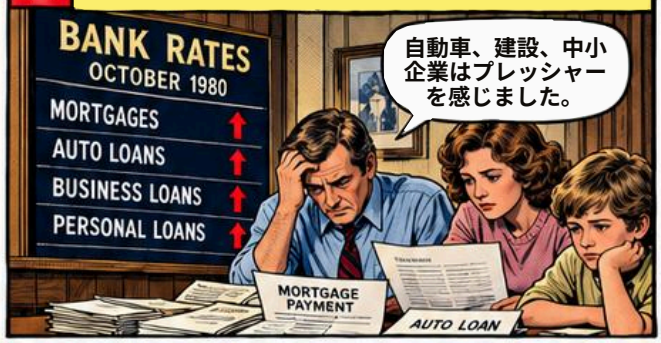
1980年11月30日

テーマ2 アメリカの銀行システム崩壊計画

1 Beter氏はリスナーにAudio Letter 59に記載されている書簡キャンペーンを完了するように促した。



2 利率は再びアメリカ経済全体で急激に上昇した。



3 産業の弱点と銀行の緊張を、可能なうつ病に結び付けました。



4 彼は、銀行の失敗や預金保険の予備金に関する現代の懸念を挙げた。



5 ベターは、公式の金資産は存在しないという疑惑を繰り返した。



6 彼は、公式の金の価値を宣伝手段として使うと予測した。



7 治療として、彼は国際通貨会議を提案した。



8 機密保持は財政的ストレスを信頼の危機に変える可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第60号・www.peterdavidbeter.com

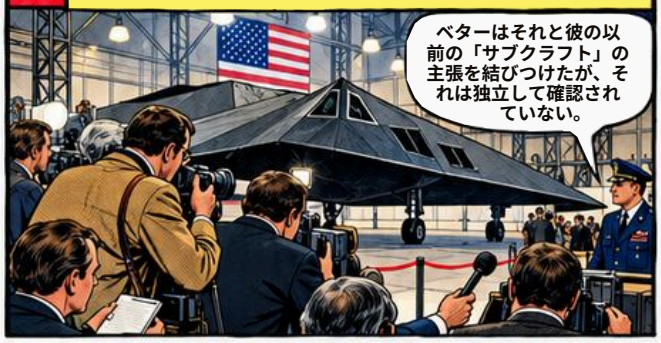
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第60号

1980年11月30日

テーマ3 戦争の新たな時代

1 1980年、アメリカのステルス機が話題になった。



2 ステルスとは海底から宇宙へ向かうスペクトルである。



3 ベターは新しいソ連潜水艦とアメリカのトラブルの多いトライデント計画とを対比した。 prog



4 音の低減、ソナーコーティング、検出ネットワークsh2=<a 水中競争。



5 彼はプロジェクト・ハイドラに水上発射ミサイルが技術的に実現可能であることを示すと言及した。



6 レーダーの対策は、椅子から電子機器へと進化し、現代のステルスを形作った。



7 より優れた球面「宇宙」を自然なステルスプラットフォームとして描きました。



8 モバイルミサイルと対宇宙兵器の衝突で終息した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第60号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第61号

1981年1月20日

テーマ1 レーガンの移行の合法的妨害

1 レーガンは、多くの政府高官の就任が遅れている中で就任した。



2 レスは財政の緊張、離脱、閣僚レベルの低い職員の低迷について述べた。



3 最高裁判所のBranti v. Finkel事件に焦点を合わせた。



4 裁判所は党の所属だけではほとんどの国民の解任を正当化できないと判断した。



5 反対派は、支持制限が選挙で選ばれた役人の政策を阻害する可能性があると警告した。



6 ベターは、この判決を敵対的な官僚権力を巻き込むための手段として描き出した。



7 回避策や重複雇用、より大きな官僚主義を予言した。



8 政権の継続性と選挙管理の緊張が露呈した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第61号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第61号

1981年1月20日

テーマ2 ウィリアム・プロキシミア上院議員の失脚の機会

1 数ヶ月間、リスナーは、米国の金準備高について、ウィリアム・プロキシミア上院議員に手紙を書いていた。



2 彼らの主な要求は、公平で独立した物理的在庫でした。



3 ベターは1965年のフォートノックスの出荷を提案した。



4 プロキシミアはまず、財務省の総監に報告を要求した。



5 リスナーがアクセスを要求した後、このレポートは最終的にリリースされました。



6 記者は以前の手紙に返事をもらっていない。



7 プロキシミアは委員会議長職を失ったが、影響力のある議員に留まった。



8 ベターは、プロクミアがリードする機会を失っていたと宣言した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第61号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第61号

1981年1月20日

テーマ3 連邦準備銀行の金の詐欺

1 クリスマスの後、新聞はフォートノックスの警備について特集を流した。



2 市場価格上昇を再評価の宣伝の準備として強調した。



3 証明書とバランスシートは所有権と管理をそれぞれ違う方法で定義している、と氏は言う。



4 金は「誓約」だと表現する証言に重点を置いていた。



5 彼は、質のついた時計を使って、a-'-7eの法的な概念を説明しました。



6 彼の議論は1933年と1934年の法律を通じて連邦金の取り決めを追跡した。



7 ベター氏は、当局者が個人検査よりも保証に頼っているという回答を引用した。



8 地域準備銀行の理事長や理事に新たな書簡を提出するよう求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第61号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第62号

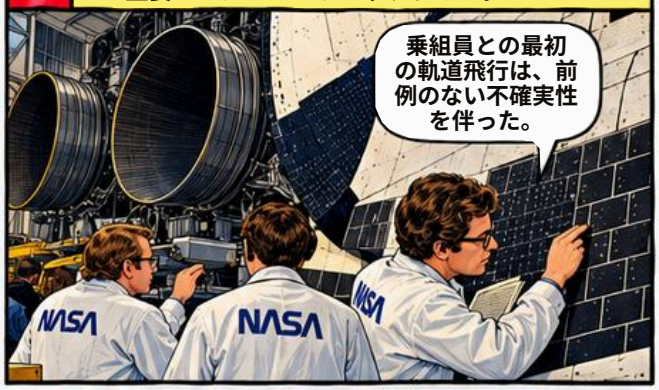
1981年2月28日

テーマ1 スペースシャトルコロンビアの秘密の軍事ミッション

1 長い遅延の後、コロンビアは1980年11月に公の場で再び現れた。



2 エンジニアは、1便目のリスクを研究する。3つの主要エンジンとセラミックタイル。



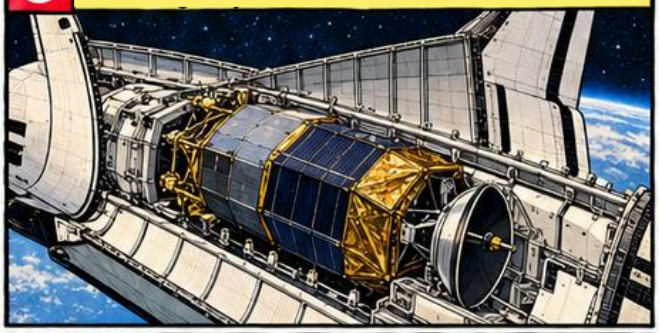
3 NASAは最初の軌道テストのためにヤングとクリッペンを準備した。



4 彼の主張について話すと、書類のある机でもっとよく。



5 ベターは貨物室で偵察衛星を固めたと説明した。



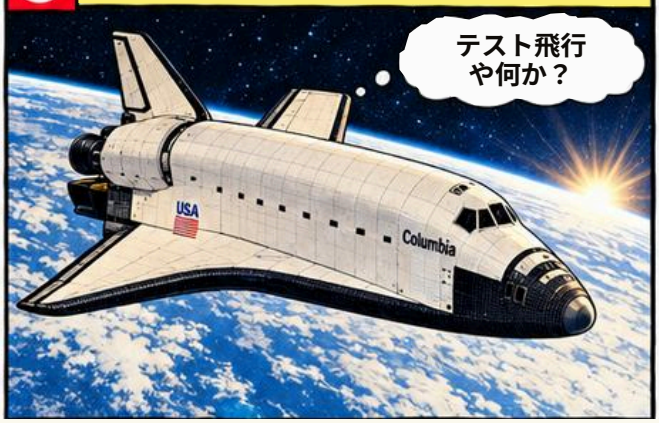
6 軌道上で敵対的な行動を生き残るためのものであると主張した。



7 より良い予測された公の報道は、実際のミッションと異なる。



8 STS-1のミッションは、すぐに軌道上でシャトルをテストした。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第62号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第62号

1981年2月28日

テーマ2 戦争の緊張感が高まる新たな発酵は

1 アメリカ人の人質は就任の日にイランから戻った。



2 ポーランドの労働混乱は東西の緊張を高めた。



3 エルサルバドルでの暴力は、再び冷戦のフラッシュポイントとなった。

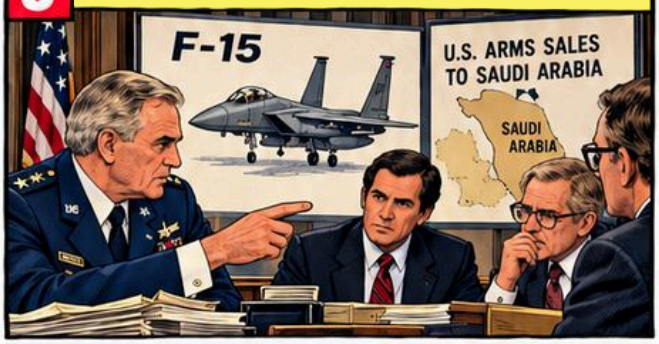


4 より優れた地域危機がモスクワを混乱させるために使われていた。

ベターの解釈・未確認



5 武器販売と中東の競争は圧力を増す。



6 ベターは将来のペルシャ湾の対決を予言した。



7 経済緊急事態が大統領権限を拡大する可能性があると警告した。



8 多くの本当の危機はベターの仮説的な物語と重なった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第62号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第62号

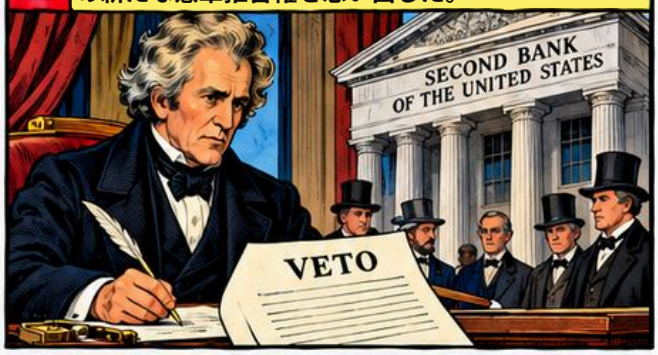
1981年2月28日

テーマ3 現代の両替商による金の不正流出

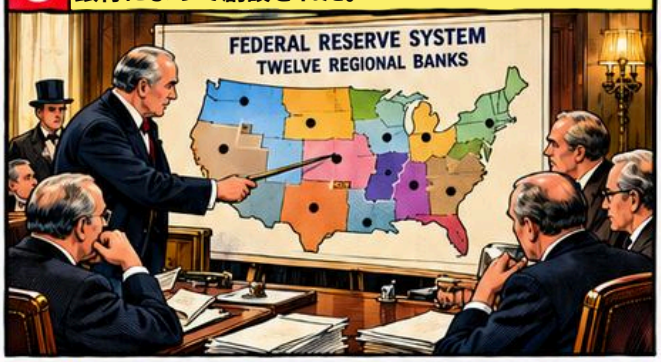
1 より良いは、マネーチェンジャーの聖書の物語で開きました。



2 1832年にジャクソンが行った、中央銀行の新たな憲章拒否権を思い出した。



3 連邦準備制度は1913年に12の地域銀行によって創設された。



4 ベターは地域監督に物理的な金在庫を要求するよう促した。



5 彼は1965年の出荷について財務省の説明の妥当性について論争した。



6 ベターは、出版された数字は和解しないと主張した。



7 1981年2月、アイランの金の開拓地と結びついた密かに移転した。



8 中央の需要は単純でした:独立した在庫を通して金を検証する。



信じるか、確かめるか？

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第62号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第63号

1981年4月1日

テーマ1 アメリカとロシアによるファーストストライク計画

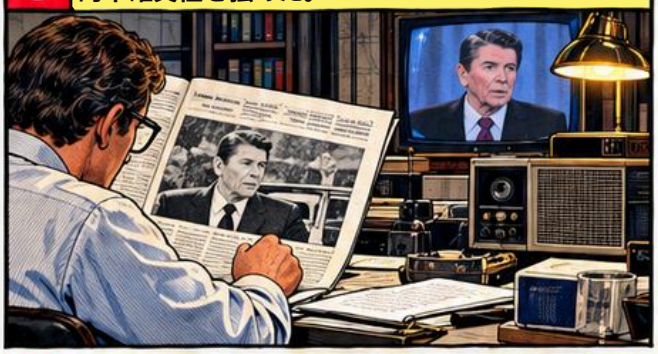
1 ポーランドの労働危機は東西の対立を激化させた。



2 公式のレトリックはますます好戦的になった。



3 レーガン大統領への攻撃は政治的不確実性を強めた。



4 彼の主張について話すと、書類のある机でもっとよく。



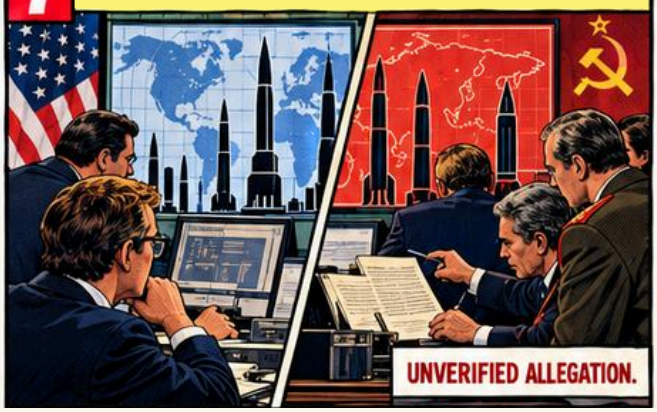
5 彼の「ロボコイド」と「合成」の物語は、仮説的で支持されていなかった。



6 ベターはシャトルを宇宙における軍事競争理論に折り畳んだ。



7 両大国ともストライキの選択肢を再検討していると強調した。



8 エスカレーションによって何百万人もの人が危険にさらされる可能性がある。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第63号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第63号

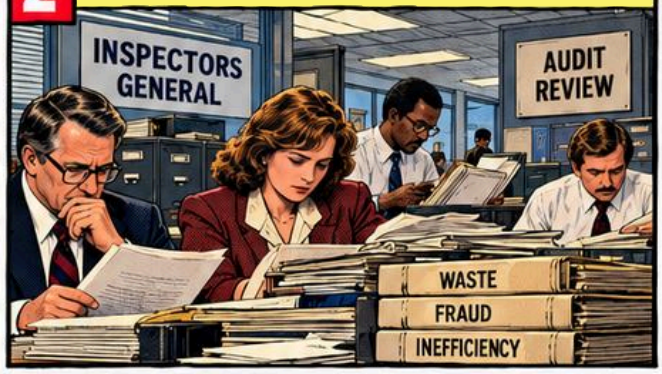
1981年4月1日

テーマ2 アメリカの独裁制への経済的な道

1 1981年3月、統合と効率に関する大統領評議会が設立された。



2 その目的は、廃棄物、詐欺、非効率と戦うことであった。



3 ベターは「ALLEGED SECRET CONSTITUTION」というラベルの文書を持って評議会に来ます。



4 ベターは緊縮と軍事費が一緒に動いていたと主張した。



5 彼は、将来の緊急事態が100ドル札を標的になると予測した。



6 彼のシナリオは、銀行の休日と一時的な市場閉鎖でした。



7 Beter氏はキャッシュレスシステムが侵入的な金融コントロールを可能にする可能性があると警告した。



8 経済的な緊急事態権限は、精査、証拠、および合法的な監視に値する。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第63号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第63号

1981年4月1日

テーマ3 逃げるか戦うかの決定は

1 暗殺の試みは恐怖と不確実性の気候を強調した。



2 より良い選択を完璧にフレーム:危険を残したり、滞在して抵抗します。



3 ベターのキャンペーン



4 永続性、ドキュメント、そしてパブリックアカウンタビリティを求めている。



5 ベターは過去の大統領を呼び、後に機関や政策を批判した。



6 彼は不正の証拠に従うという政府の約束を試すよう提案した。



7 リスナーは、金の疑惑についてレーガン大統領に請願するよう促された。



8 永続的な質問:危機から撤退するか、事実と合法的に対決するか？



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第63号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第64号

1981年4月27日

テーマ1 スペースシャトル計画の事前準備

1 公の場での注目は待ち望まれていた最初のシャトル打ち上げに焦点が当てられた。



2 ミッションオーディオ、カメラアングル、放送タイミングは2つ前もって行われた。



3



4 Beter氏は、トレーニング映像とステージング画像が軌道シーンとして提示される可能性があると主張する。



5 実機でのシャトル訓練は、航空機、シミュレーター、滑空試験を使用した。



6 ベターはホワイト・サンズに密かに準備をしていたが、これは彼の解釈だった。



7 彼はソ連の計画者がその任務を予期していると主張した。



8 ベターの議論の的となった物語から、別の文書化された訓練。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第64号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第64号

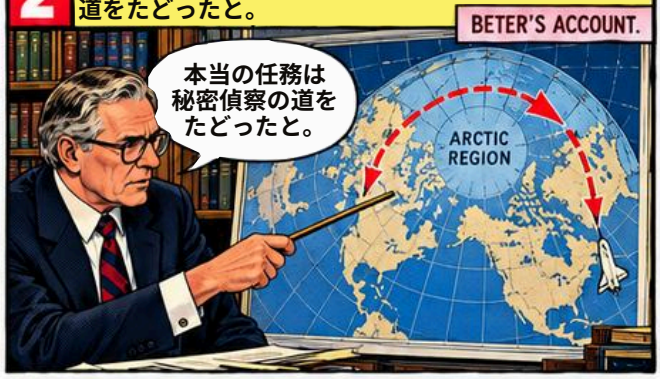
1981年4月27日

テーマ2 スペースシャトルコロンビアの飛行中止

1 コロンビアが発射台から無事に上昇した。



2 本当の任務は秘密偵察の道をたどったと。



3 ベターはロシア軍が作戦計画を知っていると主張した。



4 彼の物語では、実験的な宇宙圏がインターセプトへと移動した。



5 ビーム兵器は乗組員とほとんどの飛行システムを無効にしたと述べました。



6 ベターは戦車を捕獲してリダイレクトしたと主張した。



7 彼の証言は、船内での爆発と散り散りの残骸で終わった。



8 公式記録によると、コロンビアは最初の軌道ミッションを終え、無事に着陸したとのことです。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第64号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第64号

1981年4月27日

テーマ3 NASAがコロンビア大災害を隠蔽し

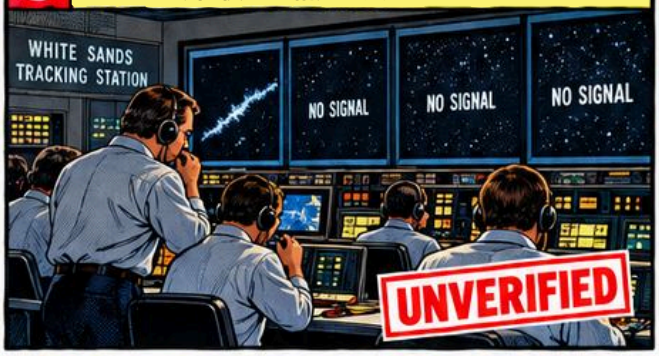
1 NASAとネットワークは、この飛行を歴史的な成功として示した。



2 ピーター・ベターはテープレコーダーの横でオーディオを聴いた。



3 Beter氏の説明では、秘密のコントローラーは打ち上げ直後に連絡先を失いました。



4 大衆は自信のある成功物語を受け続けた。



5 ベターは訓練シャトルが後にコロンビアのために待機していると主張した。



6 彼は帰還した乗組員を「合成」と呼び、証拠は残っていないと主張した。



7 航空宇宙レポーターとエンジニアは着陸写真、タイル状態、タイミングノートを調べました。



8 記録にはSTS-1が地球を周回し、エドワーズに着陸したと記載されている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第64号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第65号

1981年6月6日

テーマ1 教皇大統領暗殺政治は

1 パパシーの急速な変化は、ベター氏が議論した政治的背景を形作っていた。



2 教皇はローマで暗殺未遂を生き残った。



3 数週間前、レーガン大統領はワシントンで銃撃戦を生き残った。



4



5 同様のタイミングはそれ自体では共通の陰謀を証明しない。



6 メディアの注目度を政治条件と解釈した。



7 公式調査では個々の銃手が特定され、ベターはこれらの結論を拒否した。



8 一次資料を比較したアーカイブの歴史家。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第65号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第65号

1981年6月6日

テーマ2 コロンビア号の事故の余波

1 STS-1は軌道飛行の成功例である。



2 NASAは、カリフォルニアからフロリダへ帰還する準備をしていた。



3 着陸後に見た車両はエンタープライズでコロンビアと改名された。 BETER'S CLAIM.



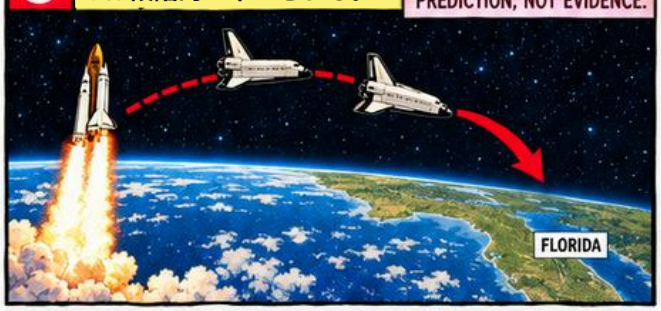
4 彼は、当局者が密かにシャトルスイッチを議論したと主張する。 UNVERIFIED.



5 ベターは、他の軌道対応7機のシャトルがそこに隠されていると主張した。



6 彼の説明では、時間を買うことは段階的に中止される。 PREDICTION, NOT EVIDENCE.



7



8 利用可能な記録は、コロンビアの安全な帰還とフェリー飛行を支えています。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第65号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第65号

1981年6月6日

テーマ3 世界の危機と「偶然」の核戦争

1 1981年、いくつかの国際危機が公の場での注目を競った。



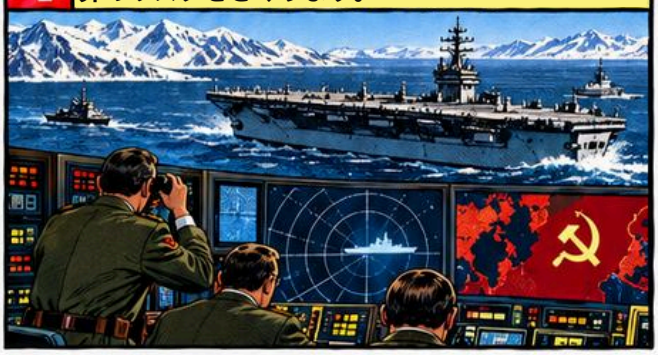
2 レバノンでの暴力と対立は、より広い紛争への恐怖を提起した。



3 同盟国間の緊張は、不確実性の別の層を追加します。



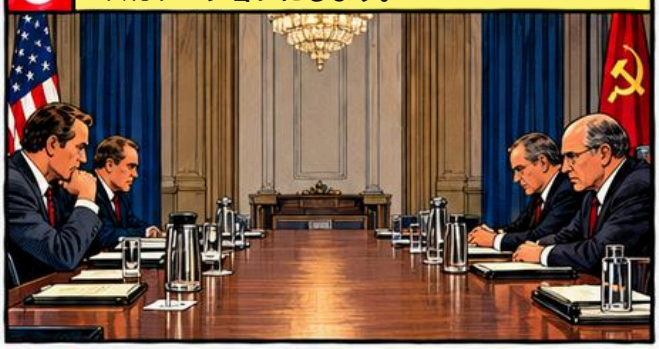
4 ソ連海辺での軍事展開は、誤った計算のリスクをさぐります。



5 戦争の引き金として重なり合う危機が使われると警告した。



6 コミュニケーションの障害はエラーをエスカレーションにします。



7 複数の危機は不確実性を増大させる。



8 核戦争の計画が確立される証拠はない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第65号・www.peterdavidbeter.com

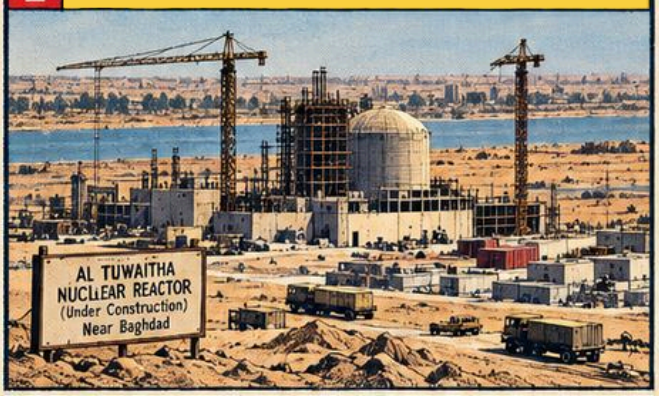
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第66号

1981年7月11日

テーマ1 イスラエルが核武装勢力を攻撃

1 ベターはイラクの原子炉に対するイスラエルの襲撃を振り返った。



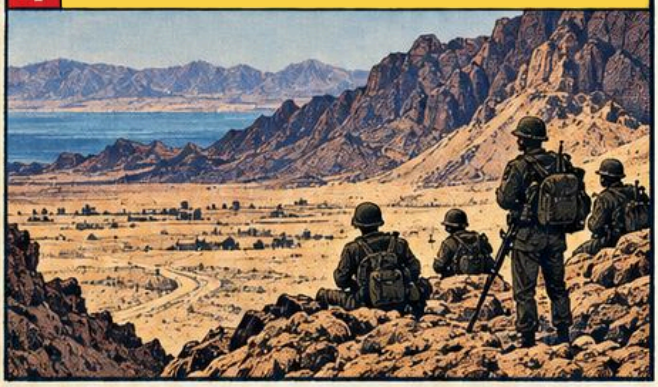
2 彼の証言では、この襲撃は秘密のアメリカ軍協力を伴った。



3 彼は、AWACSのサポートが作戦に役立ったと主張した。



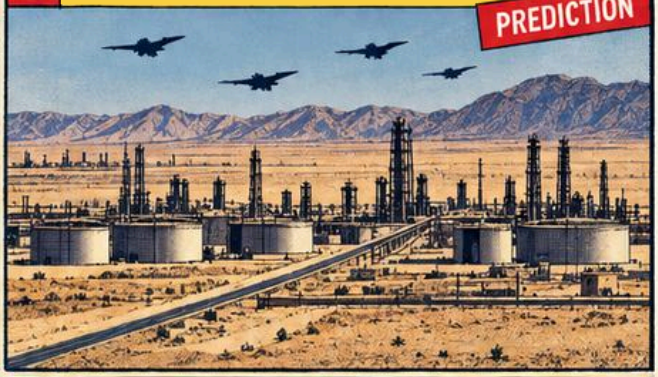
4 より広い戦略の一環としてシナイの手配を解釈した。



5 彼はサウジの武器販売を予測危機と結びつけた。



6 サウジの油田への攻撃を予言した。



7 彼の予測は不足、配給、戦争にまで及んだ。



8 ベターの主張であり、事実は確立しなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第66号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第66号

1981年7月11日

テーマ2 米国の「警告発射」計画、核自殺で

1 より良いものは1914年以前の緊張と危機を掛け合わせること。



2 彼は対立が交渉を置き換えるのではないかと心配した。



3 彼は戦争の準備として武力協議の遅れを解釈した。



4 彼は秘密の軍事シャトル計画の疑いを繰り返す。



5 彼は移動式ミサイルがアメリカの鉄道に隠されていると主張した。



6 彼の説明には球面宇宙圏を目標としたミサイルが含まれていた。



7 通信損失は核発射の引き金になる可能性があると、彼は主張しました。



8 彼は最初のストライキが報復と間違えられるのを恐れた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第66号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第66号

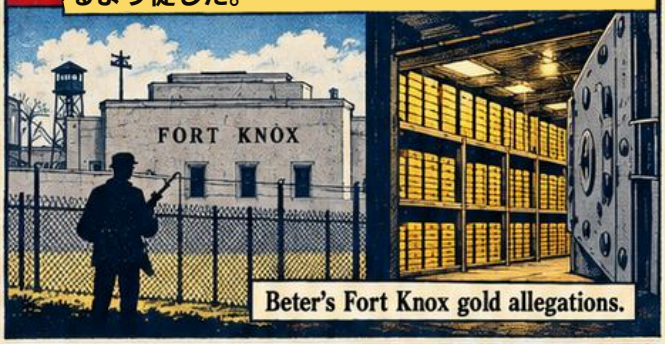
1981年7月11日

テーマ3 アメリカの最終日には何ができるでしょう？

1 ベター: どうすればいいですか？



2 彼はノックス砦の金の主張を改めて調査するよう促した。



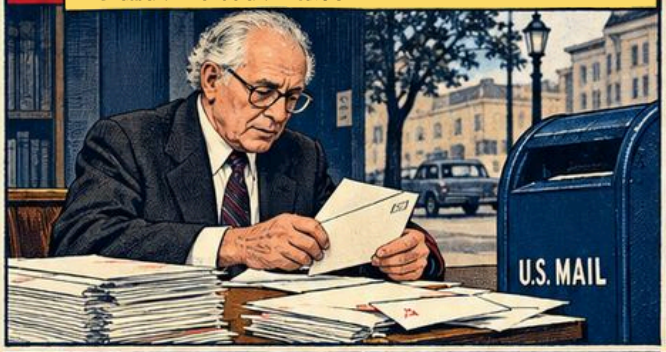
3 彼は、プロキシミル上院議員と財務省への控訴を説明した。



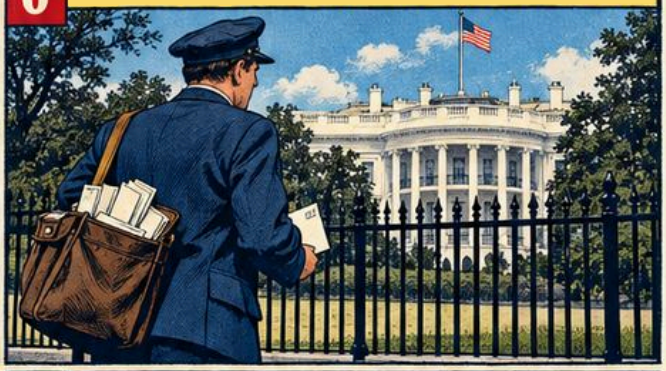
4 連邦準備制度理事会への問い合わせは沈黙に満たしたと、同氏は述べた。



5 ベターはエドワード・デュレルの手紙を予備役の取締役に報告した。



6 ホワイトハウスの訴えは反応しなかったと、同氏は言いました。



7 彼は興味のあるリスナーに彼らの手紙をシェアするよう促した。



8 彼は信仰に導かれ、家族の要求を大事にすることを勧めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第66号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第67号

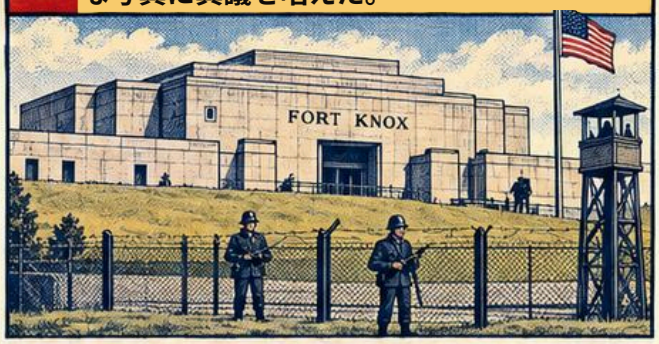
1981年8月25日

テーマ1 アメリカの金本位制が思いがけないほど復活した

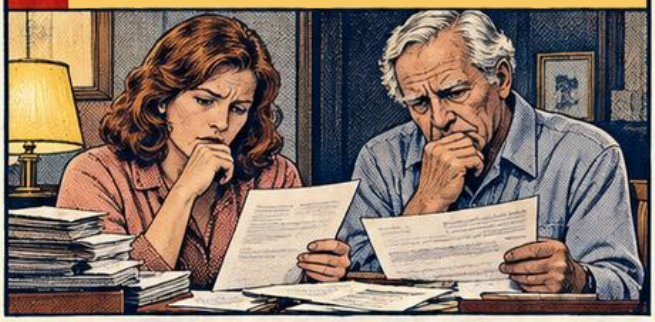
1 ベターはアメリカの経済の未来に対する隠れた闘争について述べた。



2 彼はノックス砦の金鉱床の公式な写真に異議を唱えた。



3 彼は聴聞者の監査要求に対する回答を批判した。



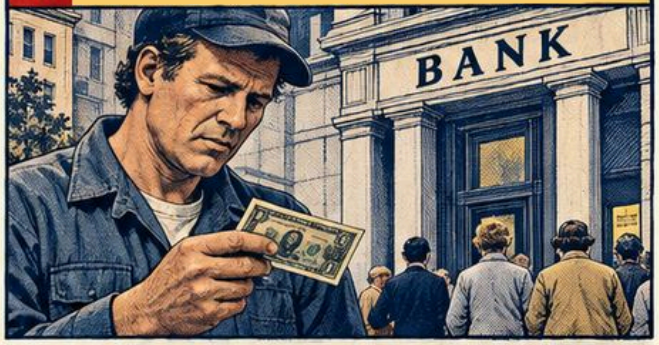
4 彼は金委員会を統制されたプロセスとみなした。



5 彼はドルに対して新しい部分的な金の裏付けを予言した。



6 彼はドルが金と交換できないと言いました。



7 彼は高金利をレイオフと企業買収に結びつけた。



8 一時的救援を期待し、その後、権力の集中を図ろうとした。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第67号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第67号

1981年8月25日

テーマ2 米国の「ユダヤ人問題」— ベターの言説を批判的に読む

1 ベターはレバノンの市民の苦しみで開幕した。



2 イスラエルの軍事行動に対するアメリカ人ユダヤ人の不安を指摘した。



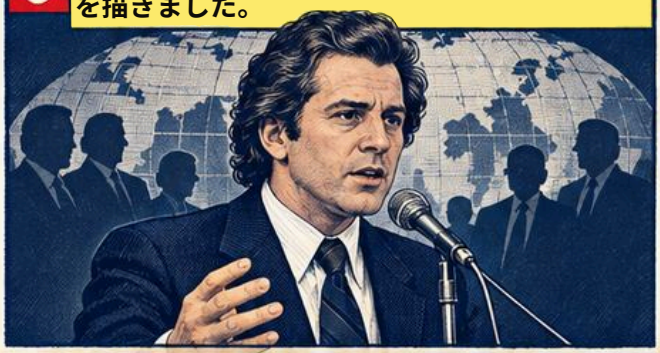
3 彼は政府の政策は全ての市民を代表しているわけではないと主張した。



4 彼の物語は、政策批判と反ユダヤ的陰謀論の主張を混ぜ合わせた。



5 彼はライバルのパワーブロック間の秘密の闘争を描きました。



6 彼は偏見が政治的武器として使えると警告した。



7 難民をめぐる話で、ユダヤ人自身に不当に責任を押しつけた。



8 政府への批判を理由に、民族全体を責めてはならない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第67号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第67号

1981年8月25日

テーマ3 リビアのドッグファイトと隠れた海軍戦争ゲーム

1 ベターはイスラエルに対する航空機禁輸の解除を批判した。



2 彼はこの決定を、最近レバノンで起きた戦闘と結びつけた。



3 彼はアメリカとリビアのジェット機が衝突したことを説明した。



4 公的な証言は海軍の「甲羅ゲーム」を隠蔽したと主張する。



5 彼はOcean Venture 81のエクササイズに注目した。



6 彼は北部海域での作戦を危険な対立と見なした。



7 彼は武器生産と登録書草案を戦争への恐怖と結びつけた。



8 彼は、ライバルの権力闘争が一般人を危険にさらしていると信じていた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第67号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第68号

1981年9月30日

テーマ1 レーガン・ベギン軸と拡大する世界危機

1 ベターは、新しい米イスラエル戦略パートナーシップを検討した。



2 発表プログラムには、備蓄、情報共有、共同演習などがあった。



3 彼は何年もの間密かに協力していたと主張した。



4 彼はガイアナの秘密作戦について、論争を繰り返した。



5 彼はレバノンを地域危機の拡大の中心とみなした。



6 サウジとシリアへの圧力が高まると予測した。



7 彼は、エスカレーションが地域のさらに向こうに広がる可能性があると警告した。



8 ベターの解釈であり、事実は確立しなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第68号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第68号

1981年9月30日

テーマ2 スペースシャトル打ち上げの遅延を意図的に

1 ベター氏は、偵察は戦略的問題になったと述べた。



2 ソ連の兵器が米国のスパイ衛星を除去したと主張する。



3 彼はその主張に偵察機への新たな関心を結びつけた。



4 彼は、コロンビアが4月に破壊されたという誤った主張を繰り返した。



5 彼はエンタープライズが公共の代用品として使われていると主張する。



6 彼は、中止、軌道飛行、または別の遅延に関する議論について説明した。



7 彼は熱タイルに関する報告を表紙として解釈した。



8 歴史記録では、コロンビアが1981年の任務を無事に完了したことが示されている。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第68号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第68号

1981年9月30日

テーマ3 レーガンの予算と腐敗した経済計画

1 1929年のアプローチと市場の不安定性を比較しました。



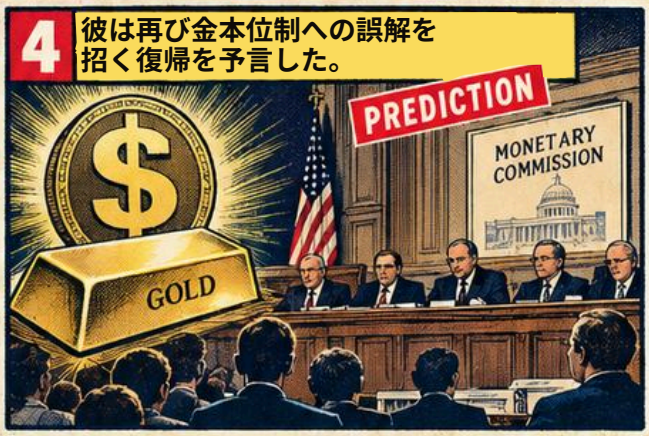
2 彼は事業を弱めるために、きつい金と高い金利を責めた。



3 彼は、政策が企業買収を好んだと主張する。



4 彼は再び金本位制への誤解を招く復帰を予言した。



5 軍事費は継続する一方で、国内の大幅な削減を批判した。



6 また、外国援助の優先事項と議会特権を攻撃した。



7 彼の提案された救済策は、真実、説明責任、経済改革から始まった。



8 彼は破壊よりも平和を造るよう人々に求めた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第68号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第69号

1981年11月8日

テーマ1 サダットとベターの核戦争警告の暗殺

歴史事実:アンワル・サダット大統領は1981年10月6日にカイロで軍事パレード中に暗殺されました。



攻撃は世界に衝撃を与え、安全保障と動機に関する緊急の疑問を提起した。



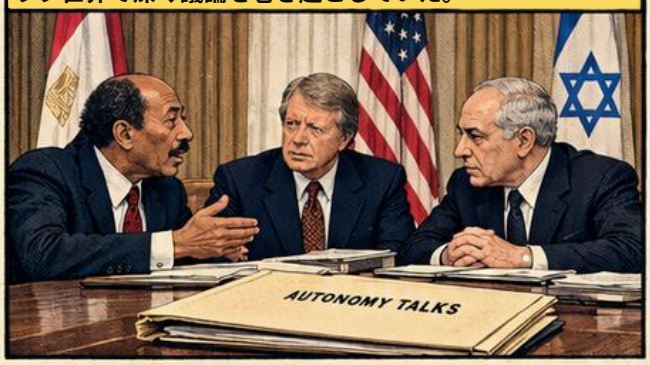
ベターはサダトの死を第一次世界大戦に先立つ1914年の暗殺と比較した。



彼のアナロジーは、ライバルの権力圏、地域の緊張、脆弱な同盟に焦点を当てた。



サダトの平和政策とパレスチナ自治交渉は、アラブ世界で深く議論を巻き起こしていた。



ベターは、地域の危機がエスカレーションにより大きな力を引き込む可能性があると主張した。



注意:歴史的な類似点は、協調したプロットや不可避な核戦争を証明していない。





出典・Peter David Beter — 音声書簡 第69号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第69号

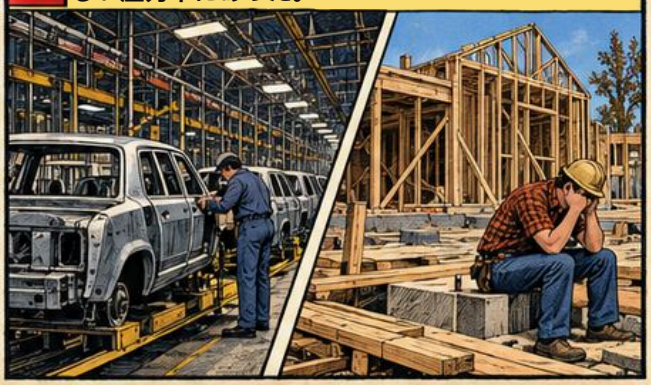
1981年11月8日

テーマ2 レーガン時代の経済不安とベターの「毒殺」主張

1 1981年のリセッションで、米国の失業率は急激に上昇した。



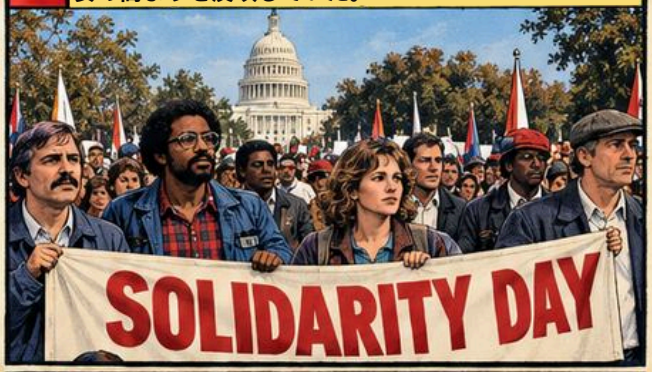
2 住宅と自動車の生産はどちらも厳しい圧力下にあった。



3 高い金利、インフレと債務は家計予算を圧迫した。



4 ワシントンでの大規模な労働デモは、経済不安の高まりを反映していた。



5 ベターは食料流通が燃料と継続的なトラック輸送にどのように依存していたかを強調した。



6 彼は、厳しいお金と支出削減を意図的な経済妨害として描きました。



7 注意:同様の困難は、アメリカでポーランドの政治危機を再現するための調整された計画を証明するものではありません。



8 ベターの解釈。確認された事実ではない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第69号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第69号

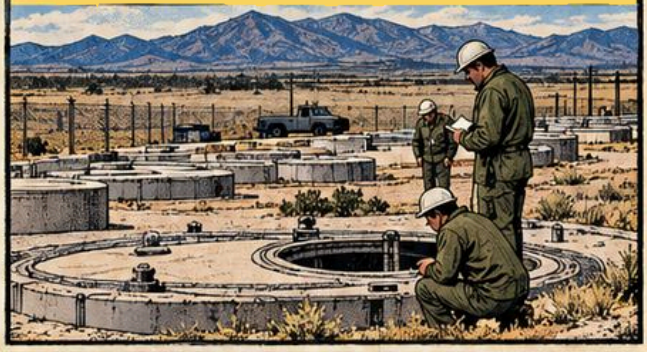
1981年11月8日

テーマ3 MX決定と米国の最初のストライキ討論

1 1981年10月2日、レーガンはMXミサイルのベース計画の改訂を発表した。



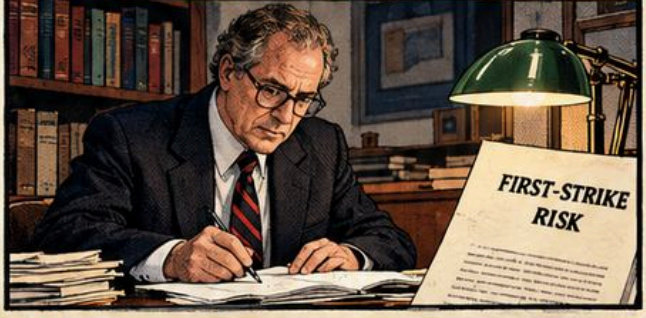
2 最初のMXミサイルは放棄された移動式「レーストラック」システムではなく既存のサイロのために提案された。



3 批評家は、脆弱な固定サイロは危機の早期に発射する圧力を強める可能性があると論じた。



4 CIAのハーバート・スコヴィル・ジュニア元職員は、この政策が最初のストライキ思考を奨励する可能性があると公に警告した。



5 ベターは「ミニットマンTX」と呼ばれる秘密の小型ミサイルが既に鉄道で移動していたと主張する。



6 ベターが全国的に鉄道を敷設したという証拠は確認されていない。



7 1981年のソ連潜水艦事件はスウェーデンで起きたが、警告として舞台を飾ったというベターの主張は証明されていない。



8



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第69号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第70号

1981年12月27日

テーマ1 3つの祝日危機とベターの戦争警告

1981年の休暇中に、ベターの警告は3つの国際危機に支配された。



2、リビアの暗殺チームが米国の役人を脅かしたと報告。



1981年12月13日、ポーランドは軍法会議を施行し、連帯運動に反対した。



4、取り締まりは東西緊張を強め、激しいプロパガンダ闘争を繰り広げました。



イスラエルは、その法律と行政を占領したゴラン高原に適用した。



国連安全保障理事会は、この動きは国際法の下で無効であると宣言した。



注意:同時多発テロは、ベター氏が核戦争の秘密計画と主張する一つの証拠ではない。



ベターはより広い戦争について警告し、その音声書簡を締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第70号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第70号

1981年12月27日

テーマ2 STS-2とBETERの秘密シャトル故障要求

1981年11月12日、コロンビアはSTS-2を打ち上げた。



宇宙飛行士のジョー・エングルとリチャード・トゥルーリーが、世界初の再利用宇宙船を飛行しました。



燃料電池の問題は計画された5日間のミッションを約54時間に短縮した。



コロンビアは37周回軌道を無事に帰還した。



ベターはエンタープライズが密かにコロンビアに取って代わったと主張し、即興偵察機を運んだ。



彼はさらに、代替のオービターがソ連上空で破壊されたと主張した。

未確認の主張



事実確認: 現代の記録では、コロンビア航空のSTS-2飛行と安全な帰還が記録されている。



ベターの主張。史実とは確認されていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第70号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第70号

1981年12月27日

テーマ3 金の振込とベター氏の新たなスキャンダル、米司法省が提訴

1 ベターは、大量の金が失われたという長年にわたる疑惑を改めて表明した。



1981年12月、外国報道が再びこの論争を調査。



財務省は盗難疑惑を否定し、ベター氏が会計を誤って読んだと述べた。



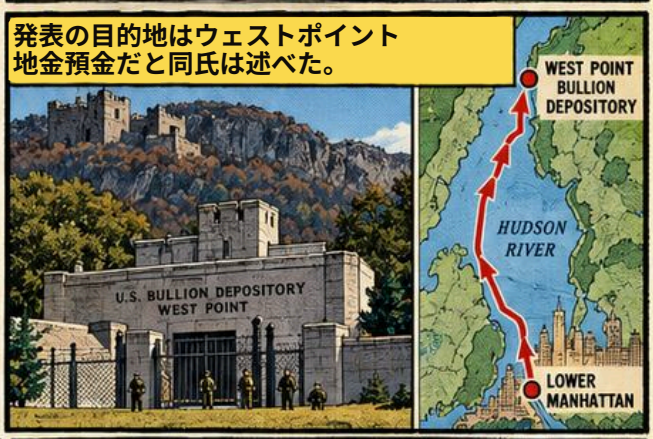
金の記録の解釈に関する意見の相違が、歴史的に重要であった。



ベターは、夜間の密輸品がニューヨーク検定局から金を動かしていると主張した。



発表の目的地はウェストポイント地金預金だと同氏は述べた。



バー、シールのチェック、シリアル番号のマッチングを計量する独立した監査人。



FACT CHECK: Transfers require documented chain-of-custody evidence; the public material cited here does not establish theft.

彼のラジオ番組でよく話す。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第70号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第71号

1982年1月29日

テーマ1 シベリア急行とベターの気象戦争に関する主張

歴史的事実: 1982年1月にアメリカの大部分が深刻な冬の大流行に襲われた。



1月13日、90便が離陸直後に14丁目橋と氷のポトマックに墜落した。



救援隊と生存者は凍った川で異常な勇気を示した。



調査は氷結、推力表示、乗組員の手順を調べた。



ベターはソ連の宇宙圏がシベリアの空気を北アメリカに向けて向けたと主張した。



彼は、嵐、洪水、作物の損失を、新たな地理学的攻撃と結びつけた。



事実確認: 重度の気象は現実でしたが、信頼できる証拠はソビエトの気象コントロールや人工地震を示していません。





ベターの主張。史実とは確認されていない。

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第71号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第71号

1982年1月29日

テーマ2 ドル・アセットクーデターの疑いは

1 米国は、不況、高い失業率、持続的なインフレの中で1982年に入国しました。



自動車や建設は特に厳しいものでした。



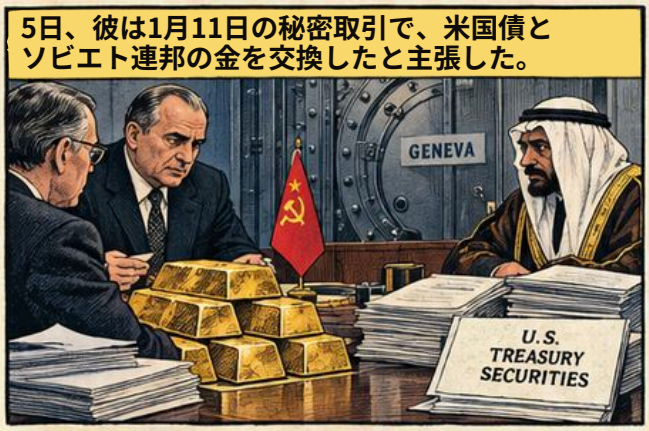
金融政策の厳しさと金利の高さが下降を加速させた。



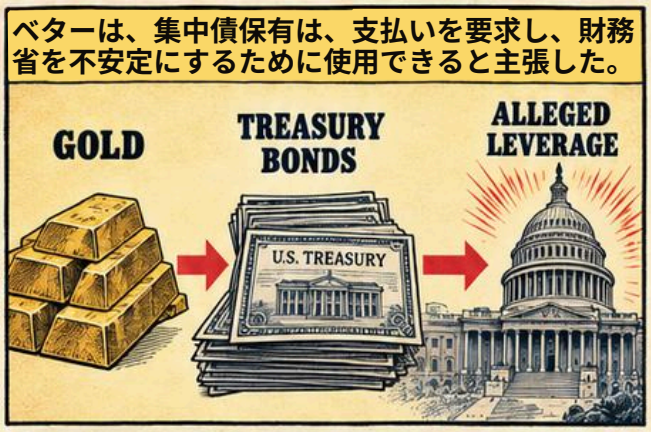
4、ベターは、米国の金送金に関する彼の以前の疑惑に経済危機を結び付けました。



5日、彼は1月11日の秘密取引で、米国債とソビエト連邦の金を交換したと主張した。



ベターは、集中債保有は、支払いを要求し、財務省を不安定にするために使用できると主張した。



7、事実確認: 公的に検証された証拠は、ベターの主張する秘密のジュネーブ取引または米国の債務のソビエトの支配を確立するものではありません。



ピーター・デヴィッド・ベターがマイクに登場し、警告を出します。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第71号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第71号

1982年1月29日

テーマ3 ヘイグ、グロミコ、ベターの三派モデル

レーガンは1982年1月26日に最初の連邦代表演説を行った。



その日、アレクサンダー・ヘイグとアンドレイ・グロミコはジュネーブで延長会談を行った。



報道では、難しい東西外交と突破口はなかった。



実際の同盟政治は、NATO、ワルシャワ条約、二国間関係、非同盟国を含む。



ベターは支持されていない三派陰謀論モデルを提案した。



共産党の敵に対して、企業利益とロシアとの密接な交渉を主張した。



事実確認:ジュネーブ会議は文書化されています。ベターの隠れた派派と秘密同盟は信頼できる証拠によって確立されていません。





出典・Peter David Beter — 音声書簡 第71号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第72号

1982年2月28日

テーマ1 核戦争熱と秘密戦争

テレビ戦争ドラマで始まったベターは、娯楽が核戦争を身近なものにすると警告した。



中央アメリカ間の紛争、中東の緊張、停戦中の武器交渉を戦争熱の上昇に結びつけた。



彼は、核戦争の壊滅的破壊を軽視したとして、市民防衛の保証を批判した。



Beter氏は1月12日、赤外線検知が宇宙空間へのレーザー攻撃を誘導したと主張する。



後に航空事故がソ連の報復に帰したとされ、この関係は確立されていない。



また、魚雷と宇宙圏がシベリアパイプラインへの圧力としてオーシャンレンジャーを沈めたと主張する。



歴史的記録:調査はオーシャンレンジャーが暴風雨、洪水、設計上の弱点、不十分な訓練に負けたことを追跡した。



ベターの警告について劇化された言い換えで、ベターの秘密戦争に関する疑惑は独立して確認されていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第72号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第72号

1982年2月28日

テーマ2 ロシアへの3度目の挑戦

1982年2月、コロンビアはスペースシャトル3号のテスト飛行の準備を進めていた。



ジャック・ルーマとゴードン・フラートンが3月22日に打ち上げ予定にされた。



ベターの主張

ベターは、この車両はレーザー兵器偵察ステーションを積んだ秘密の代替品であると主張した。



ベターの主張

ソ連の軌道インターセプターと戦うための鼻レーザーの追加を説明した。



ベターの主張

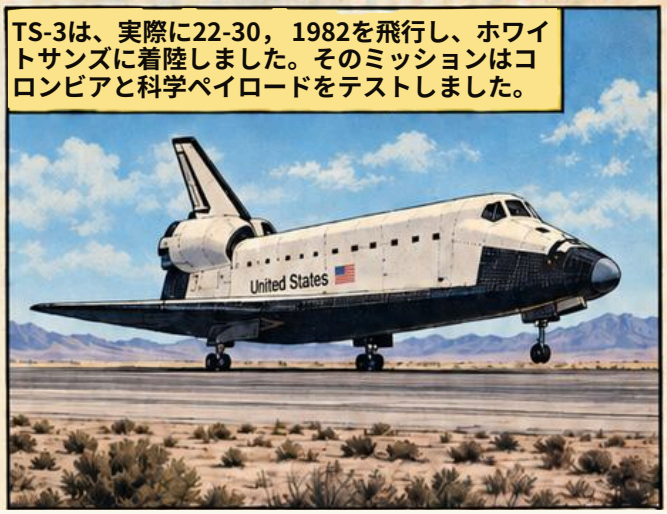
彼の説明では、乗組員はカプセルの中で帰還し、武装したシャトルは軌道にとどまった。



ベターは宇宙飛行士を運んだと主張していたが、ベネラ13号とベネラ14号はロボットによる金星探査ミッションであった。



TS-3は、実際に22-30，1982を飛行し、ホワイトサンズに着陸しました。そのミッションはコロンビアと科学ペイロードをテストしました。



彼の代役軌道と宇宙戦闘の物語7は、記録化されたミッション記録では支持されていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第72号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第72号

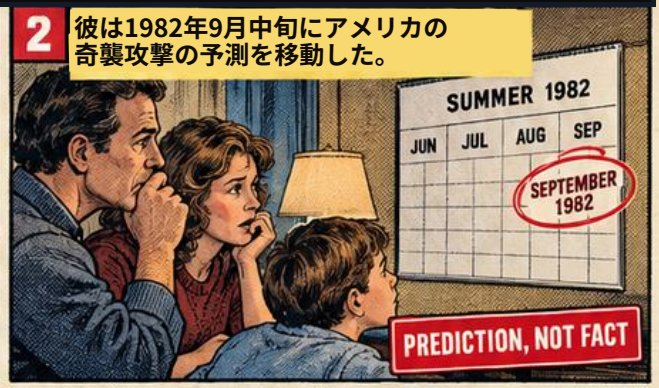
1982年2月28日

テーマ3 ベターの予測した核戦争の短時間表

1 ベターは、戦争に超大国を引き込む計画の段階として、同時地域の危機を見た。



2 彼は1982年9月中旬にアメリカの奇襲攻撃の予測を移動した。



3 ソ連の将軍2人が密かに抽出した情報を提供し、時刻表を加速させたと主張する。



4 彼はヘイグとワインバーガーの意見の相違を、隠れた権力派間の争いと解釈した。



5 ベターは、計画されている核攻撃を防ぐため、ヘイグが軍事対クーデターを準備していると主張した。



6 レーガンは夏の終わりまでに突然死したと言い、このことが疑われることを示唆するだろうと述べた。



7 1982年の核戦争とクーデターの予測は実現せず、レーガンは1989年1月まで大統領を務めた。



8 ベターは彼の予測を裏付けるが、隠された陰謀は立証されず、予測された結果は失敗した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第72号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第73号

1982年3月31日

テーマ1 怪物" の軍用機が

ベターは、秘密の秘密研究部門が光学的に見えない軍用機をキューに生産したと主張した。



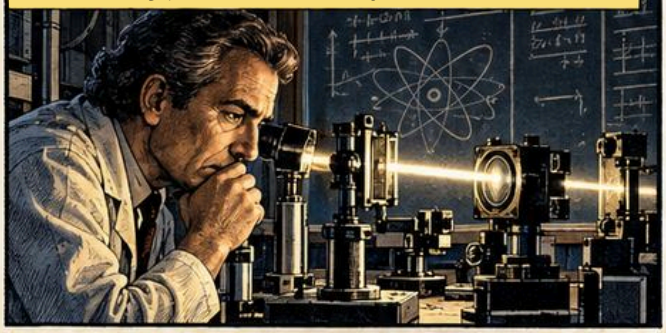
ベターの主張

彼の説明では、電磁場は航空機の周りに光とレーダーを回した。



ベターの主張

アインシュタインの未完成の統一場理論を提唱したが、この主張のメカニズムは確立されていない。



ベターは、この飛行場がビーム兵器から機体を守っていると主張した。



ベターの主張

彼の盾がパイロットの見解を遮ったと疑われ、慣性指導が問題を解決したと述べました。



ベターの主張

1982年夏までに作戦艦隊を予言し、ソ連の目標を攻撃する準備をしていた。



ベターの主張

1981年6月にF-117が初飛行し、レーダーの検出をステルス状態に減らした。



彼の警告の劇化された言い換え;ゴーストプレーン物語は未検証のままです。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第73号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第73号

1982年3月31日

テーマ2 『プロジェクトZ』：ベターの三相戦争シナリオ

ベターは、ワシントンの隠れた軍室で小さな計画グループが運営していたと主張する。



ベターの主張

彼は計画案を「プロジェクトZ」と名づけた:開始、退却、そして支配。



ベターの主張

PHASE 1 彼の説明では、目に見えない航空機はソ連の宇宙とミサイル防衛基地を攻撃する。



ベターの主張

彼は、段階的な電磁パルスがより大きな核交換を引き起こすと主張した。



ベターの主張

フェーズ2 両国の壊滅的な報復と疲労を予言した。



ベターの主張

首相は、隠れた指導者は地下で生き残るが、民間人は苦しむと述べた。



ベターの主張

第3段階ベターは、秘密の軍事予備軍が世界支配のために使われると主張した。



ベターの主張

1982年の核戦争の予測は実現しなかったが、Z計画は未確認の疑惑である。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第73号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第73号

1982年3月31日

テーマ3 STS-3:秘密の軍事的成功の主張

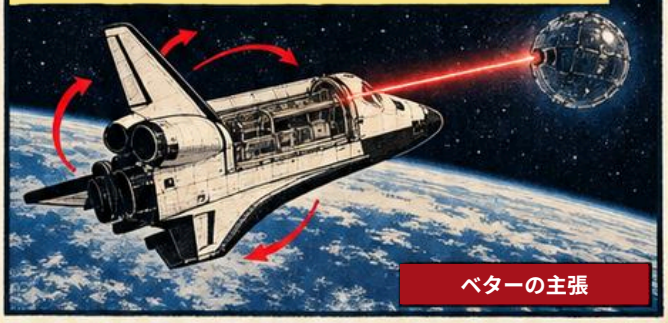
1982年3月22日、ジャック・ルーマとゴードン・フラートンと共に打ち上げられた。



NASAが記録したミッションはシャトルシステムをテストし、科学実験を行った。



Beter氏は、防御レーザーと圧延操作が上昇を保護したと主張する。



彼は、この飛行が武装したスパイ衛星をうまく展開したと主張した。



NASAは、病気や設備上の問題を報告した記事を、本記事として却下した。



ベター氏は、コロンビアが軌道にとどまる間、乗組員はカプセルの中で密かに帰還したと述べた。



歴史的記録:コロンビアとその乗組員は、1982年3月30日にホワイトサンズに上陸した。



彼はシャトルの成功を戦争準備の速さに結びつけたが、この関係は独立して確認されていない。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第73号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第74号

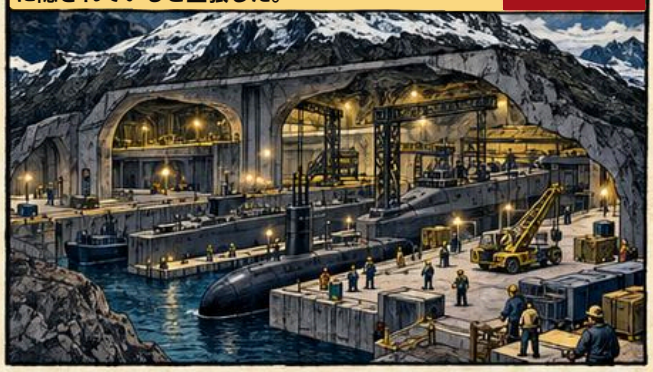
1982年4月30日

テーマ1 南ジョージアの軍事機密が

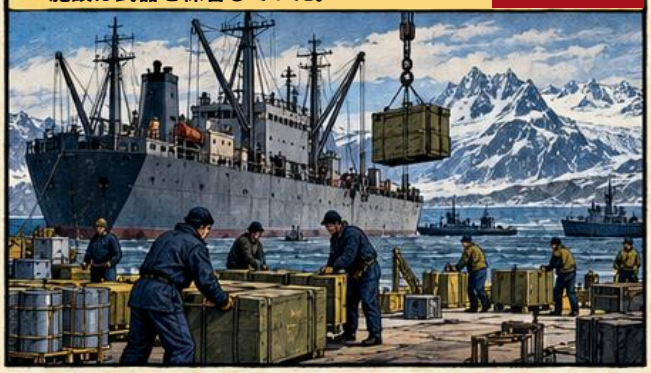
ベターは、南ジョージアがフォークランド紛争でなぜそれほど重要か尋ねた。



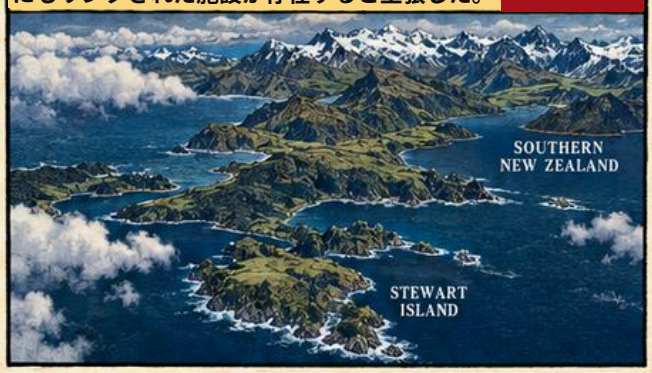
彼は、巨大な地下海軍基地が島の下に隠されていると主張した。 ベターの主張



3. 彼の証言では、核戦争の後、機密施設は武器を保管していた。 ベターの主張



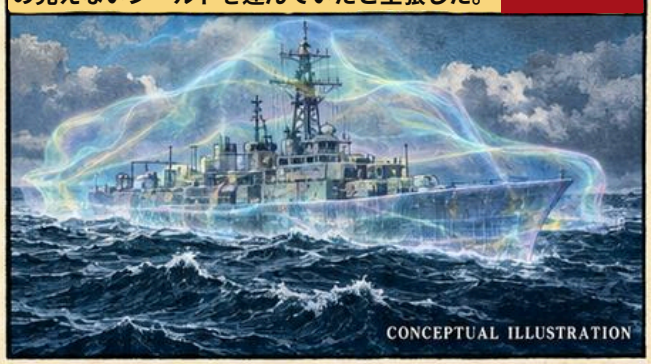
彼は、ニュージーランド南部やスチュワート島にもリンクされた施設が存在すると主張した。 ベターの主張



5. ベター氏は、これらの基地はアメリカの船舶と潜水艦の秘密の複製を構築したと言いました。 ベターの主張



彼は、隠れた艦隊は幽霊の飛行機のように視界の見えないシールドを運んでいたと主張した。 ベターの主張



7. 1982年4月25日、イギリスの部隊がサウスジョージア州を奪還した。



彼はこれらの保護区を「プロジェクトZ」の世界の支配段階と結びつけた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第74号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

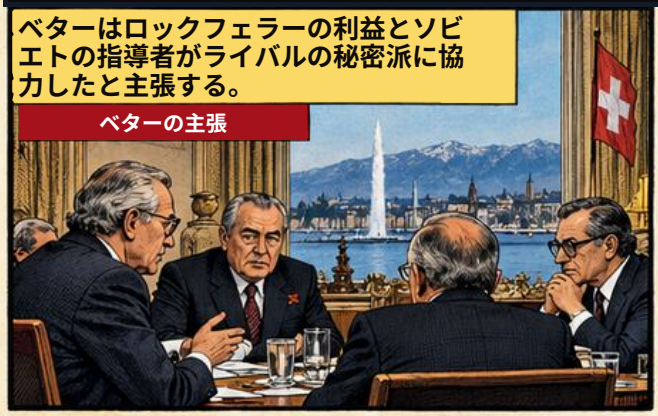
PETER DAVID BETER・音声書簡 第74号

1982年4月30日

テーマ2 ベターの秘密戦争は

ベターはロックフェラーの利益とソビエトの指導者がライバルの秘密派に協力したと主張する。

ベターの主張



彼はアルゼンチンの占領を、サウスジョージア基地への攻撃の隠蔽と解釈した。

ベターの主張



共同秘密部隊が隠された基地を上空から無効にしたと主張した。

ベターの主張



ベターは、艦隊の航海中にイギリス艦へのソ連軍の未報告の攻撃を主張した。

ベターの主張



彼の話では、太平洋予備役艦隊は、その隠されたニュージーランドのシェルターを残しました。

ベターの主張



彼はソ連軍がその後、対仏海諸島近くの隠された太平洋艦隊を妨害したと主張した。

ベターの主張



1982年6月、フォークランド・キャンペーンはイギリスの勝利で終了し、秘密艦隊が未確認のままである。



彼はイギリスの海軍の災害を予測し、この紛争は秘密戦争の後遺症であると説明した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第74号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第74号

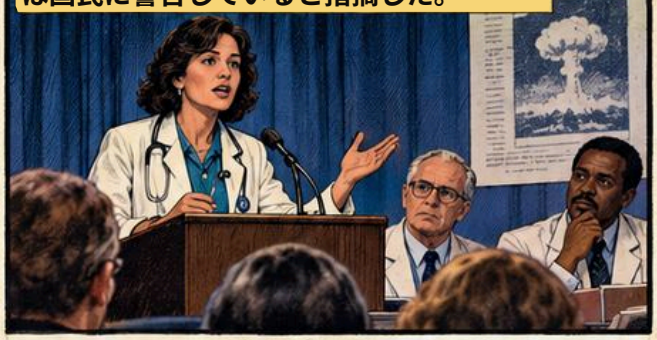
1982年4月30日

テーマ3 ロックフェラーの核戦争防止キャンペーンは

ベターはフォークランド紛争によって激化した戦争不安の増大について述べた。



核戦争の人間への影響について、医師は国民に警告していると指摘した。



核凍結運動は、武装の蓄積を中断することを求めた。



ベターの主張

ベターはロックフェラーの利益が財政的であり、自身の利益のために選挙運動を指示したと主張した。



ベターの主張

彼はこのキャンペーンを、アメリカ権力内のライバル派が争うという戦いの一環として描いている。



ベターの主張

彼は、戦争を恐れて超国家的支配を課すジュネーブに拠点を置く新しい評議会を予測した。



1981年に全国的な地域団体のネットワークとして始まった核凍結キャンペーンは、ロックフェラーコントロールが確立されていない。



彼は恐怖に抵抗し、平和主義者になるためのキリスト教の訴えで締めくくった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第74号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第75号

1982年5月31日

テーマ1 ベターの核戦争へのカウントダウンは

1 記念日，ベターは1982年9月までに核戦争が始まる可能性があると警告した。



彼は秘密計画「Z計画」がほぼ完成していると主張した。

ベターの主張



彼は、エクゾセットミサイルよりもソビエトの宇宙がシェフィールドを襲ったと主張した。

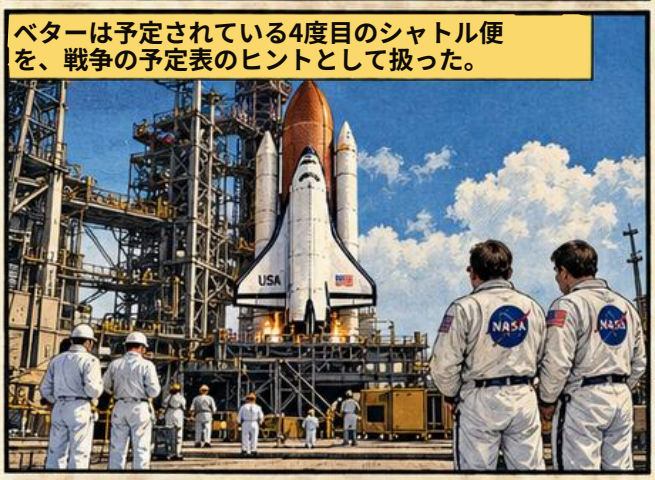
ベターの主張



4，ヒストリカル・レコード: 1982年5月4日、シェフィールドがアルゼンチンのエクゾーセト・ミサイルに攻撃された。



ベターは予定されている4度目のシャトル便を、戦争の予定表のヒントとして扱った。



同氏は、赤外線ペイロードが核攻撃を検証し、より広い攻撃を誘発すると主張する。

ベターの主張

IMAGINED SCENARIO



NASA RECORD: STS-4は1982年6月27日に赤外線実験で打ち上げられ、ベターの戦争引き金の疑いが立証されることはなかった。



首相は核戦争の予言は実現しなかったと述べ、核戦争の開始を聞き取りに呼び掛けた。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第75号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第75号

1982年5月31日

テーマ2 アメリカ合衆国憲法に対する経済攻撃の疑い

1、不況、失業、事業失敗は日常生活の危機であるとベターは述べた。



債務、高い金利、購入力の喪失は家族にプレッシャーを掛けていると論じた。



彼はレーガンの予算プロセスの批判を憲法改正の警告として解釈した。



ベターは、新しい憲法が予算を大統領の下に管理すると主張した。

ベターの主張



均衡予算修正を求める会議が憲法全体を書き換える可能性があることを恐れた。



彼は憲法闘争を、ライバル勢力の疑いのある勢力と、計画中のヘイグ主導のクーデターに結びつけた。

ベターの主張



憲法上、第5条は州の4分の3の批准を要求する。ベターの買収請求は成立していない。



経済の苦難は、人々が約束された救済のために政治的保護措置を交換できる可能性があると警告した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第75号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第75号

1982年5月31日

テーマ3 ビリー・グラハムと戦争ロビー

1 ベターはビリー・グラハムの自宅への応対を、身近な事実を非難する旅行者と比較した。



2 1982年5月、グラハムはモスクワを訪問し、核大災害に反対する説教と会議を行った。



3 ベターは、グラハムが訪れた際に、混雑した教会や言論の自由について報告したことを強調した。



4 グラハムは西欧に戻ったときに敵対的な批判を受けたと述べました。



5 ベターは5月16日のテレビインタビューを「公正な交流よりも質問」と呼んだ。



6 彼は、アメリカの「ボリシェヴィキ」戦争ロビーはロシアとのより深い理解を恐れていたと主張した。



7 同時期の文脈:記者は宗教的自由に関する制限に対する抗議も記述した。訪問はベターがクレムリンでキリスト教の支配者であるという主張を証明しなかった。



8 彼はリスナーに友人や隣人と話し、批判にもかかわらず平和のために働くように促した。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第75号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第76号

1982年6月30日

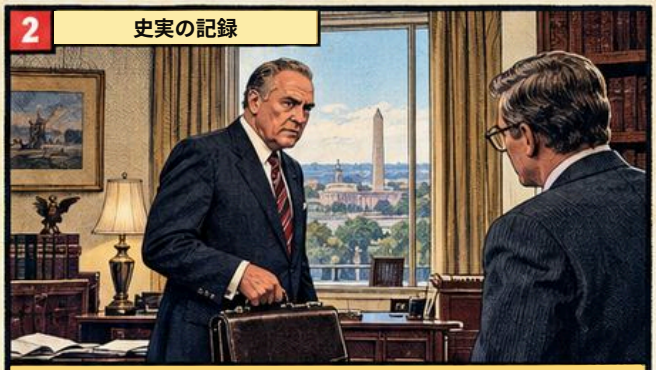
テーマ1 ヘイグの反戦クーデターの崩壊は

1 HISTORICAL RECORD



6月25日、レーガンはヘイグの辞任を発表し、ジョージ・シュルツを指名した。

2 史実の記録



ヘイグの辞任通知は、政権の外交政策の転換を引用した。

3 ベターの主張



ベターはヘイグを核戦争を阻止する意図があったとしてクーデターの指導者として描写した。

4 ベターの解釈



彼はヘイグとワインバーガーの争いを、ライバル派との争いに結びつけた。

5 ベターの主張



ベターはグロミコとの秘密交渉は戦争の時間表を邪魔するものであったと主張した。

6 ベターの主張



彼は、4度目のシャトルミッションの前にヘイグの支持者が解任されたと主張した。

7 ベターの解釈



STS-4が発射される2日前、クーデターの崩壊としてヘイグが出発したことをよりよく読みました。

8



1982年9月、核戦争が予測されたが、戦争は起こらなかった。

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第76号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第76号

1982年6月30日

テーマ2 核戦争の最終危機

1 史実の記録

6月14日、ポート・スタンレーのアルゼンチン駐留軍はイギリス軍に降伏した。



2 ベターの主張

ベターは、修理と帰宅の遅れがイギリスの損失を隠蔽すると主張した。



3 史実の記録

6月、イスラエル軍がレバノンに侵攻し、国連は撤退と軍事活動の終了を要求した。



4 ベターの主張

ベターはベイルート、サイドン、その他のレバノンの都市で民間人の苦しみについて記述した。



5 ベターの主張

ルカは、この侵略は核戦争につながる計画されたシーケンスの一部であると主張した。



6 ベターの解釈

ベターはイスラエル内戦への反対を強調し、イスラエル内戦への抗議も強調した。



7 ベターの解釈

彼はワシントンの反応を批判し、軍縮のレトリックとレバノンの戦いを対比させた。



8 ベターの解釈

彼は9月の警告で地域の危機を結び付け、その予測は達成できなかった。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第76号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第76号

1982年6月30日

テーマ3 戦争のための最後のシャトルミッション

1 ベターの解釈



ベターはパイオニア探鉱隊の平和的探鉱と軍事的強調の高まりとを対比した。

2 ベターの解釈



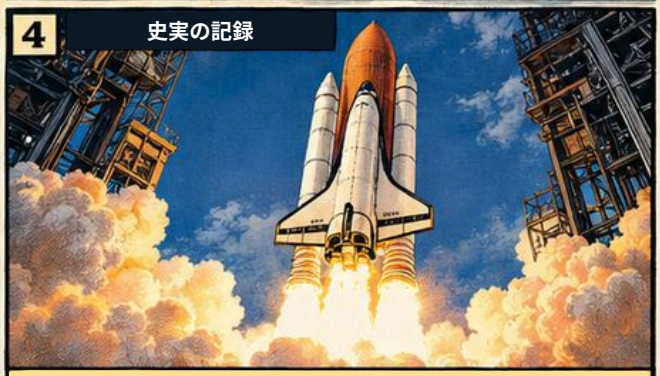
彼は科学的なミッションへの削減を提案し、民間研究が優先事項を失っていると警告した。

3 ベターの主張



ベターはNASAの人事変更を軍事的買収の証拠として描いた。

4 史実の記録



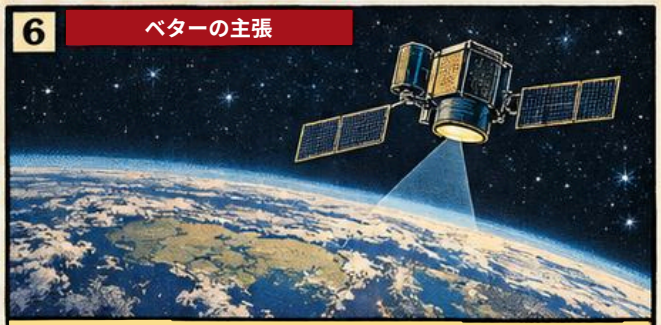
STS-4は1982年6月27日にコロンビアの4度目の軌道テスト飛行として打ち上げられた。

5 ベターの主張



彼は、シャトル2台と個別の帰還カプセルが本当のミッションを隠しているという未確認の主張を繰り返した。

6 ベターの主張



ベター氏は、秘密のセンサーが核攻撃の開始フェーズを監視すると主張する。

7 史実の記録



NASAは、スペースシャトルに搭載されたCIRRIS赤外線実験を記録に残しており、ベターの攻撃監視シナリオは確認していない。

8 ベターの解釈



ベターはこのミッションを9月の戦争予測と結びつけた。予測された戦争は起こらなかった。

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第76号・www.peterdavidbeter.com

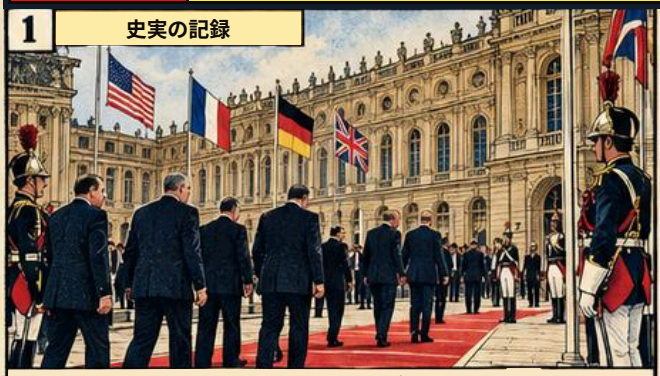
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第77号

1982年7月28日

テーマ1 核戦争の勢いが増している

1 史実の記録



1982年6月、貿易、信用、エネルギーをめぐる紛争の中で、ヴェルサイユ経済サミットが開かれた。

2 ベターの解釈



NATO首脳会議での緊張感は、モスクワとの対立が悪化している兆候だとの認識を示した。

3 ベターの主張



彼は、ソビエト連邦内で内部混乱を生みだすための調整されたキャンペーンを主張した。

coordinated campaign to create internal
rmoil within the Soviet bloc.

4 ベターの解釈



軍事費と市民防衛宣伝は戦争のための心理的準備と見なしていた。

5 ベターの主張



STS-4は秘密の攻撃監視センサーを配備したとベター氏は主張する。NASAの記録ではそのシナリオは確認されていない。

6 ベターの主張



彼は新しい武器と秘密配備が戦争計画の別の支部を形成したと主張した。

7 BETER'S INTERPRETATION



彼はレバノンとペルシャ湾での戦争を、一連の地域危機と結びつけた。

8 ベターの主張



1982年9月中旬ごろに再び核戦争が起きたと予測し、戦争は起こらなかった。

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第77号・www.peterdavidbeter.com

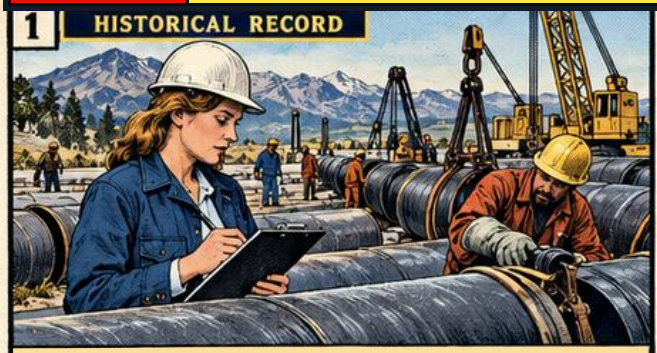
ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第77号

1982年7月28日

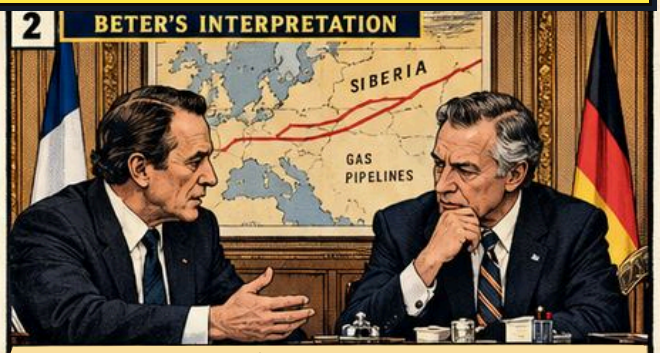
テーマ2 アメリカの国内における戦争の足場へのシフト

1 HISTORICAL RECORD



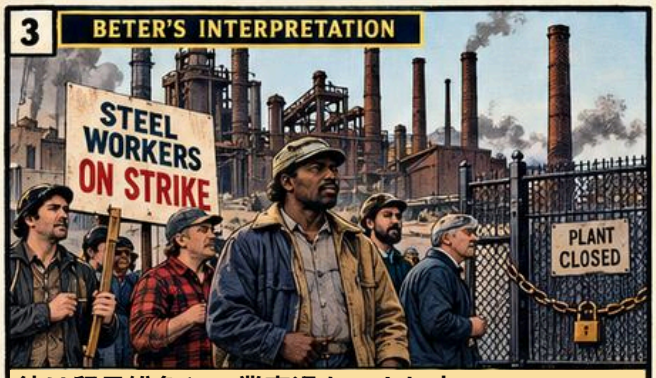
6月18日、ワシントンはソ連のエネルギー機器を海外子会社や米国ライセンス生産に拡大した。

2 BETER'S INTERPRETATION



ベターはヨーロッパがシベリアパイプラインに対して抵抗していることを、大西洋横断の分裂拡大の証拠とみなした。

3 BETER'S INTERPRETATION



彼は貿易紛争と工業衰退を、より広い経済的な対立と結びつけた。

4 ベターの主張



偽造への懸念を口実に、100ドル札の無効化計画が復活しかねないと主張した。

5 ベターの主張



緊急経済大国が、より広い大統領の支配の道を準備するだろうと、よりよく言われています。

6 BETER'S ALLEGATION



ウェストポイント・ゴールドは密かにジュネーブに到着し、武器購入の資金源として使われていたと主張した。

7 BETER'S INTERPRETATION



物価上昇や金利上昇、商品購入や仕事探しに苦労している家族について警告した。

8 BETER'S INTERPRETATION



彼はこれらの傾向を戦争の準備と戦後の独裁体制の可能性と解釈し、これは彼の未確認シナリオでした。

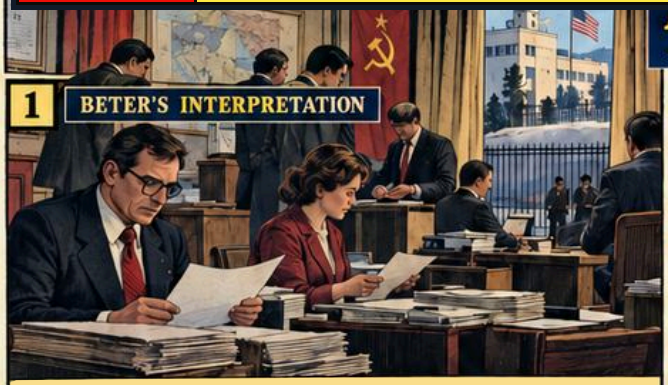
出典・Peter David Beter — 音声書簡 第77号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第77号

1982年7月28日

テーマ3 ロシアに対する反戦警告の上昇



ベターはソ連がエスカレーションに対して警告を出し、レバノンでは米軍の役割がますます急務になると説明した。



STS-4のブースターが失われた原因は宇宙空間攻撃によるものだと、NASAは記録に残している。



モスクワで起きた事故の後、パナマ北部759で報復攻撃を受けたと、NTSBは発見した。



ベターは原子力鉱山でローン湖災害を非難し、USGSの報告書はダムが内部侵食に失敗したと説明している。



彼は、7月16日のDC-10乱流事故は、宇宙からの空からの警告であると主張した。



パーシング2号は干渉を隠蔽したと説明され、未確認の主張のままである。



ベターはレバノンで続く苦しみを、指導者たちが警告を聞き入れていない証拠として見た。



彼は核戦争を恐れて平和を訴えたが、予測の対立は起こらなかった。

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第77号・www.peterdavidbeter.com・NASA・NTSB・USGS

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第78号

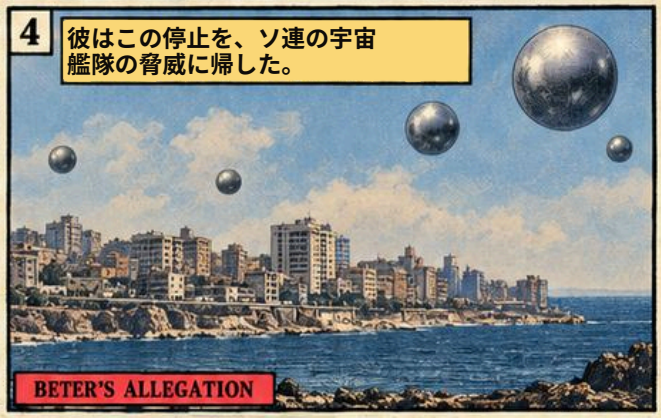
1982年8月27日

テーマ1 ベイルートのホロコーストに驚きが止まった

















出典・Peter David Beter — 音声書簡 第78号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第78号

1982年8月27日

テーマ2 ペンタゴン、核戦争の最終計画を発表

1 1914年のルーヴァンの破壊と比較すると、ベターはベイルートの破壊を比べた。



ベターの解釈

2 彼はプロジェクトZと呼ばれる秘密のファーストストライクスキームを主張した。



ベターの主張

3 彼のバージョンの出来事は、ソ連のサイトを攻撃することを意図した隠れた「ファントム」航空機について説明しました。



ベターの主張

4 彼は人工衛星ミッションを製造した原子力警報に結びつけた。



ベターの主張

5 1982年9月1日にスペース・コマンドが発動された。



史実の記録

6 8月17日 - 台湾が米中共産党に武器販売を指示。



史実の記録

7 9月17日、より良い核戦争が予測されました。その予測は実現しなかったのです。



編集部注

8 プロジェクトZはBeter氏の未確認のアカウントであり、確立された履歴ではない。



ベターの解釈

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第78号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第78号

1982年8月27日

テーマ3 ロシアが核兵器を攻撃

1 ベターはソビエトの戦略拠点の近くに神秘的なドームの輪を報告した。



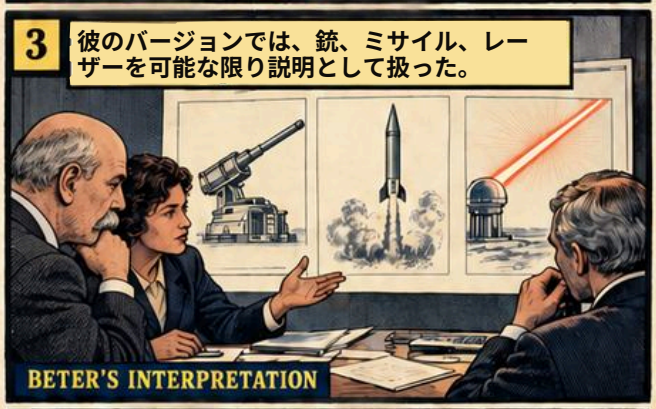
ベターの主張

2 彼はこれらの施設が怪物と疑われる航空機に対して防御できると主張する。



ベターの主張

3 彼のバージョンでは、銃、ミサイル、レーザーを可能な限り説明として扱った。



BETER'S INTERPRETATION

4 ベターはレールガンと呼ばれる電磁器を好んだ。



ベターの解釈

5 従来と異なる標的手法を主張したが、これらの主張は未だに確定していない。



ベターの主張

6 彼は、隠された防御が最初の攻撃を妨害する可能性があると推測した。



BETER'S INTERPRETATION

7 設置と武器は彼の説明では確立されていない。



編集部注

8 彼の議論は、核戦争を避けるための疑惑、推測、そして訴えを結びつけた。



ベターの解釈

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第78号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第79号

1982年9月30日

テーマ1 核戦争の計画が中止になったのは

1 9月17日、核編集長の注記戦争が [redacted] 編集部注



2 彼は今、プロジェクト2が最後の時点でキャンセルされたと主張する。 ベターの主張



3 ベター氏はニクソン氏が中国に新江に拠点を置く秘密の米国を妨害するよう促したと主張する。



4 彼の説明では、管理上の遅延は、疑わしい基地が運営することを妨げた。 ベターの主張



5 ソ連の宇宙が米国の重要な衛星を破壊し [redacted] ベターの主張



6 首相は、核戦争計画と電話妨害を連携さ [redacted] ベターの解釈



7 彼はストライキの阻止に協力して警 [redacted] ベターの解釈



8 キャンセルは、JT Tueがプロジェクトzの存在を正式に認めたわけではない。 編集部注



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第79号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第79号

1982年9月30日

テーマ2 戦争が来るためのベイルートの虐殺

1 9月10日、アメリカ海軍はベイルートを出発した。



2 バシール・ゲメエル次期大統領は9月14日に暗殺された。



3 イスラエル軍は西ベイルートへ進攻した。



4 9月16-18日、サブラとシャティラで民兵が大虐殺を行った。



5 この殺害は国際的な激怒と説明責任の要求を招いた。



6 多国籍軍は帰還し、9月29日に再びアメリカ海兵隊が上陸した。



7 ベターは隠れた動機を主張した:将来の戦争のためにアメリカ軍を復活させる。



8 彼の陰謀説は、文書化された虐殺と部隊の動きとは別物である。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第79号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第79号

1982年9月30日

テーマ3 シベリア急行の復活

1 雲の種まきは、ハリケーンのコントロールを確立できない、現実の限定的な慣行です。



史実の記録

2 より良いのは、天候修正を導入するために、農民の降雨のための競争ニーズを使用した。



ベターの解釈

3 彼の主張では、アメリカの秘密気象管理網はかつて独占権を支持していた。



ベターの主張

4 ソ連の月面兵器をストーム作成と呼んだ。



ベターの主張

5 宇宙は粒子線で嵐を操れると、彼は主張する。



ベターの主張

6 1982年9月、オリビアの残骸がアメリカ西部の豪雨を招いた。



史実の記録

7 彼は「シベリアエクスプレス」が寒くなると予測し、ソビエトの介入を非難した。



ベターの解釈

8 彼の気象戦争に関する主張は未だに確定していない。



編集部注

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第79号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第80号

1982年11月3日

テーマ1 アメリカの経済は新たな暗黒時代に

1 1981-82年のリセッションは製造業、建設業、雇用を激しく襲った。



史実の記録

2 ウォール街の外での経済危機と株価上昇を好転させた。



ベターの解釈

3 彼はこの集会を「熊のトラップ」と呼び、不要な株を小さな投資家にシフトさせた。



ベターの主張

4 国内外の不良融資が銀行破産につながる恐れがあると、彼は懸念しました。



ベターの解釈

5 彼はトロントIMFの議論をライバルのパワーグループ間の闘争と解釈した。



ベターの解釈

6 ベターは100ドル紙幣を置き換える提案を引用したが、法案は制定された法律ではない。



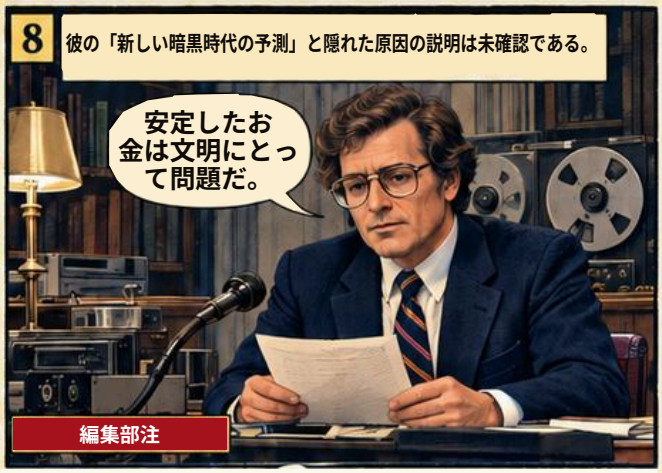
編集部注

7 彼は、金に対する信頼が損なわれつつあると警告するものとして、取引を広めた。



ベターの解釈

8 彼の「新しい暗黒時代の予測」と隠れた原因の説明は未確認である。



編集部注

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第80号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第80号

1982年11月3日

テーマ2 イスラエルの運命の年に向けて戦争のカウントダウン

1 1984年初頭に戦争準備と核戦争が再燃すると予測された。



2 レバノンで部隊が意図的に挑発された事件に使用された可能性があると主張する。



3 1982年のシカゴ地区の死者7人は汚染されたチレノールと関連していた。



4 彼はティレノール危機をレバノンの出来事からの転換と解釈した。



5 暦字に意味をなさない意味を読み、改組を報告した。



6 彼はカシミールの緊張をファントムの代替基地と結びつけた。



7 STS-5は1982年11月11日から16日にかけて4人の乗組員と2機の商用衛星で飛行した。



8 1984年の核戦争の予言は実現しなかったが、隠されたプロットの記録は未確認のままである。



出典・Peter David Beter — 音声書簡 第80号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。

PETER DAVID BETER・音声書簡 第80号

1982年11月3日

テーマ3 新しいクレムリンの警備員の変化

ベターは10月27日にブレジネフがソビエト連邦の軍事指導者に宛てた演説について論じた。



ベターの説明

彼はその演説を軍事的準備への出発点として解釈した。



ベターの解釈

彼は、秩序あるリーダーシップの変更を準備している調整された「新しいクレムリン」を主張した。



ベターの主張

1978年にブレジネフが亡くなり、ダブルスで代表された。



ベターの主張

5 アンドロポフは1967年から1982年までKGBを率いていた。



HISTORICAL RECORD

11月3日、ベターはアンドロフを新進のソ連指導者に指名した。



ベターの説明

ブレジネフは11月10日に死去し、1982年11月12日に党首に就任した。

RETROSPECTIVE



HISTORICAL RECORD

8 彼の継承予測は後の出来事と重なり、疑わしい二重性を立証しない。



EDITOR'S NOTE

出典・Peter David Beter — 音声書簡 第80号・www.peterdavidbeter.com

ベーターの語りをもとにした漫画です。主張を史実と認定するものではありません。吹き出しは脚色した言い換えです。